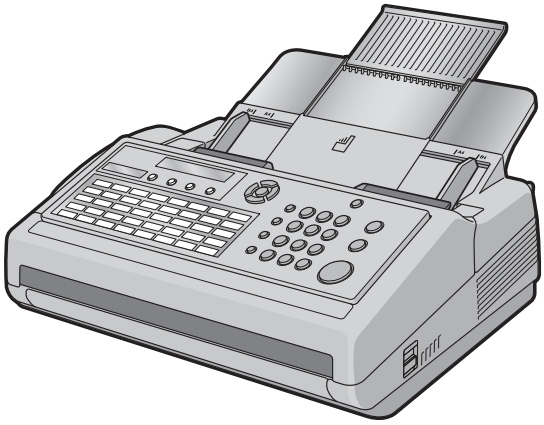
Panasonic



取扱説明書

感熱ビジネスファクシミリ

品番 UF-B300

確認と準備 1章
すぐに使いたいとき 2章
ファクス送信 3章
ファクス受信 4章
便利な機能 5章
通信予約の確認と消去 6章
登録する 7章
システム登録 8章
レポート/リスト 9章
困ったとき 10章
必要なとき 11章

このたびは感熱ビジネスファクシミリをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
■**特に「安全上のご注意」(6～8ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電

もくじ

1章 確認と準備

安全上のご注意 6

取扱上のお願い..... 9

本体と付属品の確認 11

設置する / 各部の名前とはたらき . 12

操作パネルの名前とはたらき..... 14

電話回線や自局情報を設定する 16

回線種別 / 現在の時刻 / 発信元 / 文字 ID/
数字 ID

記録紙をセットする 21

B4 サイズのとき /A4 サイズのとき

音量を調整する..... 25

モニター音量 / 呼び出し音量

節電モードについて 26

2章 すぐに使いたいとき

原稿をセットする 27

原稿について 28

ファクスを送信する / 受信する 29

電話をかける..... 30

電話を受ける..... 31

コピーする 32

3章 ファクス送信

宛先を指定する..... 33

直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダ
イヤル / 宛先名から検索する［電話帳］/ 同
じ相手にもう一度送信する［再ダイヤル］/
宛先を確認する

濃度や文字サイズを設定する..... 39

読み取り濃度 / 文字サイズ

済スタンプをつける 40

送信を予約する..... 41

送信を予約する / 送信予約を解除する

相手を確認してから送信する..... 42

読み込み中の動作 43

送信を中止する..... 44

原稿読み込み中 / 送信中・再ダイヤル待ち /
通信予約されているとき

発信元印字について 45

4章 ファクス受信

ファクスの受けかたを選ぶ 46

受信モードについて / 受信モードを設定する

手動受信に設定しているとき 48

FAX/TEL 切り替えに設定しているとき 49

着信時の動作 / 着信後の呼び出し音回数を設定する / 音声応答後の呼び出し音回数を設定する

留守録接続に設定しているとき 52

留守番電話の接続 / 留守録接続の動作

受信時の印刷について 54

縮小受信するとき / 記録できないとき［代行受信］/ 受信文書の排出順について［正順プリント］

5章 便利な機能

プログラムダイヤルを呼び出す 56

複数の相手に送信する 57

複数の宛先を指定する / 順次同報送信の操作

F コード（サブアドレス）を入力する 58

時刻を指定して通信する 59

時刻を指定して送信する［タイマー送信］/ 時刻を指定してポーリング受信をする［タイマーポーリング受信］

中継局を利用する［中継同報指示］61

中継同報指示をする前に / 中継同報を指示する / 中継局や中継送信先の登録

親展ボックスを利用する［親展通信］ 65

親展文書を送信する / 親展文書をポーリング受信する / 親展文書を受信すると / 親展文書を蓄積する / 親展文書の印刷 / 親展文書の消去

受信側からの指示で原稿を送信させる［ポーリング通信］ 70

ポーリング用のパスワードを設定する / ポーリング送信原稿を蓄積する［ポーリング送信］/ ポーリング受信をする

表紙をつけて送信する［カバーシート］ 73

パスワードを使って送受信する 75

パスワード送信とは / パスワード受信とは / パスワード送信の設定 / パスワード受信の設定 / 通信ごとにパスワード送信を設定する

メモリーに蓄積して送信する［メモリー優先］ 80

メモリーに受信する［メモリー受信］ 81

パスワードを設定する / メモリー受信の設定 / メモリー受信文書の印刷

外部電話機から受信に切り替える［リモート受信］ 83

迷惑ファクスを防止する［セレクト受信］ 84

利用者を制限する［アクセスコード］ 85

アクセスコードの設定 / アクセスコードを入力する

受信文書を転送する［メモリー転送］ 87

ルーティング機能を使う 88

設定の流れ / ルーティングに必要なシステム登録 / ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにルーティングを設定する

もくじ(つづき)

6章 通信予約の確認と消去

通信予約ファイルを確認する..... 92

予約レポートの印刷 / 予約レポートの見かた / ディスプレイ上で通信予約ファイルを確認する

通信予約ファイルを変更する..... 94

通信予約ファイルを消去する..... 95

通信予約ファイルを印刷する..... 96

通信予約ファイルに原稿を追加する 97

未通信ファイルを再送信する..... 98

7章 登録する

ワンタッチダイヤル 99

登録する / 変更する / 削除する

短縮ダイヤル 102

登録する / 変更する / 削除する

プログラムボタン 105

グループダイヤルを登録する / プログラムダイヤルを登録する / プログラムボタンにワンタッチダイヤルを登録する / 変更する / 消去する

中継情報 110

文字入力のしかた 111

カタカナの入力 / アルファベットの入力 / 数字の入力 / 記号の入力 / 誤って入力したとき / ローマ字一覧

8章 システム登録

システム登録 114

システム登録一覧 115

9章 レポート / リスト

ダイヤルリスト..... 123

ダイヤルリストの印刷 / ダイヤルリストの見かた

プログラムリスト 125

プログラムリストの印刷 / プログラムリストの見かた

システム登録リスト 126

システム登録リストの印刷 / システム登録リストの見かた

送信レポート..... 127

送信レポートの印刷 / 送信レポートの見かた

通信管理レポート 129

通信管理レポートの手動印刷 / 通信管理レポートの見かた / ディスプレイ上で通信結果を確認する

通信結果レポート 132

10章 困ったとき

原稿がつまったら 134

つまった原稿をつかめるとき / つまった原稿がつかめないとき / 自動給紙圧を調整する

記録紙がつまったら 137

故障かな？と思ったら..... 138

エラーコードが表示されたら..... 140

停電したら 144

こんなメッセージが表示されたら 145

「セットできません」と表示されたら /「メモリーオーバー」と表示されたら /「ヘッドが過熱しています」と表示されたら

電話回線を確認する 146

接続できないとき 147

ナンバー・ディスプレイの設定 / ダイヤルイン機能の設定

11章 必要なとき

済スタンプのインクを補充する / 交換する 149

日常のお手入れ..... 151

本体ボディのお手入れ / 感熱ヘッドのお手入れ

IP 電話サービスを利用する..... 152

IP 電話サービス利用上の注意 /IP 電話サービスを使ったファクス送信

アフターサービスについて 157

消耗品 / 仕様..... 158

用語集..... 159

索引 161

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

■済スタンプヘッドは、乳幼児の手の届くところに置かない

禁止

誤って飲み込むおそれがあります。

●万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●電源コードや電源プラグの修理は、サービス実施会社へご相談ください。

■電源プラグのほこり等は定期的にとる

電源プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠警告

■機内に水や金属物（クリップやステープル針など）が入ったときは、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

機内の配線がショートして、火災の原因になります。

●電源プラグを抜いて、サービス実施会社へご連絡ください。

■本機を分解・改造しない

分解禁止

高温部分や高電圧部分にさわるとやけどや感電の原因になります。

●修理は、サービス実施会社へご相談ください。

■発煙・異臭・異音などの異常が発生した場合は、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

●使用を中止し、サービス実施会社へご相談ください。

■シンナー・ガソリンなどの引火性の高いものの近くに設置しない

禁止

ガソリンなどが発火し火災の原因になります。

●移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■湿気の多い場所ではアース線を取り付けて使用する

アース線接続

万一、漏電した場合に、火災、感電の原因になります。

●移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■アース線は、ガス管・水道管や避雷針などに接続しない

禁止

接地が不十分だったり、落雷などにより、感電したり、火災の原因になります。

●移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災、感電の原因になります。

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグ（金属でない部分）を持ってください。

■同梱された電源コードは、他の製品に使用しない

禁止

火災や感電の原因になります。

■雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

安全上のご注意(つづき)

⚠注意

■床、土台が不安定な場所や振動の激しい場所へは設置しない

本機が倒れて、けがをする原因になることがあります。

●移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■油煙や湯気や水のかかる場所、ほこりの多い場所には置かない

火災、感電の原因になることがあります。

●移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■紙づまりはそのまま放置しない

高温部の紙づまりを放置すると紙が発火し、火災の原因になることがあります。

●紙づまりは確実に取り除いてください。

■電源コードは必ず付属のものを使用する

火災、感電の原因になることがあります。

■鎖の長いブレスレットやネックレスなどをつけて操作しない

機内に触れたり、巻き込まれて、感電やけがをする原因になることがあります。

●万一事故がおきたときは、電源プラグを抜き、サービス実施会社へご連絡ください。

■本機の通風孔（背面・側面）をふさがない

機内に熱がこもり火災の原因になることがあります。

■取扱説明書で指示がない部分は操作しない

高温部分や突起のある部品にさわると、やけどやけがをする原因になることがあります。

●内部をさわるときは、十分に注意してください。

■本機に重いものを置いたり、乗ったり、トレイなどに体重をかけたりしない

物が落下したり、転んだり、落ちてけがをする原因になることがあります。

■補充インクまたは補充インクの入った容器を子供の手の届くところに置かない

誤って飲み込むおそれがあります。

●万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

■補充インクは飲み込んだり、目に入れたりしない

体に悪影響を及ぼす原因になることがあります。

●万一、飲み込んだり、目に入った場合は直ちに医師に相談してください。

取扱上のお願い

■設置上のお願い

次の様な場所への設置は避けてください。

- 温度や湿度が極端に高い、または低い場所(設置に適した温度・湿度:5 ℃～35 ℃、45 %～85 %RH)
- 温度変化の激しい場所
- 冷・暖房機の近く(直接風のあたる場所)
- 加湿機の近く
- テレビ、ラジオなど電子機器の近く
- 直射日光のあたる場所
- ほこり、アンモニアガスが発生する場所
- シンナー、ガソリンなどの近く
- 換気の悪い場所
- 床、土台が不安定な場所、震動の激しい場所

本機の背面は壁から25 cm以上離してください。

■操作時のお願い

- 動作中に電源プラグを抜いたり、本体カバー等を開けたりしないでください。紙づまりの原因となります。
- 誤通信を未然に防ぎ、確実に相手と通信するためには、次の点に注意してご使用いただくことをお勧めいたします。
  - 相手先のファクス番号、ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルの登録番号をご確認いただくとともに、取扱説明書をよくご確認のうえご使用ください。
  - 大切な情報を送る場合には、「手動送信」により相手を確認したうえで通信されることをお勧めします。
    1. 受話器を上げ、発信音(ツー音)を確認してから、ファクス番号をダイヤルしてください。
    2. 相手先からファクス応答信号(ピーヒョロロ音)が聞こえたらスタートボタンを押してください。

■感熱記録紙について

- 直射日光のあたるところや高温・高湿を避けて保管してください。
- 乾燥した冷暗所に保管してください。
- 当社の推奨紙をご利用することをお勧めします。
  ☞消耗品/仕様(p.158)
- 当社推奨品以外を使用されますと、記録品質への悪影響や、故障の原因となることがあります。
- 感熱記録紙は長時間放置すると文字が消えたり、変色することがあります。
  プリントしたデータを保存するときは、別の複写機で普通紙にコピーすることをお勧めします。
- 変色や文字消えの原因となりますので、次のことは避けてください。
  - プラスチックシート、粘着テープ、シンナー系ボンド、消しゴムなどの接触
  - フェルトペンや蛍光ペンでの書き込み
  - 青焼きコピー紙、アルコール、シンナー、ベンジン、アンモニアなどの付着
- 記録紙が残り少なくなると、両端に赤い線が出ます。早めに新しい記録紙と交換してください。

■本機を廃棄・譲渡するとき

- お客様固有の情報の流出による、不測の損害などを回避するため、本機を廃棄または譲渡するときにはサービス実施会社までご相談ください。

取扱上のお願い(つづき)

■法律で禁じられていること

次のようなコピーは所有するだけでも法律により罰せられますから十分ご注意ください。

- 法律でコピーを禁止されているもの
  1. 国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
  2. 未使用の郵便切手、官製はがき
  3. 政府発行の印紙、酒税法や物品法で規定されている証紙類
- 注意を要するもの
  1. 株券、手形、小切手など民間発行の有価証券、定期券、回数券などは、事業会社が業務上必要最低部数をコピーする以外は政府指導によって注意が呼びかけられています。
  2. 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可書、身分証明書や通行券、食券などの切符類のコピーも避けてください。
- 著作権の対象となっている書籍、絵画、版画、地図、図面、写真などの著作物は個人的または家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁じられています。

■使用上のお願い

キャッチホンサービスをご契約になっている場合

- ファクスの送信や受信中に、他の方から電話やファクスがかかってくると、ファクス受信画像に線が入ったり、通信が中断してしまうことがあります。
- 上記の場合は、キャッチホンや本機の異常ではありませんのでご了承願います。
- なお、キャッチホンⅡサービスをご利用になり、割り込み音の回数を「0」回に設定していただくと、ファクス通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。詳しくはNTTにお問い合わせください。

ファクシミリ通信網を利用する場合

NTTコミュニケーションズが提供するファクシミリ通信網(F網)を利用して通信できます。

- ファクシミリ通信網サービスとは、NTT コミュニケーションズが提供するファクス通信専用のサービスです。同報通信、再コール、一斉受信などの機能を利用できます。
- ファクシミリ通信網を利用する場合は、NTT コミュニケーションズとの契約が必要です。詳しくは、最寄りのNTTコミュニケーションズにお問い合わせください。

各サービスについて

- キャッチホンサービス・発信者番号通知・ダイヤルインサービスはあらかじめNTTとの契約が必要です。本サービスの詳細につきましてはNTTにお問い合わせください。
- NCC 回線をご利用の場合は、NCC 各社でサービス内容が異なります。発信者番号通知・ダイヤルインサービスの詳細につきましてはご契約のNCCにお問い合わせください。

■電波障害防止について

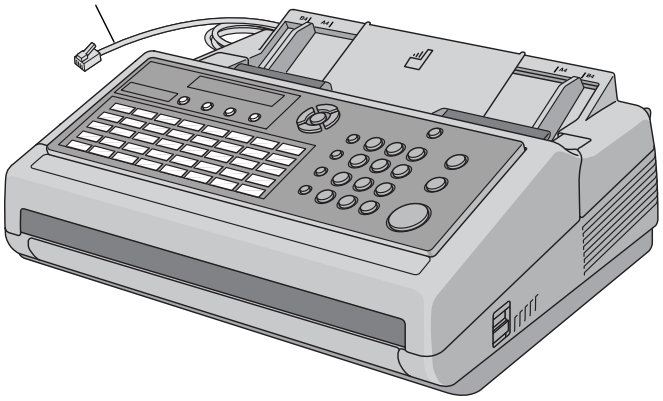
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

本体と付属品の確認

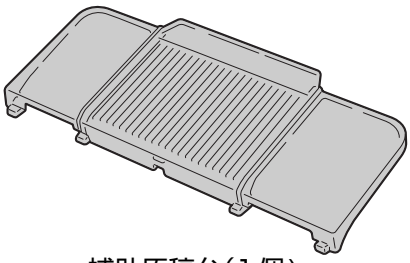
梱包をほどいたら、次のものがそろっていることを確認し、本体に付けられている梱包テープと保護シートを取り外してください。

回線コード（1 本）

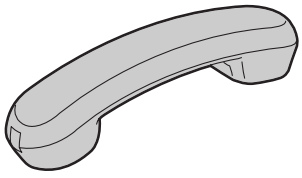


本体（1 台）

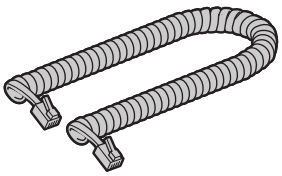
- 背面に回線コードが接続されています。



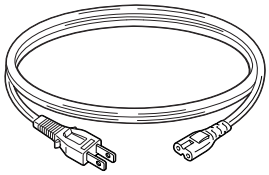
補助原稿台（1 個）



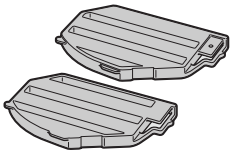
受話器（1 台）



カールコード（1 本）

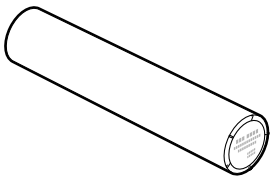


電源コード（1 本）



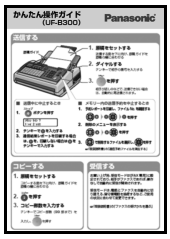
記録紙仕切板（1 組）

- A4サイズの記録紙を使用するときに使います。仕切板は無くさないように大切に保管してください。
☞B4サイズをA4サイズに変更する（p.22）



感熱記録紙
（B4サイズ 1 巻）

- お試し用として、10 m の記録紙が同梱されています。
☞記録紙をセットする（p.21）



かんたん操作ガイド（1 部）

取扱説明書
（本書）（1 部）

開梱の手順

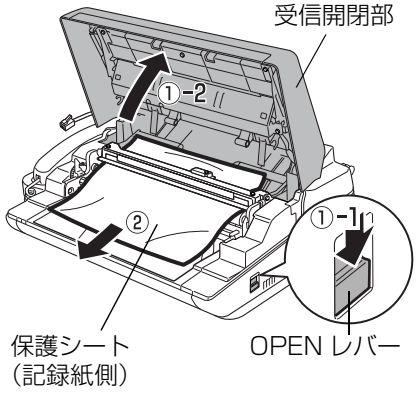
1. オレンジ色の梱包用テープと、原稿セット部に差し込まれている白い梱包材を取り外す

梱包用テープ　本体：3か所
補助原稿台：1か所

2. 保護シート（記録紙側）を取り外す

① OPENレバーを押し下げ、受信開閉部を開く

② 保護シートを取り外す



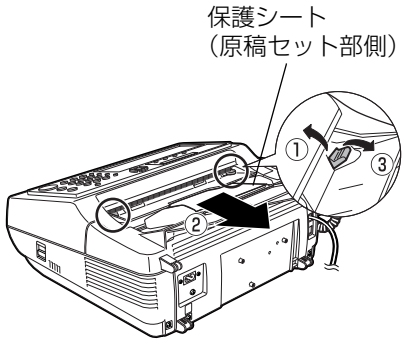
③ 受信開閉部を閉じる

受信開閉部の中央に手をあて、「カチッ」と音がするまで閉める

3. 保護シート（原稿セット部側）を取り外す

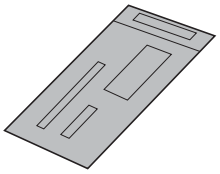
① 原稿台の両端にある白いレバーを「パチン」と音がするまで引き上げる

② 保護シートを取り外す



③「パチン」と音がするまで両端の白いレバーを押し下げる

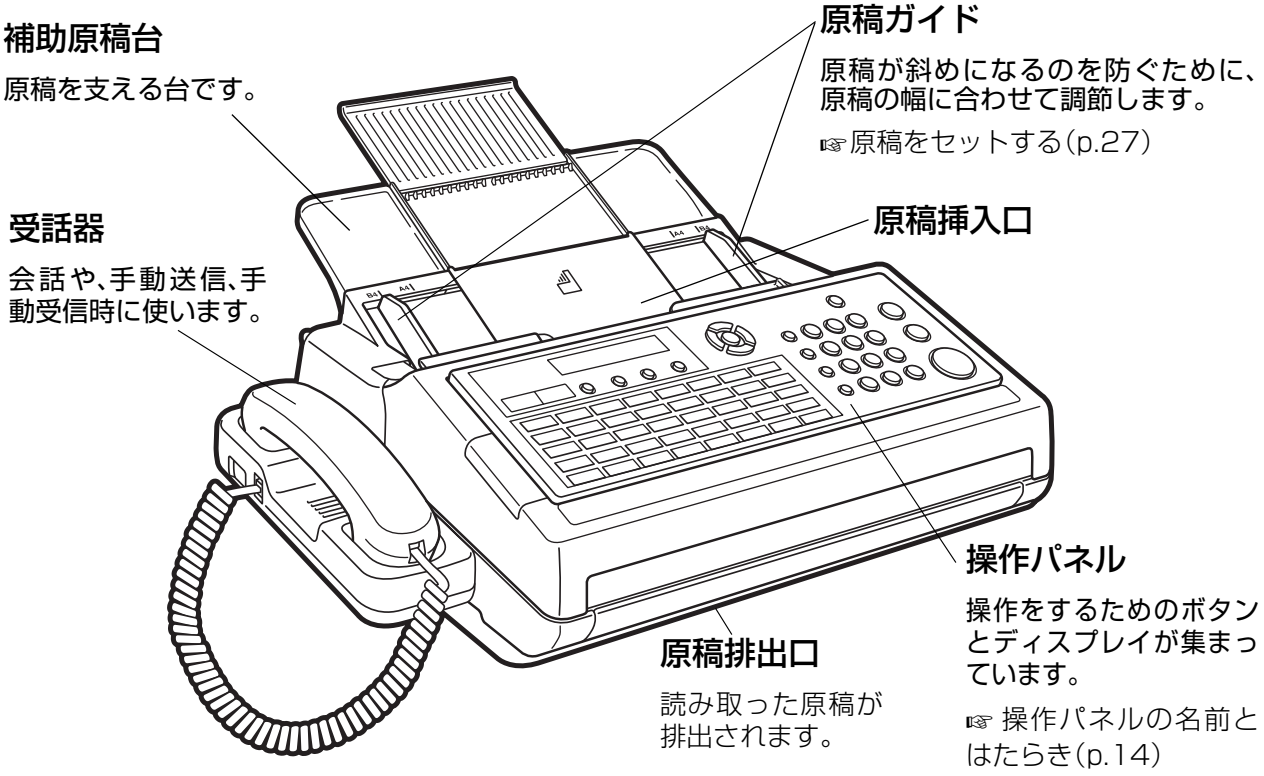
両方のレバーを下げないと、原稿がつまる場合があります。



保証書（1 枚）

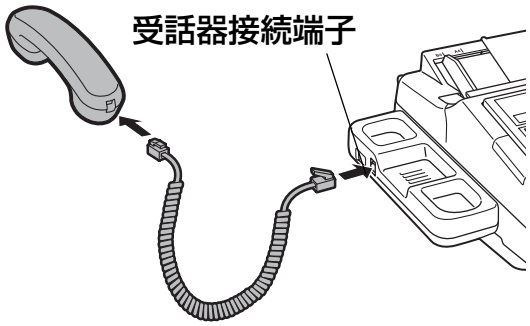
設置する/各部の名前とはたらき

■正面・左側面



1 受話器を差し込む

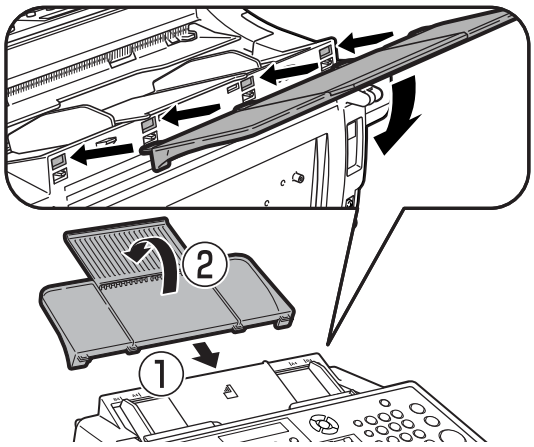
付属のカールコードの一方を受話器の接続端子に差し込みます。もう一方は、本体の受話器接続端子に差し込みます。



2 補助原稿台を差し込む

本体側の突起(2か所)に補助原稿台を載せるようにし、補助原稿台のツメ(4 か所)を本体側の穴に差し込みます。

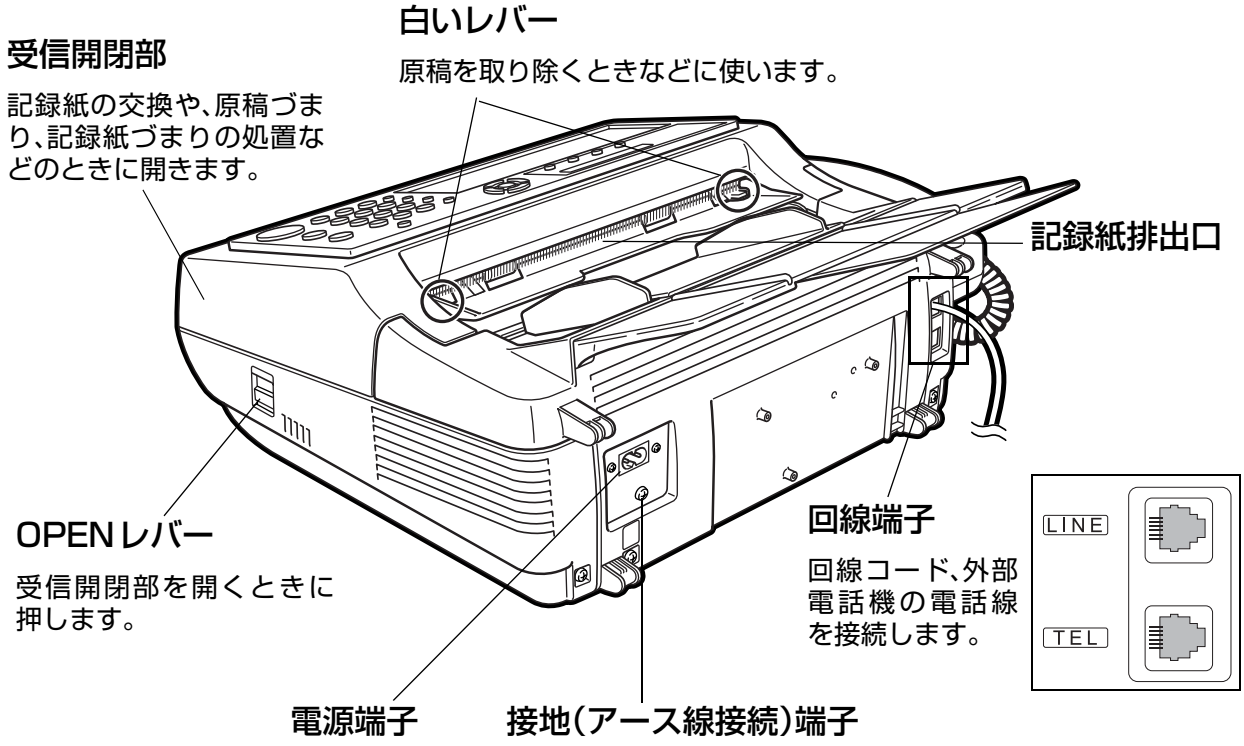
- 補助原稿台は、延ばして使用してください。



お願い

- 本製品は、NTT(日本電信電話株式会社)の一般電話回線(PSTN)に接続するように設定されています。このため、構内交換機(PBX)、ISDN 回線のターミナルアダプタ(TA)、ブロードバンド回線に本機を接続すると、ファクス通信できない場合があります。このような場合は、サービス実施会社にご連絡ください。
- ナンバー・ディスプレイ(発信者番号通知)を契約している場合は、システム登録の[175 発番号ルーティング]を[あり]に設定する必要があります。
  ☞ナンバー・ディスプレイの設定(p.147)
- モデムダイヤルインサービスを契約している場合は、システム登録の[176 モデムダイヤルインルーティング]を[あり]に設定する必要があります。
  ☞ダイヤルイン機能の設定(p.148)

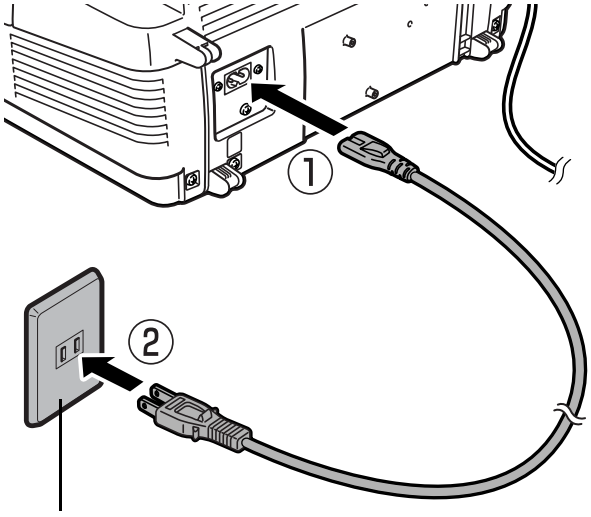
■背面・右側面



3 電源コードを差し込む

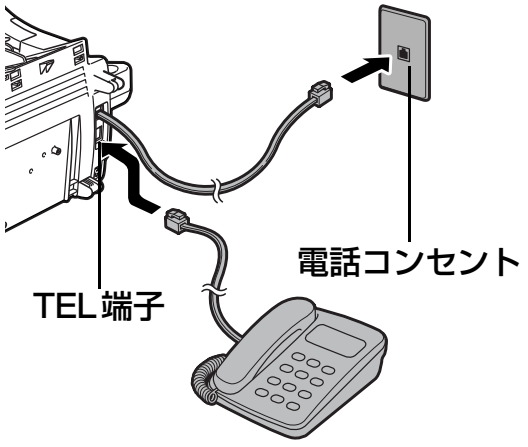
電源コードの一方を本体の電源コード接続部に差し込みます。もう一方は、電源コンセントに差し込みます。

- 必ず、AC100 V電源に接続してください。
- 記録紙がセットされていない状態で電源コードを接続すると、アラーム音が鳴り、アラームランプが点灯します。
  ☞記録紙をセットする(p.21)



4 回線コードを差し込む

本体に付属している回線コードの一方を電話コンセントに差し込みます。



外部電話機

外部電話機を接続する場合は、外部電話機と本体のTEL端子をお手持ちの回線コードで接続します。

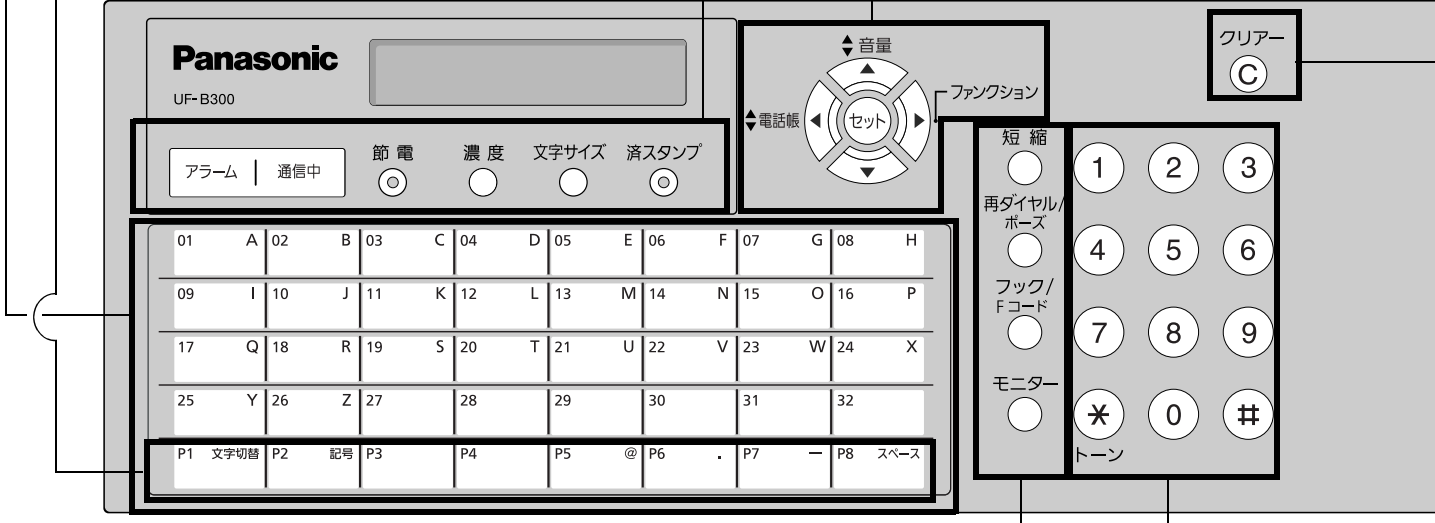
本機には、留守番電話などの市販の電話機を外部電話機として接続できます。1本の電話回線を、電話とファクスの両方に使う場合に便利です。

- 外部電話機にファクス付き電話を接続すると、外部電話機側でファクスを受信することがあります。
- 外部電話機によっては、メモリーがいっぱいになるとファクス受信ができなくなる場合があります。

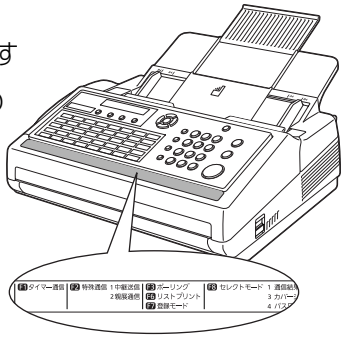
操作パネルの名前とはたらき

ワンタッチボタン	ワンタッチダイヤルを利用するときに押します。 ☞ワンタッチダイヤル(p.34)
プログラムボタン	グループダイヤルや、登録済みの操作を呼び出すときに押します。 ☞複数の相手に送信する(p.57) ☞プログラムダイヤルを呼び出す(p.56)

アラーム	エラーが発生したり故障している場合に点灯します。
通信中	通信中や電話中に点滅します。
節電	節電モードに移行するときに押します。 ● 節電モードに移行中にこのボタンを押すと、通常の状態に復帰します。 ● 節電モードに移行中は、ランプが点灯します。 ☞節電モードについて(p.26)
濃度	原稿を読み取る濃度を選択するときに押します。 ☞読み取り濃度(p.39)
文字サイズ	原稿を読み取る細かさ(解像度)を選択するときに押します。 ☞文字サイズ(p.39)
済スタンプ	済スタンプのオン/オフを選択するときに押します。 ● 済スタンプが[オン]に設定されている場合は、ランプが点灯します。 ☞済スタンプをつける(p.40)

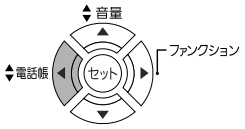
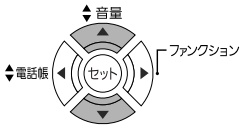
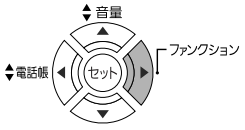
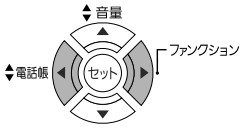
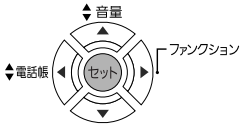


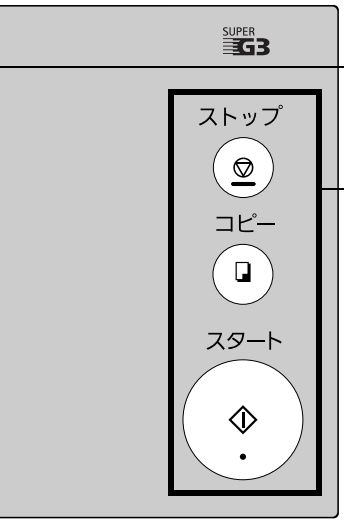
● 操作パネルの下に、本機で使用できる機能が記載されています。
機能の前にある F1 などの番号は、機能番号を表します。
(例) F1 タイマー通信
(セット)を押し、テンキーで 1 を押す
本文中では[F1 タイマー通信]のように記載しています。



ファンクション一覧のラベル

テンキー	電話番号をダイヤルするとき、機能の番号を入力するとき、システム登録の設定をするときなどに押します。
トーン	回線種別がダイヤル式の場合に、このボタンを押すと、一時的にプッシュホン信号を送出できます。 ☞ 記号を使ったダイヤル方法(p.33)

	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている宛先を、宛先名で検索するときに押します。 ☞宛先名から検索する[電話帳](p.36)
	呼び出し音やモニター音の音量を調整します。 を押すと音が大きくなります。 を押すと音が小さくなります。 ☞音量を調整する(p.25)
	便利な機能を選択したり、本機の設定を変更したりするときに押します。 ● このボタンを押すと、次の画面が表示されます。ファンクションの番号を入力するか、 を押して機能を選択します。 ﾌｧﾝｸｼｮﾝ ｾﾝﾀｸ (1-9) ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
	文字入力でカーソルを移動するときに押します。 ☞文字入力のしかた(p.111)
	設定をするときに押します。



クリアー C	入力した電話番号や文字を消去するときに押します。
ストップ	送信、コピー、各種登録を中止するときに押します。 ● アラーム音が鳴っているときに押すと、アラーム音が停止します。
コピー	コピーをするときに押します。 ☞コピーする(p.32)
スタート	通信やコピーを開始するときに押します。

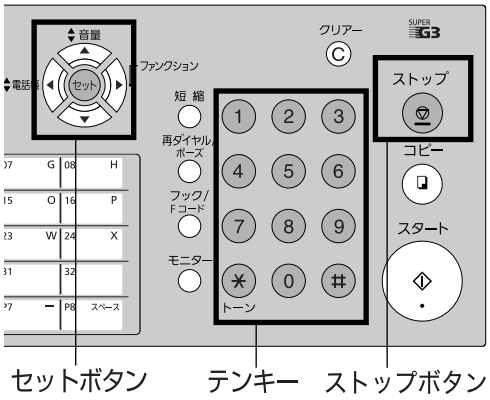
短 縮	短縮番号で宛先を指定するときに押します。 ☞短縮ダイヤル(p.35)
再ダイヤル/ポーズ	再ダイヤル: 直前にダイヤルした宛先をもう一度指定するときに押します。 ポーズ : 電話番号の入力時、ポーズ(空き)を挿入するときに押します。 ☞同じ相手にもう一度送信する[再ダイヤル](p.37) ☞記号を使ったダイヤル方法(p.33)
フック/Fコード	フック : 電話中に回線を一瞬切断するときに押します(構内交換機を経由している場合、電話の転送や保留ができます)。 F コード: 電話番号の入力時、F コード(サブアドレス)を入力するときに押します。 ☞記号を使ったダイヤル方法(p.33)
モニター	受話器を置いたままダイヤルするときに押します。 ☞相手を確認してから送信する(p.42)

電話回線や自局情報を設定する

付属の部品やコードの接続が終了したら、回線種別、現在の時刻、発信元、文字ID、数字IDを設定します。

回線種別

電話回線には、プッシュホン式、ダイヤル式(10 pps)、ダイヤル式(20 pps)の3種類があります。
お使いの回線を選択してください。



お願い

- 回線種別がわからない場合は、177(天気予報)などにダイヤルし、実際につながるかどうかを確認してください。
  ご不明な点は、最寄りのNTTにお問い合わせください。
- 正しく通信できない場合は、回線種別の設定を確認してください。

お知らせ

- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

1 回線種別のメニューを表示する

セット 7 → 4 セット → 6 セット を押す

⇨ 06 ﾀﾞｲﾔﾙ ｷﾘｶｴ / 3:ﾌﾟｯｼｭ(PB) が表示される

2 電話回線の種類を設定する

テンキーで次のいずれかを入力し、セット を押す

1：10PPS
2：20PPS
3：プッシュ（PB）

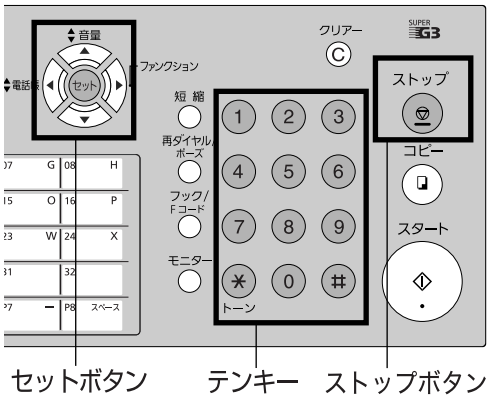
⇨ 07 ﾊｯｼﾝﾓﾄ ｲﾝｼﾞ / 1:ｶﾞﾒﾝﾅｲ が表示される

- 誤って入力した場合は、正しい番号を入力し直します。
- セット を押すと、システム登録のひとつ後の項目が表示されます。

3 ストップ を押す

現在の時刻

日付と時刻を入力します。
本機の時計精度は平均月差±60秒以内になっています。
ずれているときは、最初から設定し直してください。



お知らせ

- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

1 時刻セットのメニューを表示する

セット 7 → 1 セット を押す

⇨ ｼﾞｺｸ ｾｯﾄ
2006-03-01 10:00 が表示される

2 現在の時刻を設定する

年（西暦）、月、日、時刻の順に入力し、セット を押す

（例） 2006 年 3 月 01 日　15:00 の場合

2 0 0 6　0 3　0 1　1 5 0 0　セット

⇨ ﾊｯｼﾝﾓﾄ　ｸｶﾅ
▌ が表示される

- 数値を誤って入力した場合は、文字の下にカーソルを合わせ、正しい数値を入力し直してください。
- 時刻は 24 時間制で入れてください。
- 月日、時分が 1 桁の場合は、数字の前に「0」を入れてください。
- ◀ または ▶ を押すと、カーソルの位置を移動できます。
- ▼ を押すと、自局登録のひとつ後の項目が表示されます。

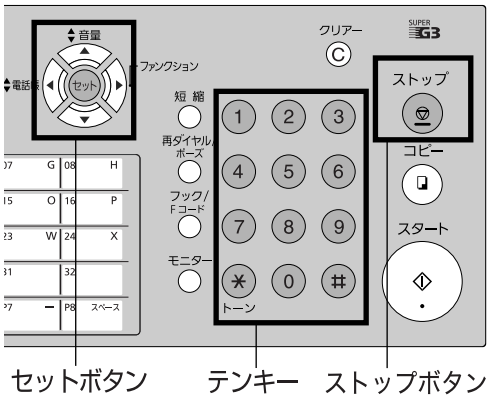
3 ストップ を押す

電話回線や自局情報を設定する(つづき)

発信元

発信元として、会社名、または自分の名前を入力します。
発信元は、相手に届いた原稿の先端に、発信元印字の一部として記録されます。

☞発信元印字について(p.45)



お知らせ

誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

1 発信元のメニューを表示する

セット 7 1 セット を押す

2 セット を押す

⇨ ﾊｯｼﾝﾓﾄ ｸｶﾅ が表示される

3 発信元情報(最大 25 文字)を設定する

発信元を入力し、セット を押す

(例) ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ

16	P	01	A	14	N	01	A
19	S	15	O	14	N	09	I
24	X	20	T	21	U	11	K	21	U

セット

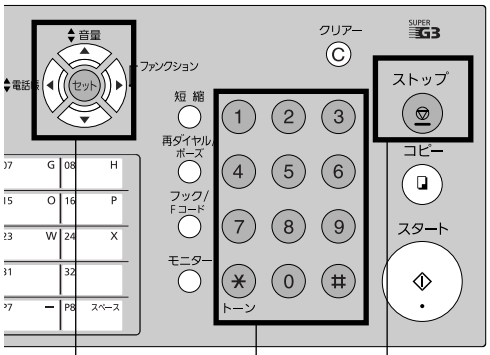
⇨ ﾓｼﾞ ID ｸｶﾅ が表示される

- 文字は、ワンタッチボタン、プログラムボタンを使って入力します。
  ☞文字入力のしかた(p.111)
- 誤って入力した場合は、クリアー C を押します。
- 20文字以上を入力すると、画面がスクロールされ、左端の文字が隠れます。
- セット を押すと、自局登録のひとつ後の項目が表示されます。

4 ストップ を押す

文字ID

文字IDとして、会社名、または自分の名前を入力します。
文字IDは、相手のディスプレイやレポートに表示されます。



お知らせ

誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

1 文字 ID のメニューを表示する

セット 7 → 1 セット を押す

2 セット を 2 回押す

⇨ モジ ID　ｸｶﾅ
▌ が表示される

3 文字 ID（最大 16 文字）を設定する

文字 ID を入力し、セット を押す

（例） ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ

16	P	01	A	14	N	01	A				
19	S	15	O	14	N	09	I				
24	X	20	T	21	U	11	K	21	U	セット	

⇨ ｽｳｼﾞ ID
▌ が表示される

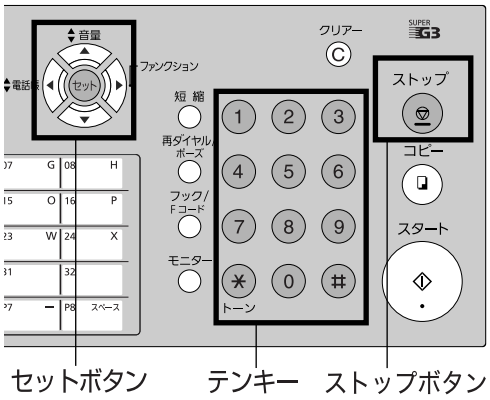
- 文字は、ワンタッチボタン、プログラムボタンを使って入力します。
  ☞文字入力のしかた(p.111)
- 誤って入力した場合は、クリアー を押します。
- セット を押すと、自局登録のひとつ後の項目が表示されます。

4 ストップ を押す

電話回線や自局情報を設定する(つづき)

数字ID

数字IDとして、自分のファクスの電話番号を入力します。
数字IDは、相手のディスプレイやレポートに表示されます。



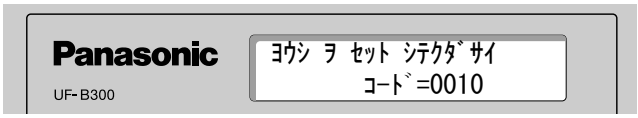
お知らせ

- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

1	**数字 ID のメニューを表示する** セット 7 1 セット を押す	
2	セット を 3 回押す ⇨ スｳｼﾞ ID ▌ が表示される	
3	**数字 ID（最大 20 桁）を設定する** テンキーで数字 ID を入力し、セット を押す （例） 098 765 4321 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 セット ⇨ ｼﾞｺｸ ｾｯﾄ 2006-03-01 10:00 が表示される	● 誤って入力した場合は、クリアー Ⓒ を押します。 ● プログラムボタンの P8 を押すと、スペースを入力できます。 ● −(ハイフン)を入力することはできません。 ● ✳を押すと、国別コードに使用する＋を入力できます。 (例) 日本の国別コード81を入力する場合 ＋81 098 765 4321 ● セット を押すと、自局登録の、先頭の項目に戻ります。
4	ストップ を押す	

記録紙をセットする

記録紙がなくなると、ディスプレイに次のメッセージが表示されます。
次の手順に従って、記録紙を交換してください。

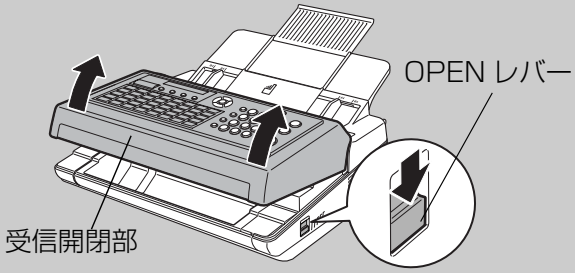


お知らせ

- 記録紙は、当社の推奨紙をお使いください。☞消耗品/仕様(p.158)
  当社の推奨紙以外をお使いの場合は、記録品質へ悪影響がでたり、故障の原因となります。
- 記録紙を逆向きにセットすると、ファクス受信やコピーのときに白紙で印刷されます。

B4サイズのとき

1 OPENレバーを押し下げ、受信開閉部を開く

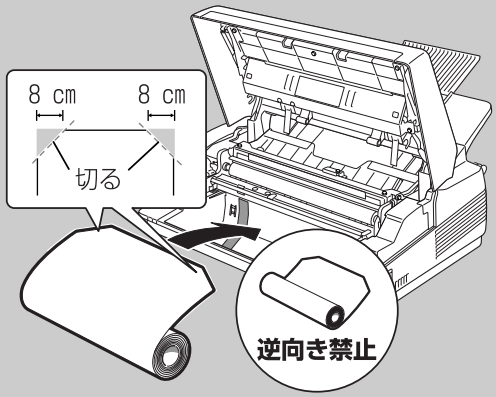


2 記録紙が残っている場合は、取り除く

3 記録紙をセットする

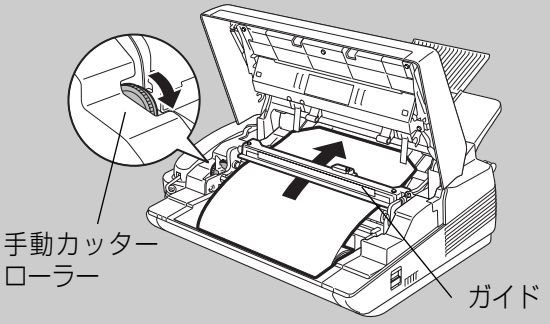
- 記録紙がセットしづらいときは、両端を右図のように8 cm以上切ってからセットしてください。

- 記録紙の巻き方向は下図を参照してください。



4 記録紙をガイドの下に通し、本体の外側に10 cmくらい引き出す

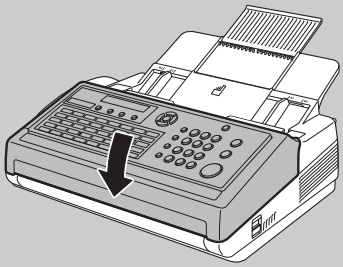
- 記録紙が通りづらいときは、左側にある手動カッターローラー(青色)を、止まるところまで手前の方に回す



5 受信開閉部を閉じる

- 受信開閉部の中央に手をあて、「カチッ」と音がするまで閉める

⇨ 記録紙が自動的にカットされる



記録紙をセットする(つづき)

A4サイズのとき

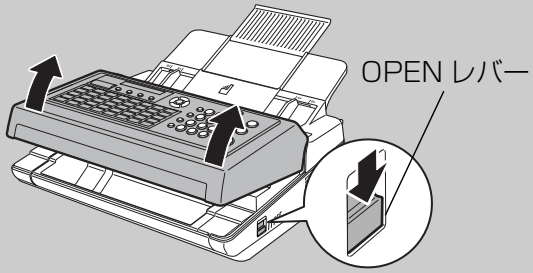
記録紙仕切板を取り付け、システム登録の[23 用紙サイズ]を[A4]に設定すると、A4 サイズの記録紙を使うことができます。

A4からB4に戻す場合は、記録紙仕切り板を取り外し、システム登録の[23 用紙サイズ]を[B4]に設定します。

☞システム登録一覧の[23 用紙サイズ](p.117)

■B4サイズをA4サイズに変更する

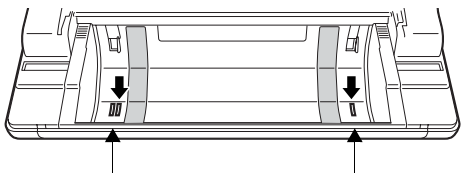
1 OPEN レバーを押し下げ、受信開閉部を開く



2 記録紙を取り除く

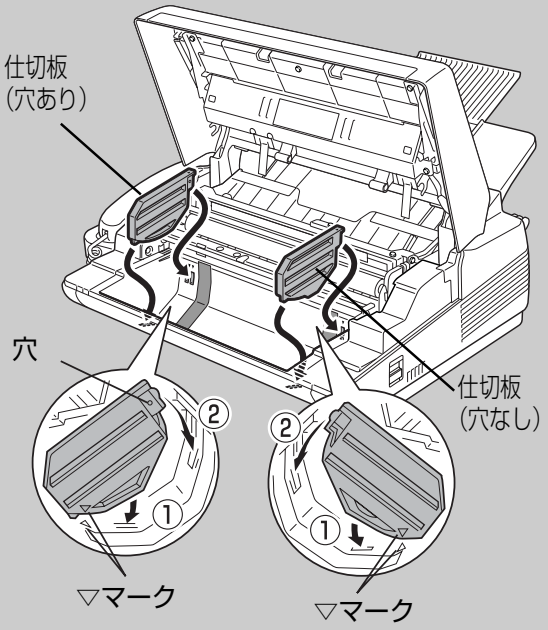
3 記録紙仕切板を取り付ける

- 右側:
  仕切板(穴のない方 :「DZBAS1164A」)を取り付ける
  左側:
  仕切板(穴のある方 :「DZBAS1164B」)を内側の溝に取り付ける



- 記録紙仕切り板の▽マークと記録紙ボックスの▽マークを合わせ、カチッと音がするまで押し込む

①▽マークを合わせ、突起部分を穴に入れる
②上からカチッと音がするまで押し込む



4 A4 サイズの記録紙をセットする

☞記録紙をセットする(p.21)

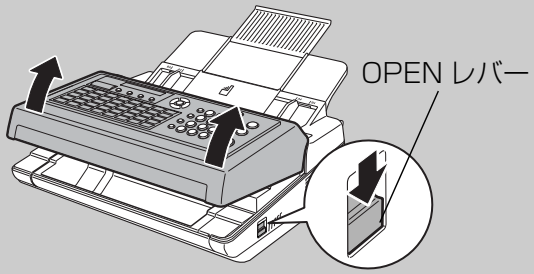
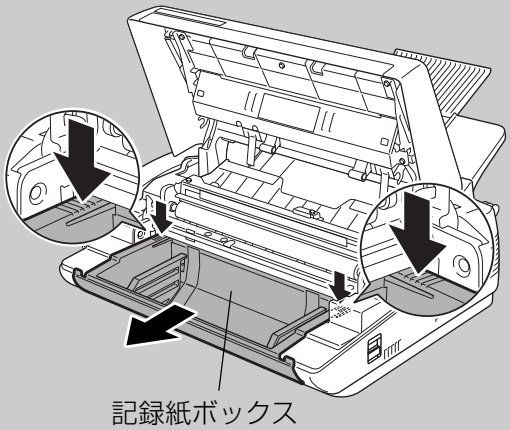
5 受信開閉部を閉じる

- 受信開閉部の中央に手をあて、「カチッ」と音がするまで閉める

⇨ 記録紙が自動的にカットされる

6	**用紙サイズのメニューを表示する** (セット) 7 → 4 (セット) → 2 3 (セット) を押す ⇨ 23 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ 2:B4 が表示される	● 誤って入力した場合は、ストップ を押して入力し直してください。
7	**A4 に設定する** テンキーで 1 を入力し、(セット) を押す	● を押すと、システム登録のひとつ後の項目が表示されます。
8	ストップ **を押す**	

■A4サイズをB4サイズに変更する

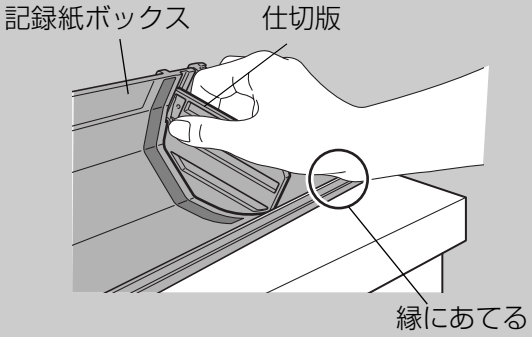
1	**OPEN レバーを押し下げ、受信開閉部を開く**	
2	**記録紙を取り除く**	
3	**記録紙ボックス両側にある を押しながら、記録紙ボックスを引き出す**	

次ページへ続く▶▶▶

記録紙をセットする(つづき)

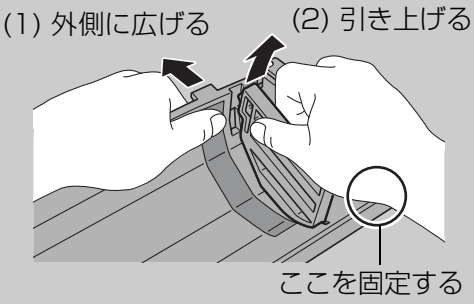
4 記録紙仕切板を取り外す

① 記録紙ボックスを安定した場所に置く
② 一方の手を記録紙ボックスの縁に当て、仕切板をつかむ



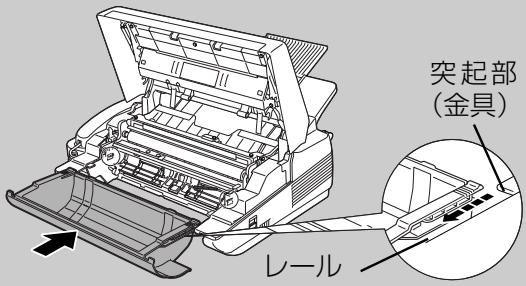
③ 仕切板をつかんでいる手で記録紙ボックスを固定しながら、
(1) もう一方の手で記録紙ボックスの仕切り板の近くを外側に 1～2 mm 広げながら、
(2) 仕切板を手前方向に引き上げる

④ ②～③と同様の操作で、反対側の仕切板を取り外す



5 記録紙ボックスをセットする

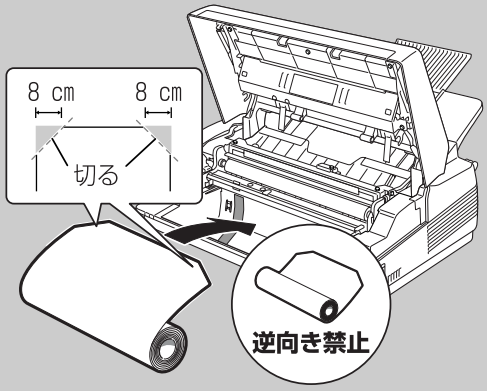
- 記録紙ボックスのレールと本体の突起部を合わせる



6 記録紙をセットする

- 記録紙がセットしづらいときは、両端を右図のように 8 cm 以上切ってからセットしてください。

- 記録紙の巻き方向は下図を参照してください。

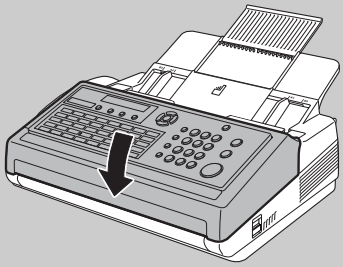


☞記録紙をセットする(p.21)

7 受信開閉部を閉じる

- 受信開閉部の中央に手をあて、「カチッ」と音がするまで閉める

⇨ 記録紙が自動的にカットされる



8 システム登録の [23 用紙サイズ] を [B4] に設定する

☞システム登録一覧の[23 用紙サイズ](p.117)

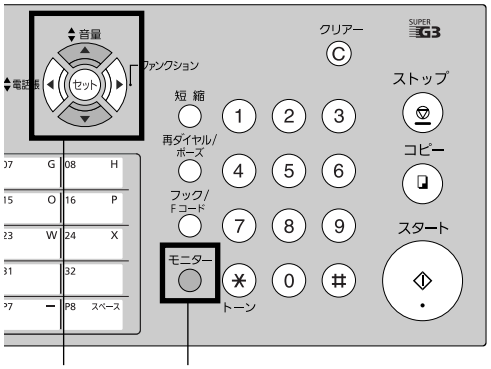
音量を調整する

次の２種類の音量を、操作パネルで調整できます。

- モニター音:
  モニター ◯ を押したときに聞こえる回線上の音です。音量は9段階で調整できます。
- 呼び出し音:
  着信したことを知らせる音です。音量は３段階(大、小、無し)で調整できます。

お知らせ

- アラーム音やボタン押下音(操作パネルのボタンを押したときの音)の音量も調節できます。
  ☞システム登録一覧の[10 ブザー音量](p.116)
- 電話の受話音量は調節できません。



音量ボタン モニターボタン

モニター音量

1 モニター ◯ を押す

⇨ `*ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ*` が表示される

- 誤って設定した場合は、待機画面が表示されるまでストップ ◯ を数回押します。
  待機画面の例:
  `2006-03-01 15:00`
  `00%`

2 音量を調整する

セット を押すと、モニター音量が大きくなる

セット を押すと、モニター音量が小さくなる

⇨ `ﾓﾆﾀｰ ｵﾝﾘｮｳ`
`ｼｮｳ [■■■■■■■■] ﾀﾞｲ` が表示される

- 音量は９段階で調整できます。

3 モニター ◯ を押す

呼び出し音量

1 待機状態を確認する

⇨ `2006-03-01 15:00`
`00%` が表示されている

2 音量を調整する

セット を押すと、呼び出し音量が大きくなる

セット を押すと、呼び出し音量が小さくなる

⇨ `ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｵﾝﾘｮｳ`
`(((( ))))` が表示される

- 音量は３段階(大、小、無し)で調整できます。
- `ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｵﾝﾘｮｳ` にすると、呼び出し音は鳴りません。

3 ストップ ◯ を押す

節電モードについて

■節電モードとは

本機は、一定の間何も操作しないと、自動的に使用する電力を下げ、消費電力を節約する機能を搭載しています。この機能を「節電モード」と呼びます。

節電モードに移行すると、消費電力が約 1.2 Wに下がります（通常は約6 W）。

お願い

- 次の場合は、節電 ◎ を押しても節電モードへ移行できません。また、システム登録の[34 節電モード]も表示されません。
  ・システム登録の[96 NTT ファクシミリ 通信網]が[2:SDT]または[3:Timer]に設定されている
  ・システム登録の[21 着信ベル回数]が「0」回に設定されている
  ・システム登録の[175 発番号ルーティング]が[あり]に設定されている
  ・システム登録の[176 モデムダイヤルイン ルーティング]が[あり]に設定されている
  ・通信エラーが発生している

  通信エラーが発生している場合は、節電 ◎ を押しても節電モードへ移行できません。ただし、システム登録の[34 節電モード]は表示されます。

お知らせ

- システム登録の[34 節電モード]が[オン]に設定されている場合、最後に操作してから節電タイマーで設定されている時間が経過すると、自動的に節電モードに移行し、使用電力が下がります。設定については下記の「■節電モードの設定変更」を参照してください。
- 節電 ◎ を押すと、手動で節電モードに移行できます。節電モードに移行中は、節電 ◎ を押すと節電モードが解除され、通常の状態に戻ります。また、原稿をセットしたとき、ファクスを受信したとき、電話をかけるとき、電話を受けるときも節電モードは自動的に解除されます。
- 節電モードに移行中は、節電 ◎ のランプが点灯します。

■節電モードの設定変更

お買い上げ時は、60分間何も操作しないと、自動的に節電モードに移行するように設定されています。設定を変更する場合は、次の手順で操作します。

1 節電モードのメニューを表示する

セット 7 → 4 セット → 3 4 セット を押す

⇨ 34 ｾﾂﾃﾞﾝ ﾓｰﾄﾞ / 2:ｵﾝ が表示される

2 節電モードの有効 / 無効を設定する

次のどちらかをテンキーで入力し、セット を押す

1：オフ
2：オン

⇨ [オン]に設定した場合は、ｾﾂﾃﾞﾝ ﾀｲﾏｰ / 60 ﾌﾝ (1-120) が表示される

3 （手順 2 でオンに設定した場合）節電タイマーを設定する

最後に操作してから節電モードに移行するまでの時間（1 ～ 120 分）をテンキーで入力し、セット を押す

4 ストップ ◎ を押す

- 誤って入力した場合は、ストップ ◎ を押して始めからやり直してください。
- 時間を誤って入力した場合は、クリアー ◎ を押します。
- セット を押すと、システム登録のひとつ後の項目が表示されます。

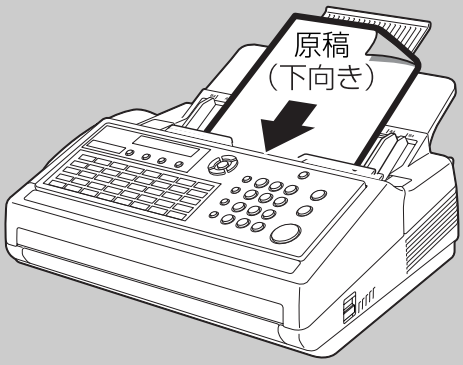
原稿をセットする

お知らせ

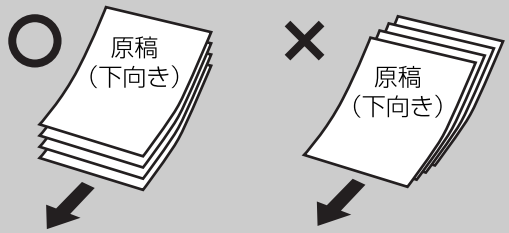
- セットできる原稿について
  ☞原稿について(p.28)

1 送る面を下に向け、「アテサキヲ イレテクダサイ」と表示されるまで、原稿を差し込む

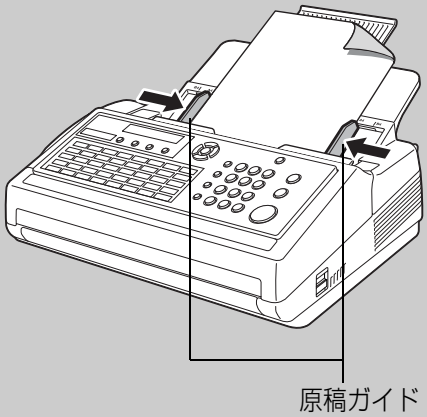
- 原稿をきちんとそろえてセットする
  (20枚まで)



- 原稿(50 g/㎡～75 g/㎡)を20枚以上セットする場合は、下図のように先端を階段状にずらしてセットしてください。(最大30枚)



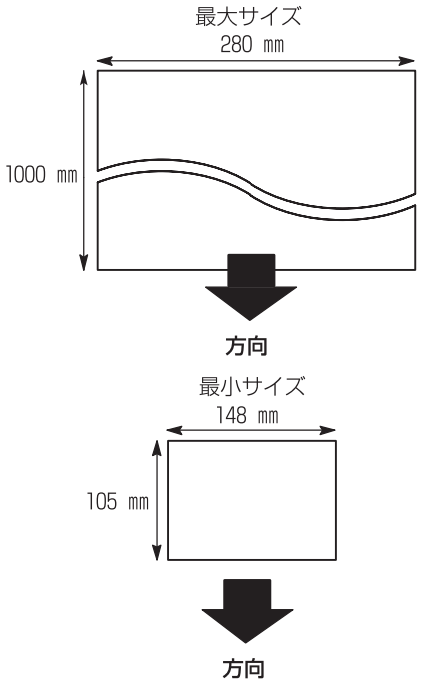
2 原稿ガイドを、原稿の幅に合わせる



原稿について

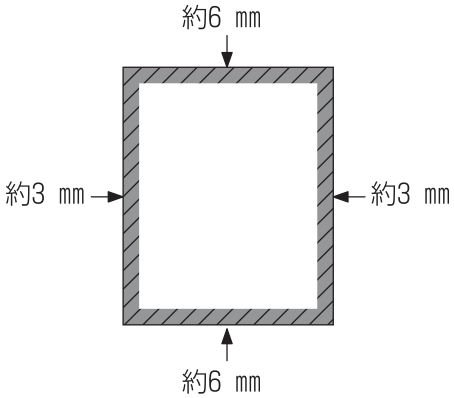
■セットできる原稿

原稿のサイズ

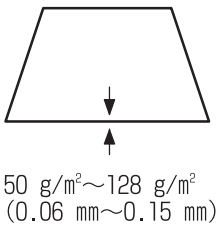


読み取り可能範囲

原稿のサイズにかかわらず、斜線部分は読み取れませんので、この部分には文字を書かないでください。



原稿(1枚)の厚さ

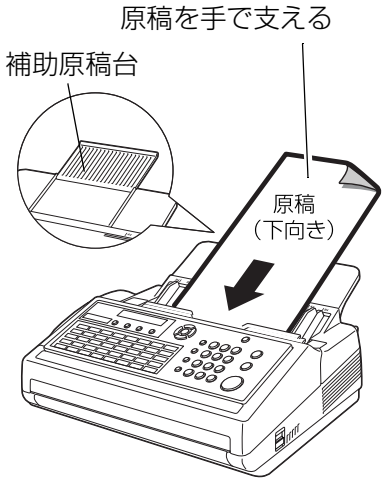


お知らせ

- 複数枚の原稿をセットする場合は、次表のような制限があります。

原稿のサイズ	原稿の厚さ	原稿の枚数
A4(210 mm×297 mm) B4(257 mm×364 mm)	50 g/㎡～75 g/㎡未満 (0.06 mm～0.12 mm未満)	20枚以下
	75 g/㎡以上～110 g/㎡ (0.10 mm以上～0.12 mm)	15枚以下

  - 上記は、同一サイズの上質紙をセットした場合の値です。
  - 原稿のサイズと厚みが上の表の条件を満たしていても、用紙の種類によっては20枚セットできない場合があります。
- A4 サイズより長い原稿をセットする場合は、補助原稿台が延びていることを確認してください。
- B4サイズより長い原稿をセットする場合は、補助原稿台が延びていることを確認した上で、右図に示す位置を手で支えながら送信してください。



■セットできない原稿

- 次のような原稿は、別の複写機でコピーして原稿を作りなおしてから、コピー/送信してください。

·薄い紙(0.06 mm未満のもの)
·厚い紙(0.15 mmを超えるもの)
·布地、金属シート
·のりやセロハンテープで貼り合わせたもの
·幅148 mm×長さ105 mmより小さいもの
·破れ、しわ、カールや折り目のあるもの
·静電気で密着しているもの
·フィルムやトレーシングペーパーのようなもの
·表または裏がコーティングされているもの
·光沢のあるもの
·感熱紙、裏カーボン紙など化学処理したもの
·パンチ穴が開いているもの
·こしが強いもの
·湿っているもの

- 原稿についているクリップやステープラーは、取り外してください。
- インク、のり、修正液は完全に乾かしてください。
(コピーやファクス送信時に白や黒い線が入る原因になります)

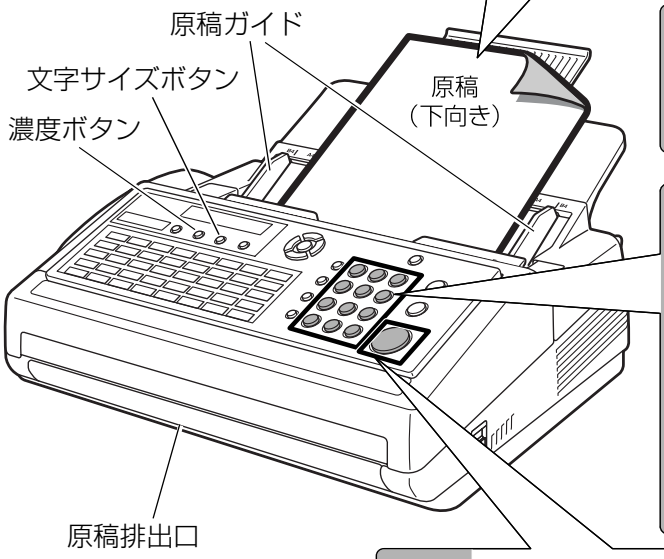
ファクスを送信する/受信する

■ファクスを送信する

1 原稿をセットする

- 送信する面を下に向け、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる
  ☞原稿をセットする(p.27)

⇨ ｱﾃｻｷ ヲ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
スタートヲ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 00% が表示される



2 濃度や文字サイズを選ぶ

☞濃度や文字サイズを設定する(p.39)

3 ダイヤルする

テンキーで相手の電話番号を入力する

⇨ TEL. NO.
12345678 が表示される

- ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを使って宛先を指定することもできます。
  ☞宛先を指定する(p.33)

4 スタート を押す

⇨ 原稿がメモリーに蓄積され、送信が開始される

⇨ *ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ* NO.001
ﾏｲｽｳ=001 01% が表示される

- 送信を中止する場合
  ☞送信を中止する(p.44)

読み込んだ原稿が通信予約ファイルとしてメモリーに蓄積されている場合は、通信予約ファイルの消去が必要です。
☞通信予約ファイルを消去する(p.95)

お知らせ

- 相手が話し中などで、送信できない場合は、自動的に再送信されます。
- メモリーには、[文字サイズ]を[ふつう]に設定してA4サイズ・700文字程度の原稿を読み取った場合で、約240枚まで蓄積できます。
- 本機では、1ページ目の原稿を読み込んでメモリーに蓄積すると、すぐにダイヤルが開始されます。この機能を「クイックメモリー送信」と呼びます。
  クイックメモリー送信について
  ☞読み込み中の動作(p.43)
- 原稿をメモリーに蓄積しないで送信したい場合は、[F8 セレクトモード]の[9 メモリー優先]を[オフ]に設定するか、またはシステム登録の[05 メモリー優先(送信/コピー)]を[オフ]にしてください。
  ☞メモリーに蓄積して送信する[メモリー優先](p.80)
  ☞システム登録一覧の[05 メモリー優先(送信/コピー)](p.115)

■ファクスを受信する

お買い上げ時、受信モードは[FAX専用]に設定されており、相手がファクスであれば、操作なしで自動的に受信が開始されます。受信モードは、電話とファクスを自動的に切り替える、留守番電話を接続するなど、ご使用の状況に合わせて変更できます。

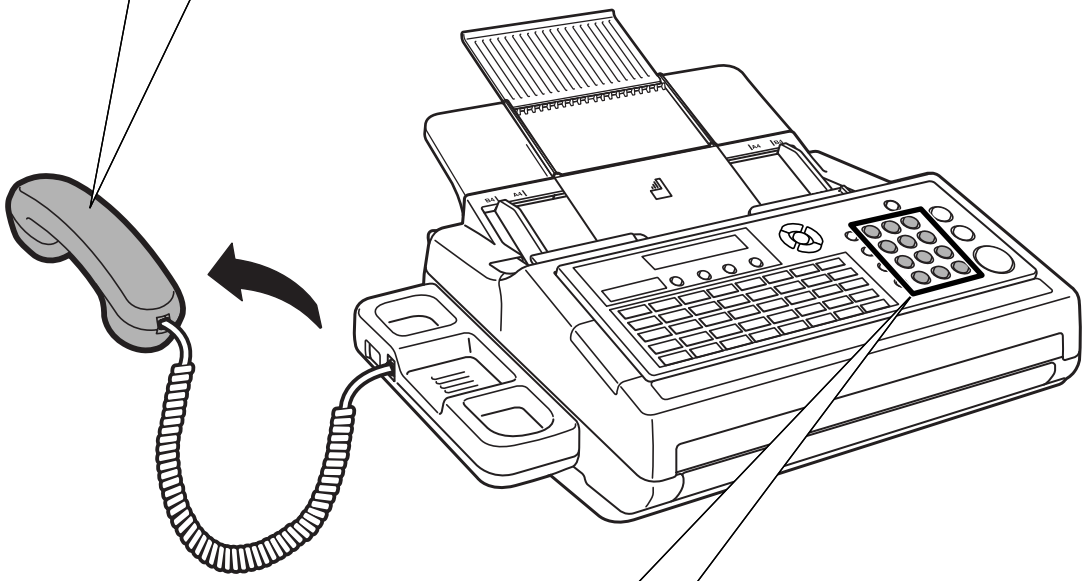
☞ファクスの受けかたを選ぶ(p.46)

電話をかける

1 受話器を上げる

⇨ ｼﾞｭﾜｷ ｶﾞ ｱｶﾞｯﾃｲﾏｽ が表示される

- 通話中は通信中ランプが点滅します。



2 ダイヤルする

テンキーで相手の電話番号を入力する

⇨ TEL. NO.
12345678 が表示される

- ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを使って宛先を指定できます。
☞宛先を指定する(p.33)

3 電話が終ったら、受話器を置く

お知らせ

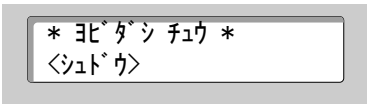
- 外部電話機からも電話をかけることができます。
☞外部電話機(p.13)
- 外部電話機の使用中は、ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

ｶﾞｲﾌﾞﾃﾞﾝﾜ ｼﾖｳﾁｭｳ

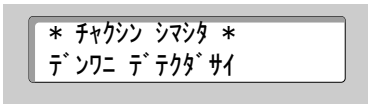
電話を受ける

受信モードが、[手動]または[FAX/TEL切り替え]に設定されている場合、着信した相手が電話であれば、呼び出し音が鳴り、ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

● 受信モードが[手動]のとき



● 受信モードが[FAX/TEL切り替え]のとき



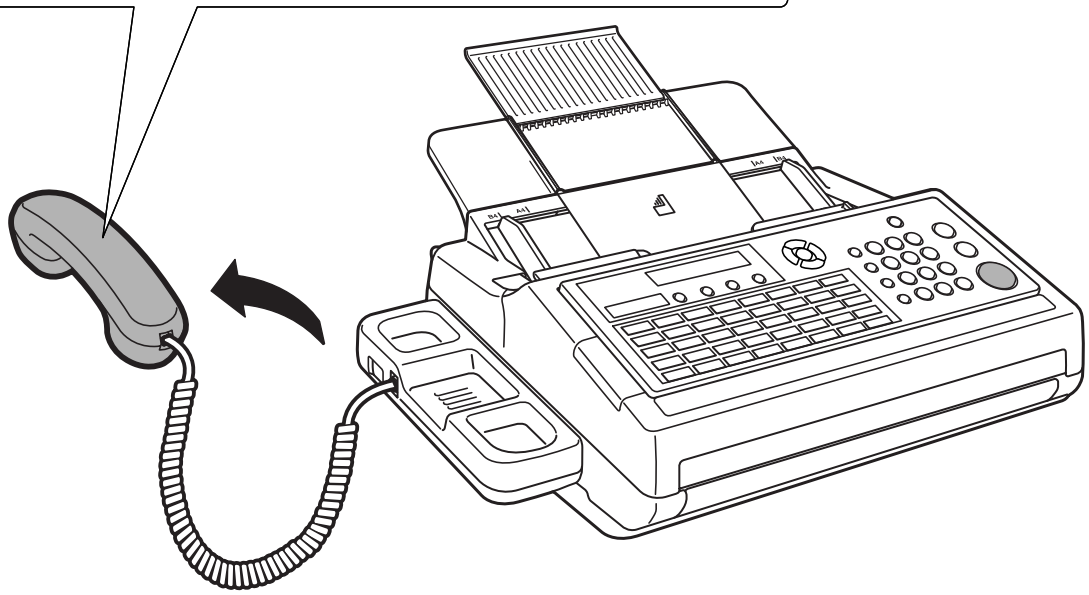
次の手順で電話を受けてください。

1 呼び出し音が鳴ったら、受話器を上げる

● 「ポー、ポー‥」という音が聞こえたり、無音の場合、相手はファクスです。

スタート を押すと受信が開始されます。

● 通話中は、通信中ランプが点滅します。

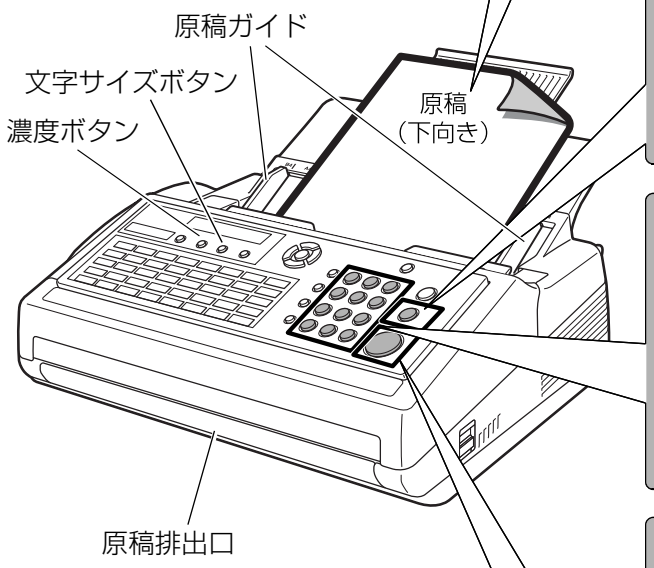


2 電話が終ったら、受話器を置く

お知らせ

● 受信モードについて
☞ファクスの受けかたを選ぶ(p.46)

コピーする



1 原稿をセットする

- コピーする面を下に向け、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる
☞原稿をセットする（p.27）

2 コピー を押す

⇨ コﾋﾟｰ
コﾋﾟｰ ﾌﾞｽｳ=1 が表示される

- 文字サイズが、自動的に［小さい］に設定されます。

3 コピー部数を入力する（最大 99 部）

テンキーでコピー部数を入力する

（例）10 部コピーする場合：1 0 と入力

⇨ コﾋﾟｰ
コﾋﾟｰ ﾌﾞｽｳ=10 が表示される

4 濃度や文字サイズを選ぶ

- 文字サイズで［ふつう］と［ハーフトーン（細密）］は選択できません。
☞濃度や文字サイズを設定する（p.39）

5 スタート を押す

⇨ 原稿がメモリーに蓄積され、コピーが開始される

⇨ ＊ ｺﾋﾟｰ ｼﾃｲﾏｽ ＊
ｺﾋﾟｰ ﾌﾞｽｳ=01/10 が表示される

- コピーを中止する場合は ストップ を押します。
- 原稿の読み取り中にメモリーが一杯になると、「メモリーオーバー」が表示され、コピーは中止されます。
このような場合は、原稿を 2 回以上に分けてコピーしてください。

お知らせ

- A4サイズの記録紙がセットされている場合、B4サイズの原稿をコピーすると、縮小してコピーされます。
- コピーできる原稿の長さは、1 mまでです。
- コピー文書の排出順は、システム登録の［05 メモリー優先（送信/ コピー）］の設定により異なります。
  ·［オン］のとき
  コピー部数にかかわらず、正順で一部ずつ排出されます。（原稿はメモリーに蓄積されます）
  ·［オフ］のとき
  コピー部数が 1 部の場合、逆順で排出されます。（原稿はメモリーに蓄積されません）
  コピー部数が複数の場合、正順で排出されます。（原稿はメモリーに蓄積されます）

正順プリントについて
☞受信文書の排出順について［正順プリント］（p.55）

宛先を指定する

宛先を指定する方法には、次の４種類があります。

☞直接ダイヤル(p.33)
☞ワンタッチダイヤル(p.34)
☞短縮ダイヤル(p.35)
☞宛先名から検索する[電話帳](p.36)

お知らせ

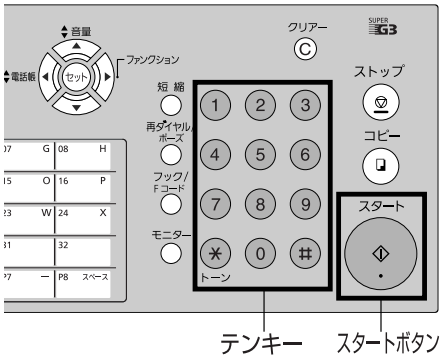
- 次の操作で、宛先を指定、または確認することもできます。
  - ☞複数の宛先を指定する(p.57)
  - ☞同じ相手にもう一度送信する[再ダイヤル](p.37)
  - ☞宛先を確認する(p.38)

直接ダイヤル

テンキーを使って宛先を指定する操作を、「直接ダイヤル」と呼びます。

お知らせ

- 直接ダイヤルでは、最大50宛先まで指定できます。
  ☞複数の宛先を指定する(p.57)



1	(原稿をセットして) **電話番号を入力する** **テンキーで相手の電話番号を入力する** ⇨ TEL. NO. 12345678▌ が表示される	● 誤って入力した場合はクリアー(C)を押します。 ● 電話番号は、36桁まで入力できます。 ● ポーズ、トーン、サブアドレスも入力できます。下記の「記号を使ったダイヤル方法」を参照してください。なお、これらの記号は36桁に含まれます。
2	スタート を押す	

■記号を使ったダイヤル方法

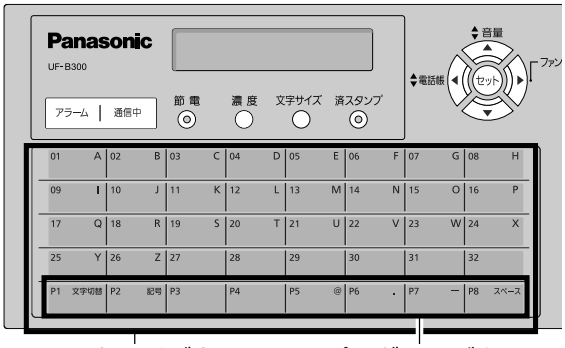
ポーズを入力する	再ダイヤル/ポーズ	ダイヤルに間隔を開けたいときに押します。 内線電話をお使いの場合は、外部発信番号を入力したあとに、このボタンを押してから、相手の電話番号を入力します。 画面には、ーが表示されます。
トーン信号に切り替える	＊ トーン	ダイヤル回線をお使いの場合にこのボタンを押すと、パルス信号がトーン信号に切り替わります。画面には/が表示されます。 ● 回線種別がプッシュ(PB)の場合、このボタンを押すと画面には＊が表示されますが、設定は無効です。 ☞回線種別(p.16)
＃を入力する	＃	ファクス情報サービスを使う場合などに押します。
Fコード(サブアドレス)を入力する	フック/Fコード	Fコード(サブアドレス)を入力したい場合は、このボタンを押してからFコード(サブアドレス)を入力します。画面には、sが表示されます。 ☞Fコード(サブアドレス)を入力する(p.58)

宛先を指定する(つづき)

ワンタッチダイヤル

お知らせ

- ワンタッチダイヤルはあらかじめ登録が必要です。
  ☞ワンタッチダイヤル(p.99)
- ワンタッチダイヤルに登録した宛先を確認したい場合は、ワンタッチダイヤルリストを印刷してください。
  ☞ダイヤルリストの印刷(p.123)
- プログラムボタン(P1 ～ P8)をワンタッチダイヤルとして利用できます。
  ☞ プログラムボタンにワンタッチダイヤルを登録する(p.108)
- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。ストップ を押さずに続けて入力を行うと、複数の宛先に送信されることがあります。



1 (原稿をセットして)

ワンタッチボタンを押す

(例) ワンタッチボタンの 01 にパナソニックを登録している場合

01 A **を押す**

⇨ 〈01〉 ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ
12345678 が表示される

2 スタート **を押す**

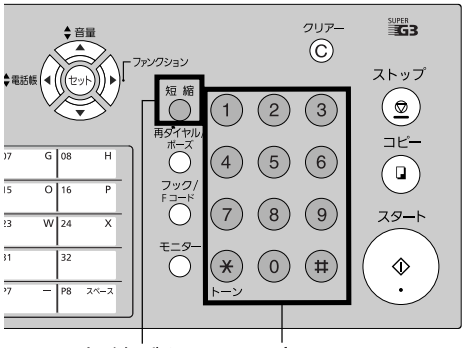
簡単なワンタッチダイヤルの登録方法

1. セット 7 → 2 セット → 1 を押す
2. 登録したいワンタッチボタンを押す
3. 電話番号を入力(36桁まで)し、セット を押す
4. 宛先名を入力(15文字まで)し、セット を押す
5. 中継送信登録で、2 を入力する
6. ストップ を押す

短縮ダイヤル

お知らせ

- 短縮ダイヤルはあらかじめ登録が必要です。
  ☞短縮ダイヤル(p.102)
- 短縮ダイヤルに登録した宛先を確認したい場合は、短縮ダイヤルリストを印刷してください。
  ☞ダイヤルリストの印刷(p.123)
- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。ストップ を押さずに続けて入力を行うと、複数の宛先に送信されることがあります。



1 短縮ボタンを押す

(原稿をセットして)

短 縮 を押す

⇨ `ﾀﾝｼｭｸ[▌ ]`
`ﾀﾝｼｭｸNO. ヲ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ` が表示される

簡単な短縮ダイヤルの登録方法

1. セット 7 2 セット 2 を押す
2. テンキーで登録したい短縮番号(3桁)を押す
3. 電話番号を入力(36桁まで)し、セット を押す
4. 宛先名を入力(15文字まで)し、セット を押す
5. 中継送信登録で、2 を入力する
6. ストップ を押す

2 短縮番号を入力する

テンキーで短縮番号(3桁)を入力する

(例) 短縮ボタンの 010 にパナソニックを登録している場合

0 1 0 を押す

⇨ `[010]ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ`
`12345678` が表示される

- 誤って入力した場合は クリアー を押します。

3 スタート を押す

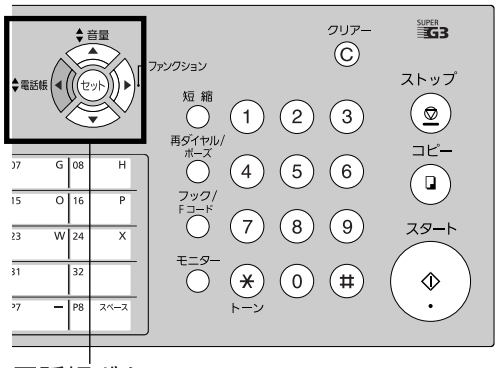
宛先を指定する(つづき)

宛先名から検索する[電話帳]

を使って、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録されている宛先名から宛先を検索できます。

お知らせ

- ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルはあらかじめ登録が必要です。
  ☞ワンタッチダイヤル(p.99)
  ☞短縮ダイヤル(p.102)
  ☞ プログラムボタンにワンタッチダイヤルを登録する(p.108)
- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。ストップ を押さずに続けて入力を行うと、複数の宛先に送信されることがあります。



電話帳ボタン

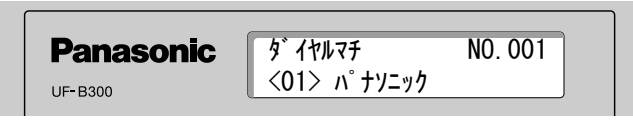
1	(原稿をセットして) **電話帳ボタンを押す** セット を押す ⇨ ｱﾃｻｷﾒｲﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ ｸｶﾅ ▌ が表示される	
2	**宛先名を入力する** 文字入力で、宛先名の一部、または全部を入力する (例) パナソニックを検索するために、パナと入力する 16 P 01 A 14 N 01 A ⇨ ｱﾃｻｷﾒｲﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ ｸｶﾅ ﾊﾟﾅ▌ が表示される	● 誤って入力した場合は クリアー を押します。 ☞文字入力のしかた(p.111)
3	**宛先を検索する** セット で希望する宛先を表示する	
4	スタート を押す	

同じ相手にもう一度送信する[再ダイヤル]

■自動再ダイヤル

相手が話し中などで、つながらなかった場合は、約３分間隔で２回まで自動的に再ダイヤルされます。

再ダイヤル待ちになったときは、次の画面のように「ダイヤル待ち」のメッセージと、通信予約ファイルのファイルNo.が表示されます。



お知らせ

- 再ダイヤル待ちの通信予約ファイルは、通信予約時刻や宛先を変更できません。
- 再ダイヤル待ちの通信を中止したい場合は、「ダイヤル待ち」のメッセージが表示されている状態で、ストップ を押します。

☞送信を中止する(p.44)

■手動再ダイヤル

直前にダイヤルした宛先に、もう一度ダイヤルできます。

再ダイヤルをする場合は、次の手順で操作します。

再ダイヤル/ポーズボタン

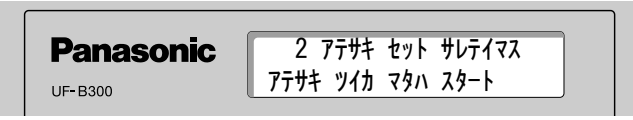
1	(原稿をセットして) **再ダイヤルを押す** 再ダイヤル/ポーズ **を押す** ⇨ 直前にダイヤルした電話番号が表示される TEL. NO. 12345678	
2	スタート **を押す**	

宛先を指定する(つづき)

宛先を確認する

■指定した宛先数を確認するとき

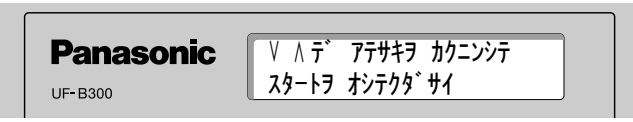
複数宛先を指定しているときは、宛先の入力時に（セット）を押すと、入力済みの宛先数を確認できます。



■宛先確認が設定されているとき

システム登録の[125 宛先確認]を[あり]に設定すると、常に宛先確認をしてから送信を開始するようにできます。この設定は、誤送信の防止に役立ちます。

宛先確認が設定されている場合は、（スタート）ボタンを押すと、次の画面が表示されます。



（セット）を押して入力済みの宛先を確認し、（スタート）ボタンを押します。

お知らせ

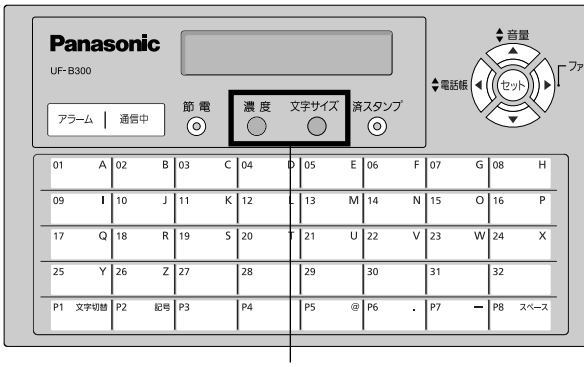
- お買い上げ時、システム登録の[125 宛先確認]は、[なし]に設定されています。
  ☞システム登録一覧の[125 宛先確認](p.121)

濃度や文字サイズを設定する

送信する原稿に合わせ、濃度と文字サイズを設定できます。

お知らせ

- よく送信する原稿に合わせ、濃度や文字サイズの設定をシステム登録で変更できます。
  ☞システム登録一覧の[01 濃度切替](p.115)
  ☞システム登録一覧の[02 文字サイズ](p.115)
- 原稿の読み込み中に濃度や文字サイズを変更できます。変更した設定は、読み込み中の次のページから反映されます。



濃度ボタン　文字サイズボタン

読み取り濃度

原稿を読み込む濃度を設定します。

1 濃度 を押す

⇨ ボタンを押すたびに、濃度が切り替わる

・ふつう：通常はこれに設定する
・うすく：濃い原稿のとき
・こく　：薄い原稿のとき

⇨ ﾉｳﾄﾞ ｷﾘｶｴ:
　　ﾌﾂｳ が表示される

文字サイズ

原稿を読み込む細かさ（解像度）を設定します。

1 文字サイズ を押す

⇨ ボタンを押すたびに、文字サイズが切り替わる

・ふつう：通常はこれに設定する
・小さい：細かい文字のとき
・細密　：詳細な図面などのとき
・ハーフトーン（小さい）
**　　：写真原稿のとき**
・ハーフトーン（細密）
**　　：詳細な写真原稿のとき**

⇨ ﾓｼﾞ ｻｲｽﾞ:
　　ﾌﾂｳ が表示される

- コピーでは、[ふつう]、[ハーフトーン(細密)]を選択しても自動的に[小さい][ハーフトーン(小さい)]でコピーされます。
- 相手機が[細密]、[ハーフトーン(細密)]で受信できないときは、[小さい]、[ハーフトーン(小さい)]で送信されます。

済スタンプをつける

読み込んだ原稿の後端に、小さな済印(済スタンプ)を付けることができます。

お知らせ

- お買い上げ時は、済スタンプを押さないように設定されています。
  システム登録の[04 済スタンプ]で、設定を変更できます。
  ☞システム登録一覧の[04 済スタンプ](p.115)
- システム登録の[28 メモリー済スタンプ]で、メモリー送信で読み取った原稿には済スタンプを押さないように設定できます。
  ☞システム登録一覧の[28 メモリー 済スタンプ](p.117)
- 済スタンプが薄くなった場合は、インクを補充してください。
  ☞済スタンプのインクを補充する/交換する(p.149)
- 済スタンプの色はピンクです。
- 押された済スタンプを消すことはできません。大切な原稿には、済スタンプを押さないようにしてください。
- 済スタンプをトレーシングペーパーなどの表面処理された原稿に使用すると、にじむことがあります。

1 済スタンプ ◎ **を押す**

ボタンを押すたびに、済スタンプのオンとオフが切り替わる

⇨ スミスタンプ゛:
オン が表示される

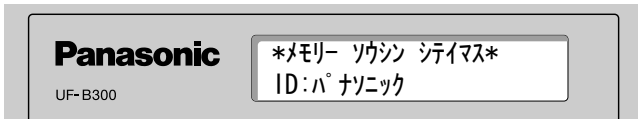
- [オン]に設定すると、済スタンプ ◎ のランプが点灯します。

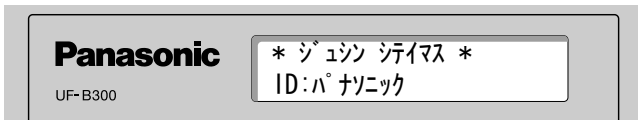
送信を予約する

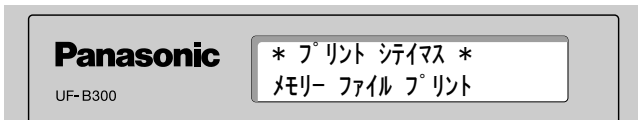
動作中(送信中、または受信文書やレポート類の印刷中など)に、次の送信を予約できます。この機能を「送信予約」と呼びます。

送信を予約する

動作中は、ディスプレイに次のようなメッセージが表示されています。





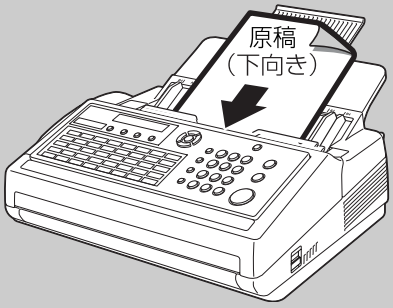


お知らせ

- 通信中は、通信中ランプが点滅しています。

1 原稿をセットする

- 送信する面を下に向け、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる



☞原稿をセットする(p.27)

2 宛先を指定する

宛先を入力し、スタート を押す

⇨ 送信文書がメモリーに蓄積され、送信予約される

⇨ *ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ* NO.002 / ﾏｲｽｳ=001 05% が表示される

☞宛先を指定する(p.33)

- 複数の宛先を指定できます。
  ☞複数の宛先を指定する(p.57)

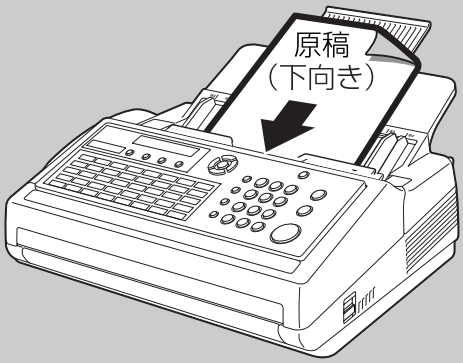
送信予約を解除する

送信予約した原稿は、通信予約ファイルとしてメモリーに蓄積されています。送信予約を解除する場合は、通信予約ファイルの消去が必要です。

☞通信予約ファイルを消去する(p.95)

相手を確認してから送信する

相手の状態を確認し、必要に応じて、相手と会話をしてから送信できます。この操作を「手動送信」と呼びます。
重要な文書を送信する場合は、この方法を利用すると安心です。

1	**原稿をセットする** ● 送信する面を下に向け、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる	 ☞原稿をセットする（p.27）
2	**濃度や文字サイズを選ぶ**	☞濃度や文字サイズを設定する（p.39）
3	**受話器（または外部電話機の受話器）を上げる** ● 発信音（ツー音）を確認する	● 通話中は通信中ランプが点滅します。 ● 本機に外部電話機を接続している場合は、外部電話機で相手と話をしてからファクス送信することもできます。 ☞外部電話機（p.13）
4	**ダイヤルする** テンキーで相手の電話番号を入力する ⇨ TEL. NO. 12345678▌ が表示される	● ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを使って宛先を指定できます。 ☞宛先を指定する（p.33）
5	**必要に応じて、相手と受話器で会話する**	
6	スタート **を押し、受話器を戻す** ⇨ 原稿が読み込まれ、送信が開始される	● 送信を中止する場合はストップを押し、テンキーで①を入力します。

■受話器を置いたままダイヤルするには

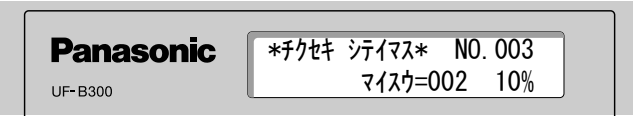
手順3で、受話器を上げるかわりにモニターを押すと、受話器を置いたままダイヤルできます。

もう一度モニターを押すと、待機状態に戻ります。

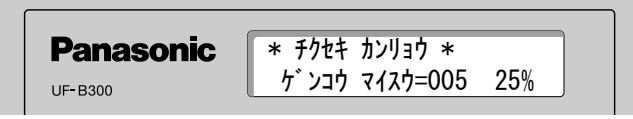
読み込み中の動作

送信を指示すると、読み込んだ原稿はメモリーに蓄積され、ダイヤルが開始されます。

・読み込み中：ディスプレイに、ファイルNo.、蓄積した枚数、メモリー使用量が表示されます。



・読み込み終了時：ディスプレイに、蓄積完了のメッセージと、蓄積した枚数、メモリー使用量が表示されます。



お知らせ

- 送信中に、何らかの原因で通信が中断した場合は、送信できなかったページが自動的に再送されます。
- 本機では、1ページ目の原稿を読み込んでメモリーに蓄積すると、すぐにダイヤルが開始されます。以降は、次ページの読み込みと、メモリーに蓄積済みのページの送信が同時に進行します。この機能を、「クイックメモリー送信」と呼び、枚数の多い原稿をメモリーに蓄積して送信する場合のメモリーオーバーフローを防止できます。
- システム登録の[82 クイックメモリー送信]を[なし]に設定すると、セットされている原稿のすべてのページをメモリーに蓄積してからダイヤルを開始するように設定できます。
☞システム登録一覧の[82 クイックメモリー送信](p.120)
- システム登録の[05 メモリー優先]を[オフ]に設定している場合、「クイックメモリー送信」は動作しません。

送信を中止する

原稿読み込み中

1 ストップ を押す

⇨ 読み込み中の原稿が排出される

送信中・再ダイヤル待ち

1 ストップ を押す

⇨ ｿｳｼﾝ ﾃｲｼ ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ が表示される

2 テンキーで 1 を入力する

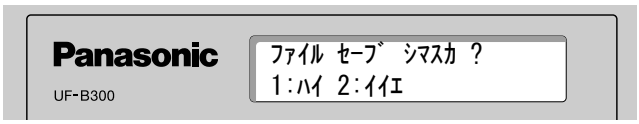
⇨ ﾂｳｼﾝｹｯｶﾚﾎﾟｰﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ が表示される

3 通信結果レポートを印刷する場合は 1 を、印刷しない場合は 2 を入力する

⇨ 送信が中止される

お知らせ

- システム登録の[31 未通信ファイル保存]が[あり]に設定されている場合は、手順2で 1 を入力すると、次の画面が表示されます。
  未通信ファイルを保存する場合は 1 を、保存しない場合は 2 をテンキーで入力します。



  保存した未通信ファイルは、[F9 予約 確認･消去]の[6 未達宛先再通信]で再送信できます。
  ☞未通信ファイルを再送信する(p.98)

通信予約されているとき

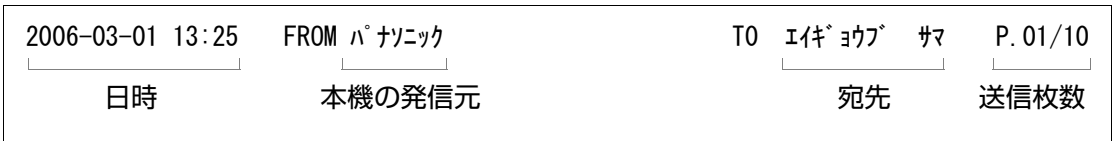
タイマー送信を指示したり、送信予約(通信中や印刷中に次の通信を指示すること)を指示すると、読み込んだ原稿と通信の指示がメモリーに蓄積されます。
蓄積されている原稿と通信の指示を合わせて、「通信予約ファイル」と呼びます。

通信予約ファイルとして蓄積されている通信を中止したい場合は、通信予約ファイルの消去が必要です。
☞通信予約ファイルを消去する(p.95)

発信元印字について

原稿を送信すると、相手に届いた原稿の先端に、日時や本機の発信元などが記録されます。
これらの情報を「発信元印字」と呼びます。

【発信元印字例】



お知らせ

- 発信元印字は、システム登録の[07 発信元印字]で、原稿の内側に印字するか、原稿の外側に印字するか、または印字しないかを設定できます。お買い上げ時は、原稿の内側に印字するように設定されています。
  発信元印字の設定について
  ☞システム登録一覧の[07 発信元印字](p.115)
- システム登録の[134 宛先名敬称付加]で、発信元印字の宛先(TO)に、「サマ」を印字するかどうかを設定できます。お買い上げ時は、「サマ」を印字するように設定されています。
  宛先名敬称付加の設定について
  ☞システム登録一覧の[134 宛先名敬称付加](p.121)
- 発信元の登録について
  ☞発信元(p.18)
- 送信枚数は、設定により、次のように印字されます。

  システム登録の[82 クイックメモリー送信]が[なし]のとき
  ・メモリー優先が[オン]のとき:現在の枚数/全体の枚数が印字される (例) P.02/02
  ・メモリー優先が[オフ]のとき:現在の枚数が印字される (例) P.01
  ☞システム登録一覧の[05 メモリー優先(送信/コピー)](p.115)
  ☞システム登録一覧の[82 クイックメモリー送信](p.120)

  システム登録の[82 クイックメモリー送信]が[あり]のとき
  ・メモリー優先の設定にかかわらず、現在の枚数が印字される (例) P.01
  ただし、原稿を1枚だけ送信した場合は、次のように印字されます。
  ・メモリー優先が[オン]のとき:現在の枚数/全体の枚数が印字される (例) P.01/01
  ・メモリー優先が[オフ]のとき:現在の枚数が印字される (例) P.01

ファクスの受けかたを選ぶ

受信モードについて

本機には、次の表のように、4種類の受信方法があります。

お買い上げ時は[FAX専用]に設定されています。お使いになる環境に合わせて設定してください。

電話回線の使用方法	適した受信モードとディスプレイ表示	着信時の動作
ファクス専用で使いたい	FAX専用 2006-03-01 15:00 00%	着信すると、すぐにファクス受信が開始されます。

以下は設定の変更が必要です。

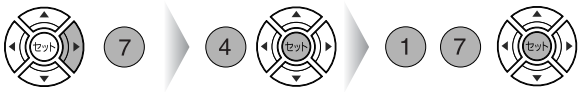
☞受信モードを設定する(p.47)

電話回線の使用方法	適した受信モードとディスプレイ表示	着信時の動作
電話として使うことが多い	手動 2006-03-01 15:00 〈ｼｭﾄﾞｳ〉 00%	呼び出し音が鳴り続けます。受話器を上げると、会話できます。ファクスを自動受信することはできません。 ● 受話器を上げて、「ポー、ポー･･･」という音がしたり無音の場合、相手はファクスです。 スタート を押すと受信できます。 ☞手動受信に設定しているとき(p.48)
電話とファクスの両方に使いたい	FAX/TEL切り替え (F/T切り替え) 2006-03-01 15:00 〈F/T ｷﾘｶｴ〉 00%	着信すると、呼び出し音が鳴ります。 ・ 相手がファクスの場合: ファクスであることを検知すると、自動的に受信が開始されます。 ・ 相手が電話の場合: 呼び出し音が鳴り続けます。受話器を上げると会話できます。 ☞FAX/TEL 切り替えに設定しているとき(p.49)
電話とファクスの両方に使い、留守番電話を接続したい	留守録接続 2006-03-01 15:00 〈ﾙｽﾛｸ ｾﾂｿﾞｸ〉 00%	着信すると、呼び出し音が鳴り、応答メッセージが流れます。 ・ 相手がファクスの場合: ファクスであることを検知すると、自動的に受信が開始されます。 ・ 相手が電話の場合: 留守番電話の録音が開始されます。 ☞留守録接続に設定しているとき(p.52)

受信モードを設定する

お知らせ

- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

1	**受信モードのメニューを設定する**  を押す ⇨ 17 ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ 2:FAX ｾﾝﾖｳ が表示される	
2	**受信モードを設定する** **テンキーで次のいずれかを入力し、セット を押す** **1: 手動** **2: FAX 専用** **3: FAX/TEL 切り替え** **4: 留守録接続**	● セット を押すと、システム登録のひとつ後の項目が表示されます。
3	ストップ **を押す**	

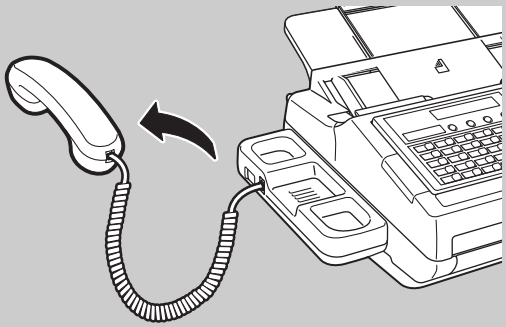
手動受信に設定しているとき

受話器を上げ、相手の「ポー、ポー・・・」という音を確認してから受信に切り替える操作を「手動受信」と呼びます。

システム登録の[17 受信モード]が[手動]に設定されている場合は、着信してもファクス受信は開始されません。呼び出し音が鳴ったら、次の手順で手動受信してください。

お知らせ

- 外部電話機からファクス受信に切り替えることもできます。
  ☞外部電話機から受信に切り替える[リモート受信](p.83)
- ナンバー・ディスプレイ(発信者番号通知)を契約している場合は、システム登録の[175 発番号ルーティング]を[あり]に設定する必要があります。設定が変更されていない場合、通信エラーとなります。
  ☞ナンバー・ディスプレイの設定(p.147)

1	**呼び出し音が鳴ったら、受話器を上げる**	
2	**原稿がセットされていないことを確認する**	
3	**「ポー、ポー・・・」という音を確認したら スタート を押す** ⇨ 受信が開始される ＊ｼﾞｭｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ＊ ID:12345678	● 無音の場合も、相手はファクスです。 ● ディスプレイの下段には、送信側の文字 ID や数字IDが表示されます。 ● 原稿をセットしたまま スタート を押すと、通信エラーとなります(設定により、通信結果レポートが印刷されます)。この場合は、セットされている原稿を取り除き、送信側に連絡して、もう一度受信してください。
4	**受話器を置く**	

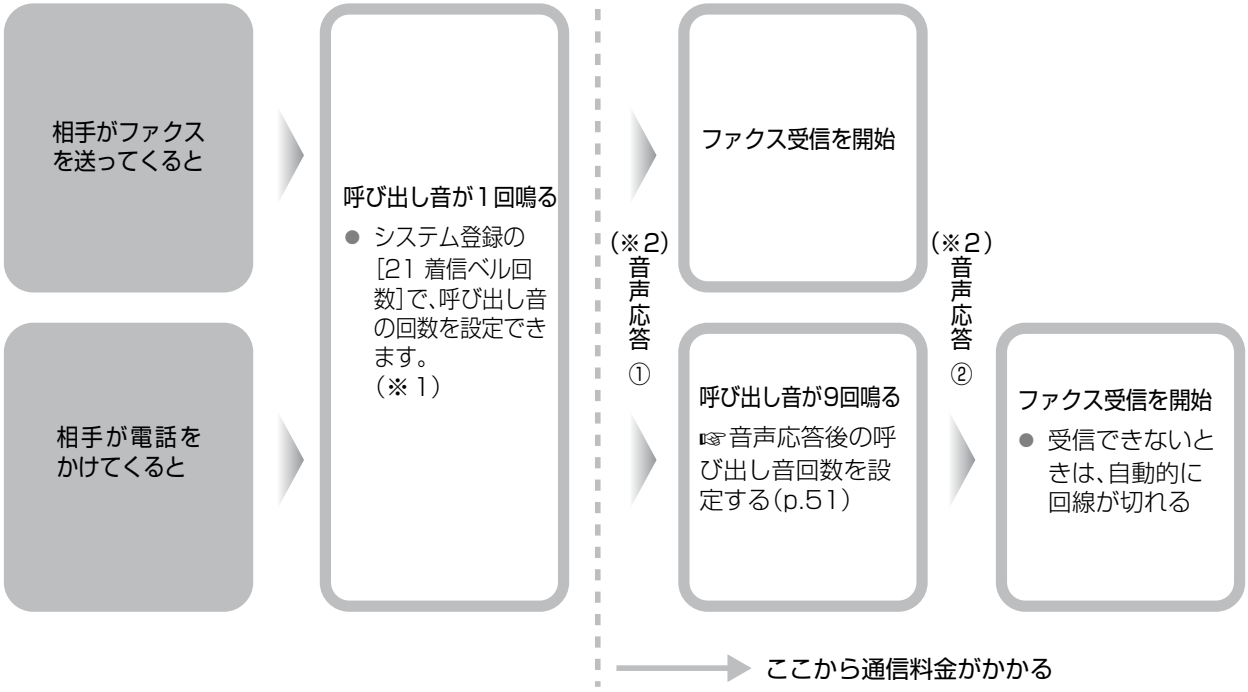
FAX/TEL切り替えに設定しているとき

着信時の動作

システム登録の[17 受信モード]が[FAX/TEL 切り替え]に設定されている場合は、着信すると呼び出し音が鳴ります。

- 相手がファクスの場合　：自動的に受信が開始されます。
- 相手が電話の場合　　：呼び出し音が鳴ります。受話器を上げると会話できます。

受信モードが[FAX/TEL切り替え]に設定されている場合は、次のように動作します。



お知らせ

- ※1
  - 回数を多く設定すると、電話にでやすくなります。
    ☞着信後の呼び出し音回数を設定する(p.50)
  - 呼び出し音が鳴った後、次に呼び出し音が鳴るまで、少し間が空きます。
  - システム登録の[21 着信ベル回数]が「0」回に設定されている場合は、節電を押しても節電モードへ移行できません。また、システム登録の[34 節電モード]も表示されません。
- ※2
  システム登録の[72 音声応答]で、次のような音声応答メッセージを流すように設定できます。
  [なし]の場合、相手には呼び出し音だけが聞こえます(お買い上げ時は、[なし]に設定されています)。
  音声応答①　「ただいま呼び出しております。」
  音声応答②　「呼び出しましたが近くにおりません。ファクシミリの方は送信してください。」
  ☞システム登録一覧の[72 音声応答](p.120)
- 呼び出し音量は3段階(大、小、無し)で調整できます。
  を押すと、呼び出し音量を小さくできます。
  ☞音量を調整する(p.25)
- 呼び出し音がなっているときに受話器を上げた場合は、スタートを押すと手動で受信できます。

FAX/TEL切り替えに設定しているとき(つづき)

着信後の呼び出し音回数を設定する

システム登録の[21 着信ベル回数]で、着信したときに鳴らすベル回数を設定できます。
お買い上げ時は１回に設定されています。

お知らせ

- 着信ベル回数について
  ☞着信時の動作(p.49)
- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

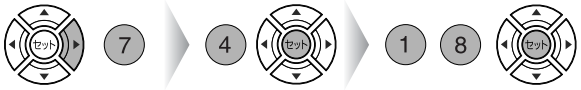
1	**着信ベル回数のメニューを表示する** セット 7 → 4 セット → 2 1 セット **を押す** ⇨ 21 ﾁｬｸｼﾝ ﾍﾞﾙ ｶｲｽｳ 1:1 ｶｲ が表示される	
2	**着信ベル回数を設定する** **テンキーでベル回数（０～９回）を入力し、** セット **を押す**	● セットを押すと、システム登録のひとつ後の項目が表示されます。
3	ストップ **を押す**	

音声応答後の呼び出し音回数を設定する

システム登録の[18 F/Tベル回数]で、最初の音声応答の後に鳴らすベル回数を設定できます。
お買い上げ時は、9回に設定されています。

お知らせ

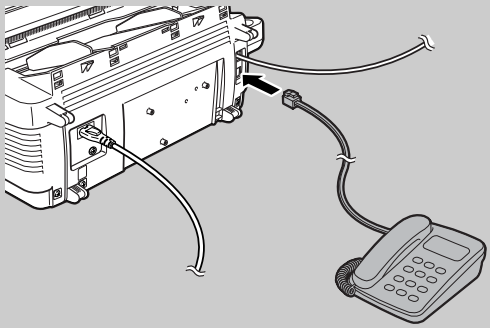
- F/Tベル回数について
  ☞着信時の動作(p.49)
- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

1	**F/T ベル回数のメニューを表示する**  を押す ⇨ 18 F/T ﾍﾞﾙ ｶｲｽｳ 3:9 ｶｲ が表示される	
2	**F/T ベル回数を設定する** 次のいずれかをテンキーで入力し、 を押す 1: 3回　　2: 6回 3: 9回　　4: 12回	● を押すと、システム登録のひとつ後の項目が表示されます。
3	ストップ を押す	

留守録接続に設定しているとき

留守番電話の接続

留守番電話を接続する場合は、次の手順で電話線を接続し、受信モードを設定します。

1	**留守番電話から出ている電話線を、本機の背面にある TEL 端子に接続する**	
2	**受信モードのメニューを表示する** (セット) 7 → 4 (セット) → 1 7 (セット) を押す ⇨ 17 ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ 2:FAX ｾﾝﾖｳ が表示される	● 誤って入力した場合は、ストップ を押して入力し直してください。
3	**受信モードを設定する** テンキーで 4 を入力し、(セット) を押す	● (メニュー) を押すと、システム登録のひとつ後の項目が表示されます。
4	ストップ を押す	

留守録接続の動作

受信モードが[留守録接続]に設定されている場合、着信するとすぐに留守番電話に接続し、留守番電話の応答メッセージが流れます。

- 応答メッセージが流れている間、相手側が電話かファクスかを判別しています。
  ファクスであれば、自動的に受信が開始されます。
  電話であれば、留守番電話で、相手のメッセージが録音されます。

お知らせ

- 無音検知について
  ファクス信号(「ポー、ポー・・・」)を送信しないファクスから着信した場合にも、5 秒以上無音が続くと自動的にファクス受信をするように設定できます。
  この機能を設定しておくと、留守番電話への無言のメッセージ録音を防止できます。
  無音検知機能を利用したい場合は、システム登録で、次の2つの項目を設定します。
  ①システム登録の[19応答メッセージ時間]を、留守番電話の応答メッセージの長さに合わせて設定します。
  ☞システム登録一覧の[19 応答メッセージ時間](p.116)
  ②システム登録の[20 無音検知]」を[あり]に設定する
  ☞システム登録一覧の[20 無音検知](p.117)
  ・ お使いの留守番電話によっては、本機より先に電話を切ってしまう場合があります。その場合は、サービス実施会社へご相談ください。
- 留守番電話機の録音残量がなくなった場合、ファクス受信ができなくなる場合があります。
- 外部電話機としてナンバーディスプレイ対応の留守番電話を接続している場合、本機が先にナンバーディスプレイ信号に応答するため、留守番電話機にはナンバーディスプレイ表示はされません。
- 本機をナンバー・ディスプレイ契約している回線に接続し、外部電話機として留守番電話機を接続した場合、留守番電話機が応答する前にファクス受信に切り替わることがあります。
  このような場合は、留守番電話機のナンバーディスプレイ機能をオフにし、留守番電話機のベル回数を短く設定(例:1回)してください。
  上記のように設定しても改善しない場合には、サービス実施会社にご連絡ください。

受信時の印刷について

縮小受信するとき

本機にセットされている記録紙の幅より、送信側の原稿幅が大きい場合は、通信時に縮小して送信されます。
（例）本機にA4サイズの記録紙がセットされているとき

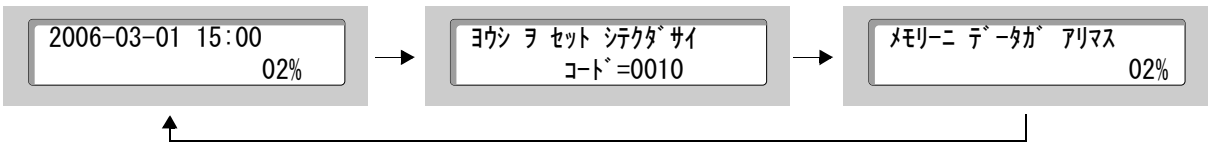
→ 送信側からA3サイズやB4サイズを送信すると、A4サイズに縮小して送信される

記録できないとき[代行受信]

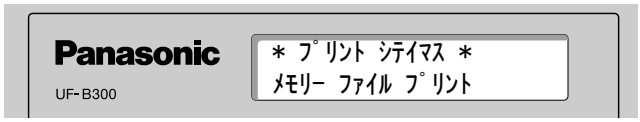
本機では、記録紙がなくなったり、つまったりして印刷できない場合は、受信文書をメモリーに蓄積する機能がはたらきます。この機能を「代行受信」と呼びます。

代行受信文書がメモリーに蓄積されている場合、メモリー受信のメッセージ、印刷できない原因のエラーコード、待機状態が順に表示されます。

(例)記録紙がなくなっている場合



記録紙を補給したり、記録紙づまりの対処をすると、メモリーに蓄積した受信文書は自動的に印刷されます。

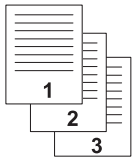
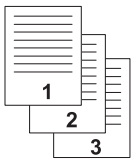
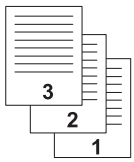


お知らせ

- 代行受信は、システム登録の[22 代行受信]が[あり]に設定されている場合にはたらきます。
  お買い上げ時は、[あり]に設定されています。
  ☞システム登録一覧の[22 代行受信](p.117)

受信文書の排出順について[正順プリント]

本機では、受信文書を正順（1 ページ目が上になる）で印刷できます。

原稿	受信原稿の印刷順序	
	正順で重ねる （正順プリント[あり]のとき）	逆順で重ねる （正順プリント[なし]のとき）
		

お知らせ

- 正順プリントは、システム登録の[65 正順プリント]が[あり]に設定されている場合にはたらきます。ただし、受信中にメモリーの残量が少なくなると（約 95%）逆順でプリントされる場合があります。お買い上げ時は、[あり]に設定されています。
  ☞システム登録一覧の[65 正順プリント]（p.120）
- コピー文書の排出順は、システム登録の[05 メモリー優先（送信/ コピー）]の設定により異なります。
  ・[オン]のとき
  コピー部数にかかわらず、正順で一部ずつ排出されます。
  ・[オフ]のとき
  コピー部数が 1 部の場合、逆順で排出されます。
  コピー部数が複数の場合、正順で排出されます。

プログラムダイヤルを呼び出す

プログラムダイヤルとは、あらかじめ登録されている一連の操作手順を、プログラムボタン(P1～P8)を押すだけで呼び出すことができる機能です。

定期的に発生する操作や、複雑な手順が必要な操作の場合は、プログラムダイヤルを利用すると、手順を簡素化するだけでなく、操作ミスも防止できて便利です。

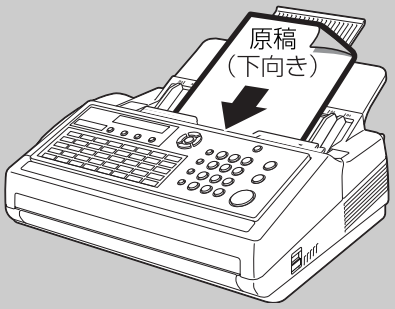
プログラムダイヤルは、次の手順で呼び出します。

お知らせ

- あらかじめプログラムダイヤルを登録しておく必要があります。
  ☞プログラムダイヤルを登録する(p.107)
- プログラムボタンにどのような操作が登録されているかは、プログラムダイヤルのリストで確認できます。
  ☞プログラムリスト(p.125)

1 送信の場合は、原稿をセットする

- 送信する面を下に向け、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる



☞原稿をセットする(p.27)

2 プログラムボタンを押す

(例) P1 を押す場合 P1 文字切替

呼び出したい操作が登録されているボタン(P1～P8)を押す

- 通信を中止する場合は ストップ を押します。

複数の相手に送信する

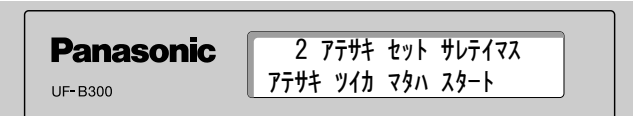
一度の操作で、原稿を複数の相手に送信できます。この操作を「順次同報送信」と呼びます。
ここでは、複数宛先の指定方法と、順次同報送信の操作手順について説明します。

複数の宛先を指定する

·ワンタッチダイヤル	指定したい宛先すべてのワンタッチダイヤルを押します。 ☞ワンタッチダイヤル(p.99)
·短縮ダイヤル	短縮 を押し、テンキーで短縮番号(3桁)を入力します。 この操作を、指定したい宛先すべてを入力するまで、繰り返します。 ☞短縮ダイヤル(p.102)
·電話帳	① セット を押し、ワンタッチボタンを使って宛先名(または宛先名の一部)を文字入力します。 ② セット で希望する宛先を表示して セット を押します。 ③①～②の操作を、指定したい宛先すべてを入力するまで、繰り返します。 ● 文字入力について☞文字入力のしかた(p.111)
·直接ダイヤル	テンキーで電話番号(最大36桁)を入力し、セット を押します。 この操作を、指定したい宛先すべてを入力するまで、繰り返します。
·グループダイヤル	グループダイヤルが登録されているプログラムボタン(P1～P8)を押します。 ● グループダイヤルは、あらかじめ登録が必要です。 ☞グループダイヤルを登録する(p.106)

お知らせ

- 上記の操作を組み合わせて指定することもできます(最大400宛先)。
- システム登録の[05 メモリー優先(送信 / コピー)]が[オフ]に設定されている場合、複数宛先は指定できません。
- 宛先を入力しているときに セット を押すと、入力済みの宛先数を確認できます。
  ☞宛先を確認する(p.38)



順次同報送信の操作

順次同報送信をする場合は、次の手順で操作します。

1	**原稿をセットする** ● 送信する面を下に向け、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる	☞原稿をセットする(p.27)
2	**宛先を指定する** **上記の「複数宛先の指定方法」を参照して宛先を入力し、スタート を押す** ⇨ 原稿がメモリーに蓄積され、1 宛先ずつ、送信が開始される	● 指定した宛先のいずれかの送信を中止すると、すべての未送信宛先への送信が中止されます。

Fコード(サブアドレス)を入力する

F コード通信は、ＩＴU-T(国際電気通信連合の通信規格などを制定する部門)の規格に従ったサブアドレスとパスワードを使った通信方法です。

- 当社機以外のファクスをお使いの相手とも、サブアドレスやパスワードを使って機密事項を保持した通信ができます。
- 電話番号に続けてサブアドレスを指定することで、さまざまな機能を実現できます。
- パスワードは、システム登録の[53 サブアドレスパスワード]で登録したものが使用されます。
  ☞システム登録一覧の[53 サブアドレス パスワード](p.119)

お知らせ

- 本機を、F コードセンター機として使用することはできません。
- 本機は、F コードセンター機の掲示板機能を使用した原稿の取り出しには、対応していません。
- F コード通信を使ったルーティングについて
  ☞ルーティング機能を使う(p.88)

1	**原稿をセットする** ● 送信する面を下に向け、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる	☞原稿をセットする(p.27)
2	**宛先を指定する** **電話番号を入力する** ⇨ TEL. NO. 12345678▌ が表示される	☞直接ダイヤル(p.33)
3	**F コード（サブアドレス）を入力する** フック/Fコード **を押し、F コード（サブアドレス）を入力する** (例) F コードとして 1111 を入力する場合 フック/Fコード (1)(1)(1)(1) ⇨ TEL. NO. 12345678s1111▌ が表示される	● フック/Fコード を押すと、ディスプレイにはsが表示されます。 ● 誤って入力した場合は クリアー を押します。
4	スタート **を押す** ⇨ 原稿が通信予約ファイルとしてメモリーに蓄積され、F コードを利用した通信が開始される	

時刻を指定して通信する

時刻を指定して、送信やポーリング受信をすることができます。1 か所、または複数の宛先へ、24 時間後までの時刻を指定して通信できます。

時刻を指定して送信する[タイマー送信]

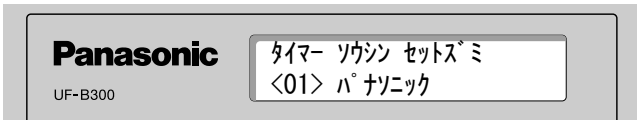
24時間後までの時刻を指定して送信できます。

読み取った原稿は、通信予約ファイルとしてメモリー内に蓄積され、設定した時刻になると自動的に送信が開始されます。タイマー送信をする場合は、次の手順で操作します。

1	**原稿をセットする** ● 送信する面を下に向け、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる	☞原稿をセットする(p.27)
2	**タイマー送信のメニューを表示する** セット 1 → 1 セット を押す ⇨ タイマー ソウシン ヨヤク ジコク ▌: が表示される	
3	**送信時刻を設定する** テンキーで時刻を入力し、セット を押す	● 誤って入力した場合は クリアー © を押します。 ● 時刻は24時制(4桁)で入力します。 (例) 午後11:30に送信したいとき 2 3 3 0 と入力
4	**宛先を指定する** 宛先を入力し、スタート を押す ⇨ 原稿が通信予約ファイルとしてメモリーに蓄積され、指定した時刻になると送信が開始される	☞宛先を指定する(p.33)

お知らせ

- タイマー送信を指示し、原稿を読み込んだあとも、宛先や通信予約時刻を変更できます。
  ☞通信予約ファイルを変更する(p.94)
- システム登録の[05 メモリー優先(送信/コピー)]が[オフ]に設定されている場合や、[F8 セレクトモード]の[9 メモリー優先]が[オフ]に設定されている場合は、手順４で スタート を押したあとに、次のメッセージが表示されます。



この状態で、別の原稿を送信したいときは、次の手順で操作してください。

1.セットされている原稿を取り除く
システム登録の[05 メモリー優先]を[オフ]に設定している場合は、[F8 セレクトモード]の[9 メモリー優先]を[オン]に設定してください。

2.送信したい原稿をセットし、宛先を指定して スタート を押す

3.送信が終了したら、手順１で取り除いた原稿を、もう一度セットしておく

- 通信予約ファイルは、50通信まで蓄積できます。

時刻を指定して通信する(つづき)

時刻を指定してポーリング受信をする[タイマーポーリング受信]

24時間後までの時刻を指定してポーリング受信できます。
設定した時刻になると自動的にポーリング受信が開始されます。
タイマーポーリング受信をする場合は、次の手順で操作します。

1	**タイマーポーリング受信のメニューを表示する** (セット) 1 2 (セット) **を押す** ⇨ ﾀｲﾏｰ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ ▌: が表示される	
2	**ポーリング受信時刻を設定する** **テンキーで時刻を入力し、**(セット)**を押す** ⇨ ﾀｲﾏｰ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=▌▌▌▌ が表示される	● 誤って入力した場合は クリアー(C) を押します。 ● 時刻は24時制(4桁)で入力します。 (例)午後 11:30 にポーリング受信したいとき 2 3 3 0 と入力
3	**ポーリングパスワードを設定する** **テンキーでポーリングパスワード（4桁）を入力し、** (セット)**を押す**	● 誤って入力した場合は クリアー(C) を押します。
4	**宛先を指定する** **宛先を入力し、**スタート**を押す** ⇨ ポーリング受信の指示が通信予約ファイルとしてメモリーに蓄積され、指定した時刻になるとポーリング受信が開始される	☞宛先を指定する(p.33)

お知らせ

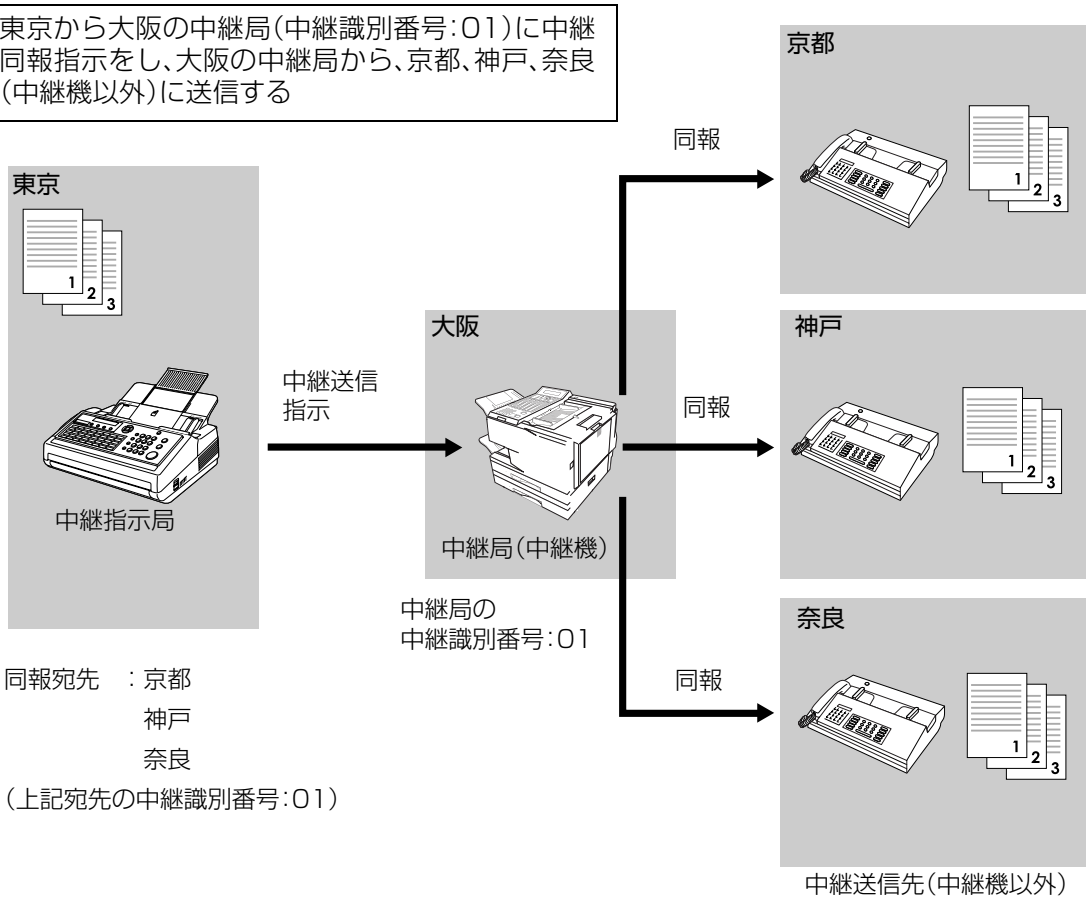
- ポーリング受信とは、送信側のメモリーに蓄積された原稿(または送信用にセットされた原稿)を、受信側から指示して送信させる機能です。手順3で機密保護のためのポーリングパスワードを設定できます。
  ☞受信側からの指示で原稿を送信させる[ポーリング通信](p.70)
- タイマーポーリング受信を指示したあとも、宛先や通信予約時刻を変更できます。
  ☞通信予約ファイルを変更する(p.94)
- 通信予約ファイルは、50通信まで蓄積できます。

中継局を利用する[中継同報指示]

中継同報とは、中継局(センター機能をもつファクス)を経由して同報送信をする機能です。
本機から中継局にファクス送信すると、中継局から複数の宛先へ同報送信されます。

- 1台のファクスからすべての宛先に同報送信する場合に比べ、通信にかかる時間が分散するため、機械の負担を軽減できます。
- 中継局から同報するときに市内通話料金を利用できるようにネットワークを組めば、ネットワーク全体の通信料金を削減できます。
- 本機には中継局としての機能はありません。中継同報をする場合は、本機を含む中継同報ネットワークを構成する必要があります。サービス実施会社へご相談ください。

(例) 東京から大阪の中継局(中継識別番号:01)に中継同報指示をし、大阪の中継局から、京都、神戸、奈良(中継機以外)に送信する



中継同報指示をする前に

中継同報指示をするには、あらかじめ次の項目を設定しておく必要があります。

No.	項目	内容
1	中継情報	[F7 登録モード]の[5 中継情報登録]で、中継情報を登録しておきます。 ☞中継情報(p.110)
2	システム登録	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに中継情報を登録するには、システム登録の[104 中継情報]が[あり]に設定されている必要があります。 お買い上げ時は[あり]に設定されています。 ☞システム登録一覧の[104 中継情報](p.121)
3	ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル プログラムダイヤル	①中継局の電話番号、中継情報を、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、またはプログラムダイヤルに登録します。 ②中継送信先の電話番号、中継情報を、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、またはプログラムダイヤルに登録します。 ☞ワンタッチダイヤル(p.99) ☞短縮ダイヤル(p.102) ☞プログラムダイヤルを登録する(p.107)

中継局を利用する[中継同報指示](つづき)

中継同報を指示する

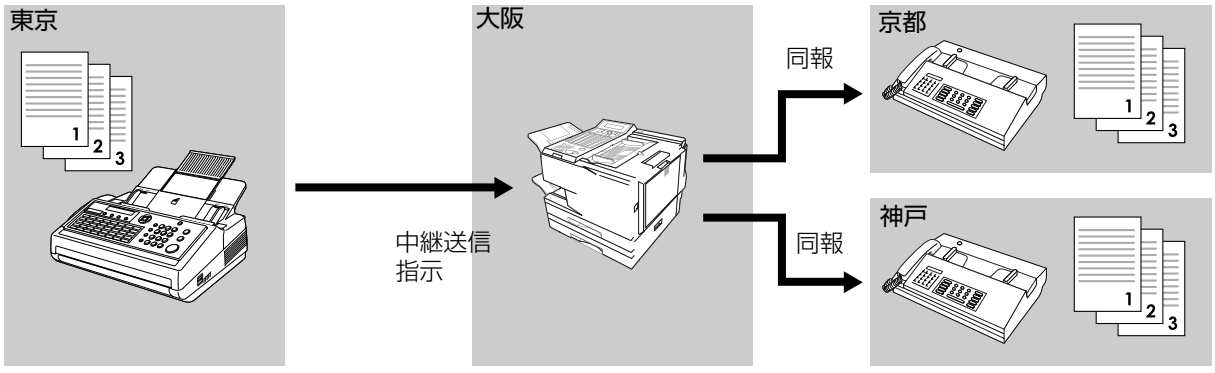
中継同報指示をする場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

- この機能は、相手機が限定されます。詳しくは、サービス実施会社にお問い合わせください。
- 中継同報指示は、中継情報が登録され、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに、中継局や中継送信先が登録されていないと利用できません。
  ☞中継情報(p.110)
  ☞中継局や中継送信先の登録(p.63)

1	**原稿をセットする** ● 送信する面を下に向け、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる	☞原稿をセットする(p.27)
2	**中継同報指示のメニューを表示する** セット 2 1 セット **を押す** ⇨ アテサキ ヲ イレテクダ サイ スタートヲ オシテクダ サイ が表示される	
3	**中継送信先を指定する** **中継送信先が登録されているワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを入力し、スタート を押す** (例) 京都、神戸が登録されているワンタッチボタンを押す ⇨ 原稿がメモリーに蓄積され、中継局を経由して中継送信先(京都、神戸)に送信される	☞ワンタッチダイヤル(p.99)
☞短縮ダイヤル(p.102)
● 複数の送信先を指定する場合は、宛先選択後に を押して次の宛先を入力します。
● 本機のワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録されている宛先の中から、中継機の機能を持ち、同じ中継識別番号の宛先が中継局として選択され、送信が開始されます。

(例) 東京から大阪の中継局(中継識別番号:01)に中継同報指示をし、大阪の中継局から、京都、神戸(中継機以外)に送信する



同報宛先 :京都
神戸
(上記宛先の中継識別番号:01)

中継局の
中継識別番号:01

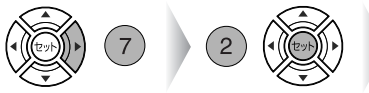
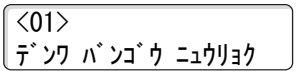
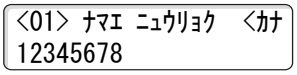
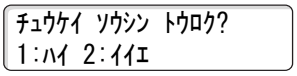
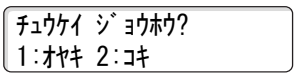
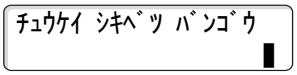
中継局や中継送信先の登録

中継局や中継送信先をワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、プログラムダイヤル(ワンタッチダイヤル)に登録する場合は、次の手順で操作します。

ここでは、ワンタッチダイヤルに、中継局や中継送信先を登録する手順を例に説明します。

お願い

- 中継局や中継送信先は、システム登録の[104 中継情報]が[あり]に設定されている場合に登録できます。
- 必ず中継局と中継送信先の両方を登録してください。

1	**ワンタッチダイヤル登録のメニューを表示する**  7 ▶ 2 ▶ 1 を押す	
2	**登録したいワンタッチボタンを押す** (例) ワンタッチ01の場合 を押す ⇨  が表示される	
3	**中継局または中継送信先の電話番号を入力する** テンキーで電話番号を入力し、 を押す ⇨  が表示される	● 誤って入力した場合は クリアー を押します。 ● 36桁まで入力できます。
4	**宛先名を入力する** 宛先名を入力し、 を押す ⇨  が表示される	● 15文字まで入力できます。 ● 文字入力について ☞文字入力のしかた(p.111)
5	**中継送信登録を設定する** テンキーで 1 を入力する ⇨  が表示される	
6	**中継局、中継送信先を設定する** 次のどちらかをテンキーで入力する 1: 親機 (中継局として登録する場合) 2: 子機 (中継送信先として登録する場合) ⇨  が表示される	

次ページへ続く▶▶▶

中継局を利用する[中継同報指示]（つづき）

7 中継識別番号を入力する

中継識別番号（2 桁）をテンキーで入力し、

を押す

親機の場合
登録はこれで終了です。

子機の場合

⇨ ﾀﾞｲﾔﾙ ﾎｳﾎｳ?
1:ﾀﾝﾀﾞ 2:ﾅｲｾﾝ 3:ﾁｮｸﾀﾞ が表示される

8 （手順 6 で子機を選択した場合）中継同報指示をするときのダイヤル方法を入力する

次のいずれかをテンキーで入力し、

を押す

1: 短縮ダイヤル
2: 内線番号
3: 直接ダイヤル

1: 短縮ダイヤルの場合

⇨ ﾀﾝﾀﾞ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾄｳﾛｸ
(7ｹﾀ) が表示される

2: 内線番号の場合

⇨ ﾅｲｾﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾄｳﾛｸ
(7ｹﾀ) が表示される

3: 直接ダイヤルの場合
登録はこれで終了です。

- 短縮ダイヤルと内線番号は、中継局に登録されている番号です。
- 直接ダイヤルの場合は、手順３で入力した番号が使用されます。

9 （手順 6 で子機を選択した場合）番号を入力する

手順 8 で短縮ダイヤルを選択した場合は短縮番号を、内線番号を選択した場合は内線番号をテンキーで入力し、

を押す

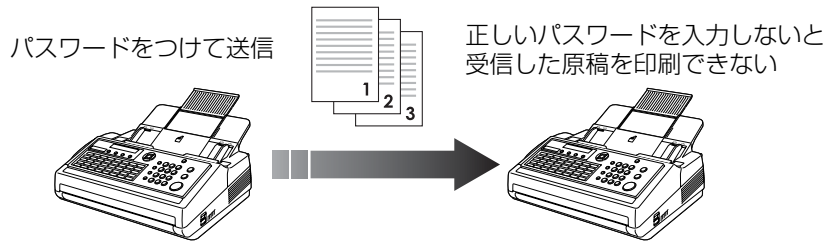
⇨ ﾜﾝﾀｯﾁ< >
ﾜﾝﾀｯﾁ ﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ が表示される

- 続けて別のワンタッチダイヤルを登録する場合は、手順２～９を繰り返します。
- ワンタッチダイヤルの登録を終了する場合は、ストップ を押します。

親展ボックスを利用する[親展通信]

親展通信とは、親展ボックス機能を利用し、親展番号(パスワード)をつけて原稿を送受信したり、ポーリング送受信をする機能のことです。機密性の高い文書の送受信や、特定の相手との送受信に便利です。

受信側は、パスワードを入力しない限りポーリング受信や、受信した原稿を印刷できないため、第三者への情報漏洩に配慮した通信ができます。



お知らせ

- この機能は、相手機が限定されます。詳しくは、サービス実施会社にお問い合わせください。
- 親展ボックスは10個まで使用できます。
- システム登録の[42 親展ファイル保存]を[あり]に設定すると、ポーリング送信後も親展文書を親展ボックスに保存できます。同じ原稿を連続してポーリング送信したい場合は、設定を変更してください。
  ☞システム登録一覧の[42 親展ファイル保存](p.118)

親展文書を送信する

1	**原稿をセットする** ● 送信する面を下に向け、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる	☞原稿をセットする(p.27)
2	**親展送信のメニューを表示する** セット 2 → 2 セット → 1 セット を押す ⇨ シンテン ソウシン シンテン バンゴウ=▮▮▮▮ が表示される	
3	**親展番号を入力する** テンキーで親展番号（4桁）を入力し、セット を押す ⇨ アテサキ ヲ イレテクダサイ スタートヲ オシテクダサイ が表示される	
4	**宛先を指定する** 宛先を入力し、スタート を押す ⇨ 原稿がメモリーに蓄積され、相手機の親展ボックスに送信される	● 必要に応じ、受信側に親展番号を知らせてください。 ☞宛先を指定する(p.33)

親展ボックスを利用する[親展通信]（つづき）

親展文書をポーリング受信する

親展文書をポーリング受信する場合は、次の手順で操作します。

1	**親展ポーリング受信のメニューを表示する** 2 → 2 → 2 **を押す** ⇨ ｼﾝﾃﾝ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞｼﾞｭｼﾝ ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ=▮▮▮▮ が表示される	
2	**親展番号を入力する** **テンキーで親展番号（4 桁）を入力し、** **を押す** ⇨ ｱﾃｻｷ ヲ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ ｽﾀｰﾄヲ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ が表示される	
3	**宛先を指定する** **宛先を入力し、**（スタート） **を押す** ⇨ ポーリング受信が開始され、親展受信文書がメモリーに蓄積される	☞宛先を指定する（p.33）

親展文書を受信すると

親展受信文書は、メモリー内の親展ボックスに蓄積されます。
このとき、ディスプレイにはメッセージが表示され、親展受付レポートが印刷されます。

お知らせ

- 同じ親展番号をもつ文書を受信した場合は、同じ親展ボックスに保存されます。
- 最大10個の親展ボックスを使用できます。
  (特に親展ボックスを登録する必要はありません。親展番号のリストはありませんので、控えておいてください。)
- メモリーが一杯の場合は、親展受信できません。

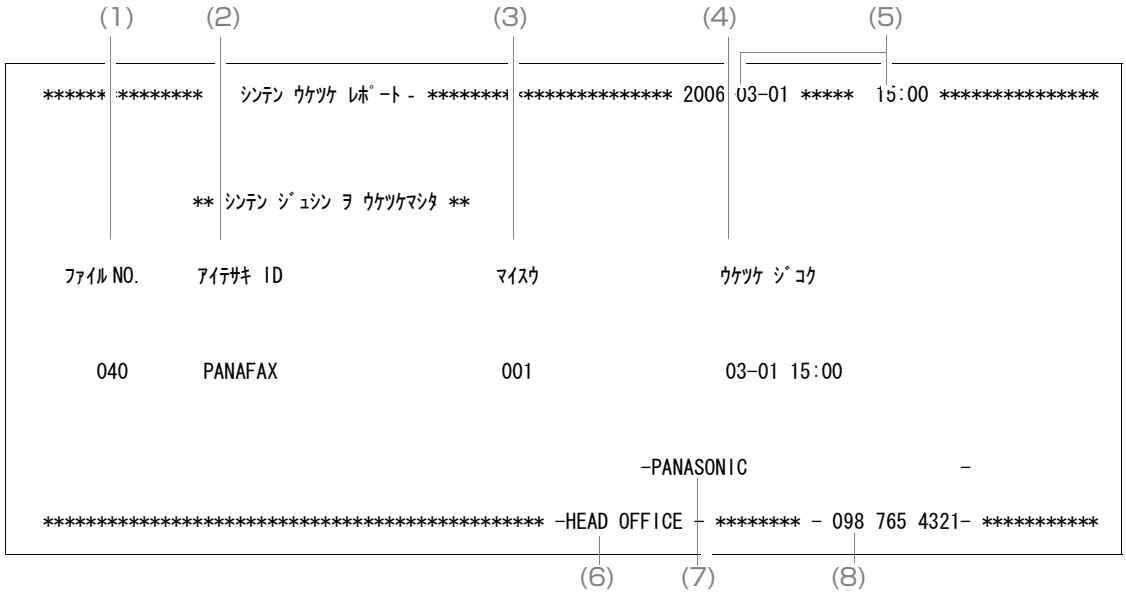
ディスプレイに表示されるメッセージ

親展受信文書がメモリーに蓄積されている場合、親展ファイル蓄積のメッセージと待機状態が、交互に表示されます。

親展受付レポート

親展受付レポートには、次の項目が記載されます。

【レポート例】



No.	項目名	説明
(1)	ファイルNo.	通信を受け付けたときに自動的に付く番号です(001～999)。
(2)	相手先ID	相手の文字ID、または数字IDです。
(3)	枚数	受信をした枚数です。
(4)	受付時刻	親展文書を受信した時刻です。
(5)	日付、時刻	レポートを印刷した日付と時刻です。
(6)	文字ID	文字IDとして登録した会社名や自分の名前です(16文字まで)。
(7)	発信元	発信元として登録した会社名や自分の名前です(25文字まで)。
(8)	数字ID	数字IDとして登録したファクスの電話番号です(20桁まで)。

親展ボックスを利用する[親展通信]（つづき）

親展文書を蓄積する

ポーリング送信用に親展文書を蓄積する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

- システム登録の[42 親展ファイル保存]を[あり]に設定すると、ポーリング送信後親展文書を親展ボックスに保存できます。
  ☞システム登録一覧の[42 親展ファイル保存]（p.118）

1	**原稿をセットする** ● 送信する面を下に向け、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる	☞原稿をセットする（p.27）
2	**親展蓄積のメニューを表示する** セット 2 → 2 セット → 3 セット を押す ⇨ シﾝﾃﾝ ﾁｸｾｷ シﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ=▮▮▮▮ が表示される	
3	**親展番号を入力する** テンキーで親展番号（4桁）を入力し、セット を押す ⇨ *ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*　NO.002 ﾏｲｽｳ=001　01% が表示される	● 必要に応じて、受信側に親展番号を知らせます。 ● すでに親展文書が蓄積されている親展番号を指定した場合は、読み込んだ原稿が蓄積済みの文書にページ追加されます。

親展文書の印刷

受信した親展文書や、蓄積したポーリング送信用の親展文書を印刷する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

- 親展文書を印刷すると、親展文書は親展ボックスから消去されます。システム登録の[42 親展ファイル保存]が[あり]に設定されている場合も消去されます。
  （[42 親展ファイル保存]は、ポーリング送信したあとに親展文書を保存するかどうかを設定するための項目です。）

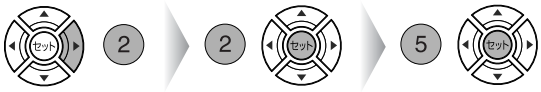
1	**親展プリントのメニューを表示する** セット 2 → 2 セット → 4 セット を押す ⇨ ｼﾝﾃﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ=▮▮▮▮ が表示される	
2	**親展番号を入力する** テンキーで親展番号（4桁）を入力し、セット を押す ⇨ * ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ * ﾍﾟｰｼﾞ=001/001 が表示される	

親展文書の消去

ポーリング送信用に蓄積した親展文書を消去したい場合は、次の手順で操作します。
同じ操作で受信した親展文書を消去することもできますが、親展文書は印刷して消去することをお勧めします。
☞親展文書の印刷(p.68)
消去方法には、親展番号を使う方法、一括して消去する方法があります。

■親展番号を使って消去する

1 親展消去のメニューを表示する



を押す

⇨
```
ｼﾝﾃﾝ ｼｮｳｷｮ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ=▮▮▮▮
```
が表示される

2 親展番号を入力する

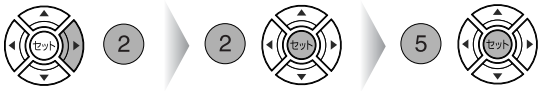
テンキーで親展番号（4 桁）を入力し、

を押す

⇨
```
* ｼｮｳｷｮ ｼﾃｲﾏｽ *
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ=2233
```
が表示される

■一括して消去する

1 親展消去のメニューを表示する



を押す

⇨
```
ｼﾝﾃﾝ ｼｮｳｷｮ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ=▮▮▮▮
```
が表示される

2 一括消去を指示する

何も入力せずに

を押す

⇨
```
ｽﾍﾞﾃ ﾉ ｼﾝﾃﾝ ｦ ｼｮｳｷｮ
ｼﾏｽｶ ? 1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```
が表示される

3 消去する

テンキーで(1)を入力する

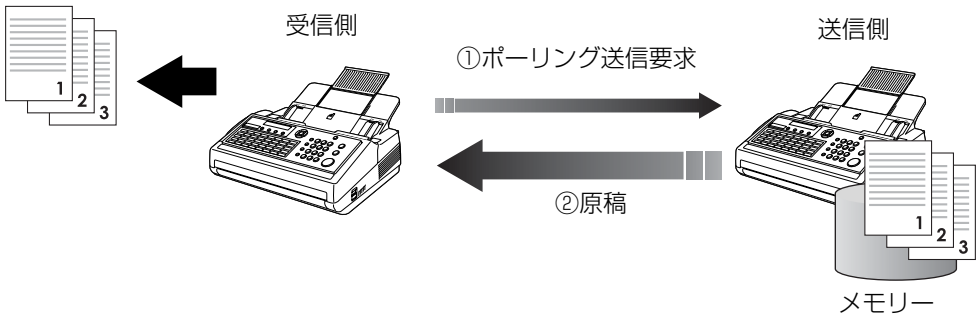
⇨
```
* ｼｮｳｷｮ ｼﾃｲﾏｽ *
  ｽﾍﾞﾃ ﾉ ｼﾝﾃﾝ
```
が表示される

- 一括消去を中止する場合は、テンキーで(2)を入力します。

受信側からの指示で原稿を送信させる[ポーリング通信]

ポーリング受信とは、送信側のメモリーに蓄積された原稿（または送信用にセットされた原稿）を、受信側から指示して送信させる機能です。

- 機密保護のために、パスワードを設定できます。
- 通信料金はポーリング受信側の負担となります。



お知らせ

- 相手機にポーリング送信機能がない場合、ポーリング受信はできません。
- 時刻を指定してポーリング受信をすることもできます。
  ☞時刻を指定してポーリング受信をする[タイマーポーリング受信]（p.60）
- パスワードを使ったポーリング通信は、相手機が当社の機種に限定されます。詳しくは、サービス実施会社にお問い合わせください。
- 次のような場合は、パスワードを使わないポーリング通信ができます。
  ·相手機が当社以外の機種の場合
  ·送信側にパスワードが設定されていない場合

ポーリング用のパスワードを設定する

機密保護のためにポーリング用の パスワードを設定する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

- 送信側にパスワードが設定されていない場合は、ポーリング受信側にパスワードが設定されていてもパスワードなしでポーリング受信ができます。
- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

1 ポーリングパスワードのメニューを表示する

セット 7 → 4 セット → 2 6 セット を押す

⇨ 26 ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ■■■■ が表示される

2 パスワードを入力する

テンキーでパスワード（4 桁）を入力し、セット を押す

- セット を押すと、システム登録のひとつ後の項目が表示されます。

3 システム登録を終了する

ストップ を押す

ポーリング送信原稿を蓄積する[ポーリング送信]

ポーリング送信とは、メモリーに蓄積した原稿を、ポーリング受信側の指示により送信する機能です。

ポーリング送信用に蓄積した原稿は、受信側からポーリング送信要求がくると、自動的に送信されます。

- 機密保護のために、パスワードを設定できます。
- 通信料金はポーリング受信側の負担となります。

お知らせ

- ポーリング送信用に蓄積できる文書は１文書だけです。
- ポーリング送信用に原稿が蓄積されていても、通常どおり送受信できます。
- ポーリング送信用に蓄積した原稿を消去したい場合は、通信予約ファイルを消去してください。
  ☞通信予約ファイルを消去する(p.95)
- 蓄積したポーリング送信文書に原稿を追加したい場合は、通信予約ファイルに原稿を追加してください。
  ☞通信予約ファイルに原稿を追加する(p.97)

ポーリング送信原稿を蓄積する場合は、次の手順で操作します。

1	**原稿をセットする** ● 送信する面を下に向け、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる	☞原稿をセットする(p.27)
2	**ポーリング送信のメニューを表示する** 3 → 2 **を押す** ⇨ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｿｳｼﾝ ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=1234 が表示される	● システム登録の[26 ポーリングパスワード]が設定されている場合は、パスワードが表示されます。別のパスワードを入力する場合は、手順３で上書きしてください。
3	**パスワードを入力する** **テンキーでパスワード(4桁)を入力し、** **を押す** ⇨ ﾒﾓﾘｾｷ ｼﾃｲﾏｽ* NO.015 ﾏｲｽｳ=001 01% が表示される	● 登録されているパスワードを©(クリアー)で削除してから を押すと、パスワードなしで蓄積できます。 ● パスワードを入力しない場合は、そのまま を押します。

■同じ原稿を何度も送るには

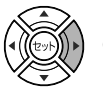
ポーリング送信が終了すると、蓄積したポーリング送信原稿は、自動的に消去されます。

同じ原稿を、繰り返しポーリング送信したい場合は、システム登録の[27 ポーリングファイル保存]を[あり]に設定してください。

☞システム登録一覧の[27 ポーリング ファイル保存](p.117)

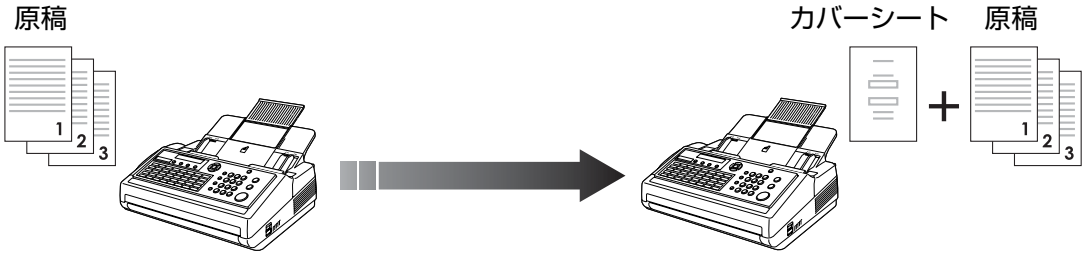
受信側からの指示で原稿を送信させる[ポーリング通信](つづき)

ポーリング受信をする

1	**ポーリング受信のメニューを表示する**  3 ▶ 1 を押す ⇨ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=1234 が表示される	● システム登録の[26 ポーリングパスワード]が設定されている場合は、パスワードが表示されます。 別のパスワードを入力する場合は、手順2で上書きしてください。
2	**ポーリングパスワードを入力する** テンキーでポーリングパスワード（4桁）を入力し、 を押す ⇨ ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ が表示される	
3	**送信側の宛先を指定する** 送信側の宛先を入力し、 を押す ⇨ ポーリング受信が開始され、受信文書が印刷される	☞宛先を指定する(p.33)

表紙をつけて送信する[カバーシート]

宛先名、送信元の名前、ページ数が記載された表紙(カバーシート)を、原稿の先頭に添付して送信できます。
ここでは、通信ごとにカバーシートを設定する手順を説明します。



お知らせ

- システム登録でカバーシートの初期設定(オン/ オフ)を変更できます。
  どちらに設定していても、ここで説明する操作で通信ごとに設定を変更できます。
  お買い上げ時は[オフ]に設定されています。
  ☞システム登録一覧の[56 カバーシート](p.120)
- カバーシートは、通信管理レポートなどのページ数にはカウントされません。
- カバーシートは、次の送信で使用できます。
  ·メモリー送信　·ダイレクト送信　·手動送信　·タイマー送信　·F コード(サブアドレス)送信
  ·順次同報送信

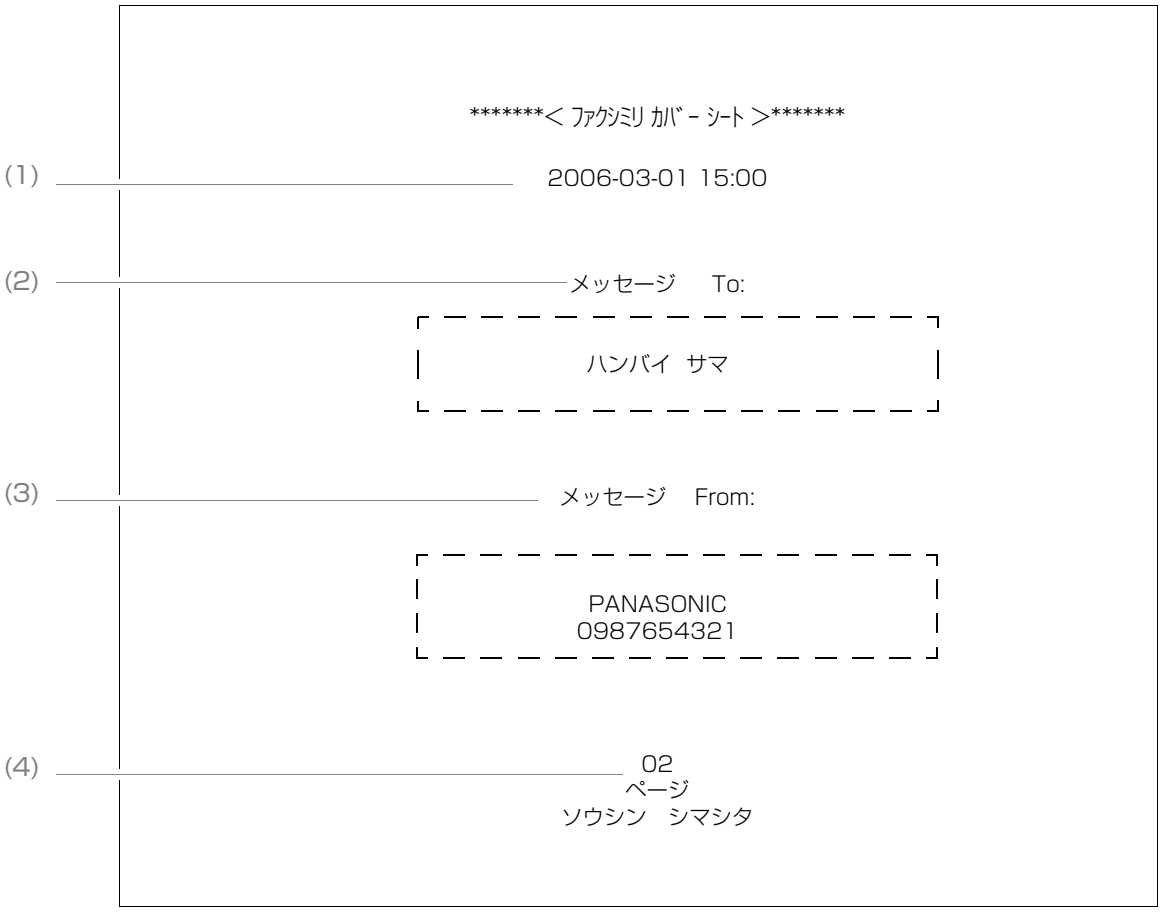
■カバーシートの設定

カバーシートを原稿に添付して送信する場合は、次の手順で操作します。

1	**原稿をセットする** ● 送信する面を下に向け、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる	☞原稿をセットする(p.27)
2	**カバーシートのメニューを表示する** セット 8 → 3 セット を押す ⇨ カﾊﾞｰ ｼｰﾄ=ｵﾌ 1:ｵﾌ 2:ｵﾝ が表示される	
3	**カバーシートを設定する** テンキーで 2 を入力し、セット を押す ⇨ ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 00% が表示される	
4	**宛先を指定する** 宛先を入力し、スタート を押す ⇨ カバーシートが添付された送信文書がメモリーに蓄積され、送信が開始される	☞宛先を指定する(p.33)

表紙をつけて送信する[カバーシート](つづき)

■カバーシート例



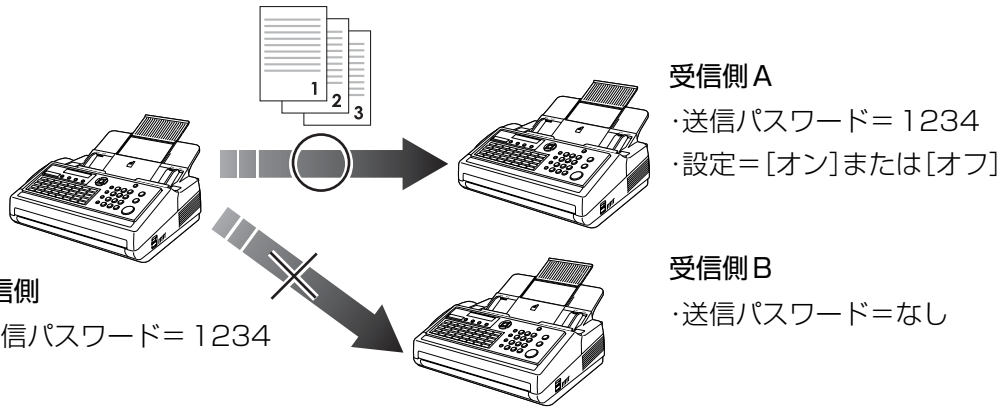
No.	項目名	説明
(1)	送信開始時刻	送信を開始した時刻です。
(2)	宛先名	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている宛先名です。 直接ダイヤルの場合は、電話番号が表示されます。 お知らせ ● システム登録の[134 宛先名敬称付加]が[あり]に設定されている場合は、末尾に「サマ」が付きます。 お買い上げ時は、[あり]に設定されています。
(3)	発信元情報	発信元(最大25文字)と、数字ID(最大20桁)です。
(4)	ページ数	表紙を含まないページ数です。 ダイレクト送信の場合は記載されません。

パスワードを使って送受信する

パスワード送信とは

- 送信時に、お互いの送信パスワードを照合し、一致する場合だけ通信が開始されます。パスワードが異なる場合は、通信エラーとなります。
- パスワード送信を設定すると、ほかの相手への誤送信を防止できます。

○:送信できます。
×:送信できません。



お知らせ

- この機能は、相手機が限定されます。詳しくは、サービス実施会社にお問い合わせください。

パスワード送信は、システム登録の[43 パスワード送信]の設定により、次表のように動作します。
☞パスワード送信の設定(p.77)

設定	説明
送信パスワード　登録なし	パスワード送信の機能は、はたらきません。
送信パスワードを登録し、パスワード送信を[オフ]に設定	[F8 セレクトモード]の[4 パスワード送信]を[オン]に設定した場合に、パスワード送信の機能がはたらきます。 送信側と受信側の送信パスワードが一致した場合にだけ送信できます。 ☞通信ごとにパスワード送信を設定する(p.79) 送信側、受信側ともに送信パスワードの登録が必要です。 [F8 セレクトモード]の[4 パスワード送信]を[オフ]に設定した場合には、パスワード送信の機能がはたらかないため、受信側の送信パスワードの登録は必要ありません。
送信パスワードを登録し、パスワード送信を[オン]に設定	[F8 セレクトモード]の[4 パスワード送信]の設定をしなくても、パスワード送信の機能がはたらきます。 送信側と受信側の送信パスワードが一致した場合にだけ送信できます。 送信側、受信側ともに送信パスワードの登録が必要です。

パスワードを使って送受信する(つづき)

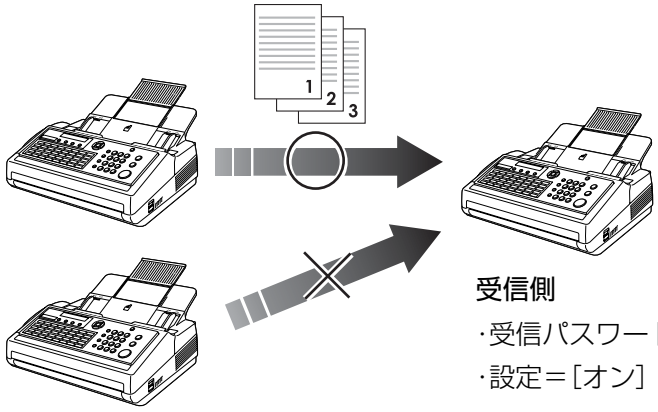
パスワード受信とは

- 受信時に、お互いの受信パスワードを照合し、一致する場合だけ通信が開始されます。
  パスワードが異なる場合は、通信エラーとなります。
- パスワード受信を設定すると、受信パスワードが一致しない相手からの受信を拒否できます。

○:受信できます。
×:受信を拒否します。

送信側A
·受信パスワード= 1234
·設定=[オン]または[オフ]

送信側B
·受信パスワード=なし



受信側
·受信パスワード= 1234
·設定=[オン]

お知らせ

- この機能は、相手機が限定されます。詳しくは、サービス実施会社にお問い合わせください。

パスワード受信は、システム登録の[44 パスワード受信]の設定により、次表のように動作します。
☞パスワード受信の設定(p.78)

設定	説明
受信パスワード　登録なし	パスワード受信の機能は、はたらきません。
受信パスワードを登録し、パスワード受信を[オフ]に設定	送信側が本機と異なる受信パスワードを設定していると、パスワード受信の機能が働かず通常の受信となります。
受信パスワードを登録し、パスワード受信を[オン]に設定	常にパスワード受信の機能がはたらきます。 送信側と受信側の受信パスワードが一致したときにだけ受信できます。 送信側、受信側ともに受信パスワードの登録が必要です。

パスワード送信の設定

システム登録で送信パスワードと、パスワード送信のオン/オフを設定する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

- システム登録の[43 パスワード送信]でパスワードを設定した場合、[F8 セレクトモード]の[4 パスワード送信]で通信ごとにパスワード送信を設定できます。
  ☞通信ごとにパスワード送信を設定する(p.79)
- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

1 パスワード送信のメニューを表示する

セット 7 → 4 セット → 4 3 セット を押す

⇨ 43 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ
▮▮▮▮ が表示される

2 送信パスワードを入力する

テンキーで送信パスワード（4 桁）を入力し、セット を押す

⇨ 43 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ
1:ｵﾌ 1234 が表示される

- 設定されているパスワードは、システム登録リストにも印刷されます。
  ☞システム登録リストの印刷(p.126)
- すでに送信パスワードが登録されている場合
  - 変更するとき
    クリアー を押し、新しい送信パスワードを入力してセットを押す
  - 消去するとき
    クリアー を押してからセットを押す

3 パスワード送信のオン / オフを入力する

テンキーで次のどちらかを入力し、セット を押す

1: オフ （送信パスワードは照合されません。）
2: オン （送信パスワードが照合されます。）

- セット を押すと、システム登録のひとつ後の項目が表示されます。

4 システム登録を終了する

ストップ を押す

- 手順３でパスワード送信を[オン]に設定した場合は、ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

2006-03-01 15:00
< ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ >

パスワードを使って送受信する(つづき)

パスワード受信の設定

システム登録で受信パスワードと、パスワード受信のオン/オフを設定する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

- 通信ごとにパスワード受信を設定することはできません。
- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

1 パスワード受信のメニューを表示する

セット 7 → 4 セット → 4 4 セット を押す

⇨ 44 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｼﾞｭｼﾝ ▮▮▮▮ が表示される

2 受信パスワードを入力する

テンキーで受信パスワード（4桁）を入力し、セット を押す

⇨ 44 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｼﾞｭｼﾝ
1:ｵﾌ 1234 が表示される

- 設定されているパスワードは、システム登録リストにも印刷されます。
  ☞ システム登録リストの印刷 (p.126)
- すでに受信パスワードが登録されている場合
  - 変更するとき
    クリアー を押し、新しい受信パスワードを入力してセットを押す
  - 消去するとき
    クリアー を押してからセットを押す

3 パスワード受信の設定を入力する

テンキーで次のどちらかを入力し、セット を押す

1: オフ （受信パスワードは照合されません）
2: オン （受信パスワードが照合されます）

- セットを押すと、システム登録のひとつ後の項目が表示されます。

4 システム登録を終了する

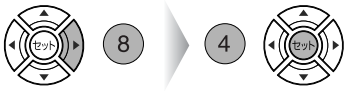
ストップ を押す

通信ごとにパスワード送信を設定する

システム登録の[43 パスワード送信]でパスワードを設定した場合、通信のたびに、パスワード送信をするかどうかを設定できます。

お知らせ

- [オン]に設定した場合、通信時に照合される送信パスワードは、システム登録の[43 パスワード送信]で設定されている送信パスワードです。
- パスワード送信の動作について
  ☞パスワード送信とは(p.75)
- システム登録の設定について
  ☞パスワード送信の設定(p.77)

1	**原稿をセットする** ● 送信する面を下に向け、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる	☞原稿をセットする(p.27)
2	**パスワード送信のメニューを表示する**  8 → 4 → セット を押す ⇨ パ゛スワード゛ ソウシン=オフ 1:オフ 2:オン が表示される	
3	**パスワード送信を設定する** 次のどちらかをテンキーで入力し、セット を押す 1: オフ （送信パスワードは照合されません） 2: オン （送信パスワードが照合されます） ⇨ アテサキ ヲ イレテクダ゛サイ スタートヲ オシテクダ゛サイ 00% が表示される	● パスワード送信の動作について ☞パスワード送信とは(p.75)
4	**宛先を指定する** 宛先を入力し、スタート を押す ⇨ 送信文書がメモリーに蓄積され、パスワード送信が開始される	☞宛先を指定する(p.33)

メモリーに蓄積して送信する[メモリー優先]

メモリー優先とは、読み込んだ原稿をメモリーに蓄積してから送信する機能です。
原稿の送信が終了するまで待つことなく、読み込んだ原稿を持ち帰ることができます。この機能を、「メモリー送信」とも呼びます。

ここでは、通信ごとにメモリー優先を設定する手順を説明します。

お願い

- メモリー優先を[オフ]にした場合、複数の宛先は指定できません。複数の宛先を指定したい場合は、メモリー優先を[オン]にしてください。

お知らせ

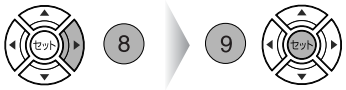
- 通信予約ファイルが蓄積されている状態で緊急の原稿を送信したいときは、メモリー優先を[オフ]に設定すると、他の通信予約ファイルよりも先に送信できます。この機能を、「ダイレクト送信」と呼びます。
  このとき、原稿はメモリーに蓄積されず、原稿を読み取りながら送信されます。
- システム登録でメモリー優先の初期設定(オン/オフ)を変更できます。
  どちらに設定していても、ここで説明する操作で通信ごとに設定を変更できます。
  お買い上げ時は[オン]に設定されています。
  ☞システム登録一覧の[05 メモリー優先(送信/コピー)](p.115)

1 原稿をセットする

- 送信する面を下に向け、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

☞原稿をセットする(p.27)

2 メモリー優先のメニューを表示する



を押す

⇨ メﾓﾘｰﾕｳｾﾝ=ｵﾝ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ が表示される

3 メモリー優先を設定する

次のどちらかをテンキーで入力し、

を押す

1: オフ （ダイレクト送信されます。）
2: オン （メモリー送信されます。）

[オフ] に設定した場合

⇨ ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
00% が表示される

[オン] に設定した場合

⇨ ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵﾝﾃｸﾀﾞｻｲ 00% が表示される

4 宛先を指定する

宛先を入力し、

を押す

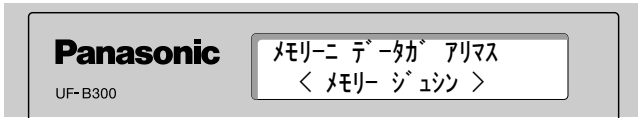
- 手順３で[オフ]に設定した場合は、原稿を読み取りながら送信される
- 手順３で[オン]に設定した場合は、送信文書がメモリーに蓄積されてから送信が開始される

☞宛先を指定する(p.33)

メモリーに受信する[メモリー受信]

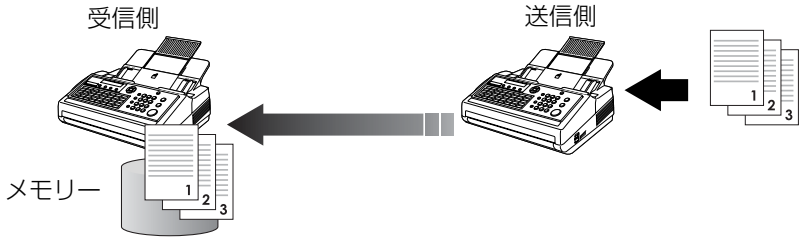
メモリー受信とは、受信文書をすべてメモリーに蓄積する機能です。印刷された受信文書を置いたままにしたくない場合や、受信した原稿を一括して印刷したい場合に便利です。

- 受信文書がメモリーに蓄積されている場合は、ディスプレイに次のメッセージが表示されます。



- 印刷が終了すると、受信文書はメモリーから削除されます。

ここでは、メモリー受信のパスワードを設定する操作、メモリー受信を設定する操作、メモリー受信した文書を印刷する操作を説明します。



お知らせ

- メモリーが一杯になると、受信が中止され、通信は停止します。それ以前にメモリーに蓄積された原稿は通常どおり印刷できます。
- メモリーが一杯の場合は受信できません。
- メモリー容量4MB、A4サイズ700字程度の原稿で240枚分※の保存が可能です。
  ※メモリー枚数はA4サイズ700字程度の原稿を標準画質(8 x 3.85本/mm)でメモリーしたときの枚数です

パスワードを設定する

メモリー受信した文書を印刷するときにパスワードを入力するように設定したい場合は、次の手順で設定します。

お知らせ

- メモリー受信のパスワードを設定する場合は、[F8 セレクトモード]の[5 メモリー受信]を[オフ]に設定しておいてください。[オン]の場合は、パスワードを設定できません。
- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

1 システム登録のメニューを表示する

セット 7 → 4 セット → 3 7 セット を押す

⇨ 37 ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ ▮▮▮▮ が表示される

2 メモリー受信のパスワードを入力する

テンキーでパスワード（4桁）を入力し、セット を押す

3 システム登録を終了する

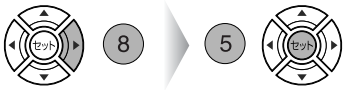
ストップ を押す

- すでにパスワードが登録されている場合
  - 変更するとき
    クリアー を押し、新しいパスワードを入力してセット を押す
  - 消去するとき
    クリアー を押してからセット を押す
- セット を押すと、システム登録のひとつ後の項目が表示されます。

メモリーに受信する[メモリー受信](つづき)

メモリー受信の設定

1 メモリー受信のメニューを表示する



を押す

⇨ メﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ=ｵﾌ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ 3:ﾌﾟﾘﾝﾄ が表示される

2 メモリー受信を設定する

テンキーで 2 を入力し、

を押す

⇨ 2006-03-01 15:00
〈 ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ 〉 が表示される

お知らせ

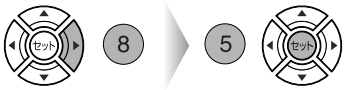
- メモリー受信の設定を解除する場合は、手順２で 1 を入力します。メモリー受信のパスワードが設定されているときは、パスワード入力の画面が表示されますので、パスワードを入力し、

を押してください。

メモリー受信文書の印刷

受信文書がメモリーに蓄積されている場合は、ディスプレイに、「メモリーにデータがあります」というメッセージが表示されます。メモリー受信した文書を印刷する場合は、次の手順で操作します。

1 メモリー受信のメニューを表示する



を押す

⇨ メﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ=ｵﾝ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ 3:ﾌﾟﾘﾝﾄ が表示される

2 メモリー受信文書の印刷を設定する

テンキーで 3 を入力し、

を押す

⇨ 受信文書の印刷が開始される

⇨ ＊ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ ＊
ﾒﾓﾘｰ ﾌｧｲﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ が表示される

- 受信文書の印刷にパスワードを設定している場合は、

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ﾆｭｳﾘｮｸ
■■■■ が表示されます。
テンキーでメモリー受信のパスワード(4桁)を入力し、

を押してください。

外部電話機から受信に切り替える[リモート受信]

リモート受信とは、接続している外部電話機から受信に切り替える機能のことです。外部電話機で送信側と電話したあと、受信に切り替えることができます。☞外部電話機(p.13)

この機能は、システム登録を次のように設定している場合に使えます。必要に応じて設定を変更してください。

- [47 リモート受信] .....[あり]
- [17 受信モード] .....[手動]または[FAX/TEL切り替え]
- [21 着信ベル回数] .....[17 受信モード]が[FAX/TEL 切り替え]の場合、着信してから受話器を上げることができる程度に、着信ベル回数を多めに設定

お知らせ

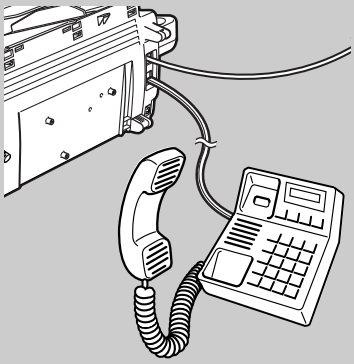
- お買い上げ時、システム登録は次のように設定されています。
  ·[47 リモート受信] [あり]
  ·[17 受信モード] [FAX専用]
  ·[21 着信ベル回数] [1回]
  ☞システム登録一覧の[47 リモート受信](p.119)
  ☞システム登録一覧の[17 受信モード](p.116)
  ☞システム登録一覧の[21 着信ベル回数](p.117)

■リモート受信の操作

接続している外部電話機からファクス受信に切り替える場合は、次の手順で操作します。

お願い

- 自分から電話をかけた場合は、リモート受信できません。

1	**呼び出し音が鳴ったら、外部電話機の受話器を上げる**	 ● 「ポー、ポー･･･」という音が聞こえたら、相手はファクスです。 (無音の場合もあります。)
2	**受信に切り替える** ● 外部電話機がプッシュ式の場合 **プッシュボタンで、「＊」「＊」と押す (2秒以内に押す)** ● 外部電話機がダイヤル式の場合 **「9」「9」とダイヤルする (5秒以内にダイヤルする)**	
3	**受話器を戻す** ⇨ 受信が開始される	

迷惑ファクスを防止する[セレクト受信]

セレクト受信とは、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録されている宛先からだけ受信する機能のことです。ダイレクトメールや、迷惑ファクスを受信したくない場合に設定します。

- ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録されている電話番号の下４桁と、送信元の数字IDの下４桁を照合し、一致したときだけ受信を開始します。
- 数字IDとは、ファクスの電話番号のことです。本機の場合、[F7 登録モード]の[1 自局登録]の[数字ID]で登録します。
- セレクト受信は、システム登録の[46 セレクト受信]が[あり]に設定されている場合に機能します。
  お買い上げ時は、[なし]に設定されています。

お知らせ

- セレクト受信機能を使う場合、送信元となる宛先は、すべてワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録しておいてください。
  ☞ワンタッチダイヤル(p.99)
  ☞短縮ダイヤル(p.102)
  ☞プログラムボタンにワンタッチダイヤルを登録する(p.108)
- 送信元に対し、数字IDに電話番号(ファクスの電話番号)を必ず設定するよう依頼してください。
  電話番号以外が設定されている、数字IDが登録されていないなどの場合は、セレクト受信できません。
- 本機からファクスを送信する場合、受信側がセレクト受信を設定している場合があります。このため、数字IDは必ず登録しておいてください。

セレクト受信をするときは、次の手順で操作します。

お知らせ

- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

1	**システム登録のメニューを表示する** セット 7 → 4 セット → 4 6 セット を押す ⇨ 46 ｾﾚｸﾄ ｼﾞｭｼﾝ 1:ﾅｼ が表示される	
2	**セレクト受信を設定する** テンキーで 2 を入力し、セット を押す	● ◎を押すと、システム登録のひとつ後の項目が表示されます。
3	**システム登録を終了する** ストップ を押す	

利用者を制限する[アクセスコード]

アクセスコードとは、本機を操作するためのアクセスコード(パスワード)を設定し、第三者の使用を制限する機能です。

送信やコピーなど、すべての操作にアクセスコードを設定することも、システム登録と自局情報の登録にだけアクセスコードを設定することもできます。

お知らせ

- アクセスコードは、システム登録の[38 アクセスコード]を設定した場合に機能します。お買い上げ時は、アクセスコードは設定されていません。
- アクセスコードを忘れてしまうと、本機がご利用できなくなります。アクセスコードは厳重に管理してください。万一、忘れてしまった場合にはサービス実施会社にお問い合せください。

アクセスコードの設定

お知らせ

- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

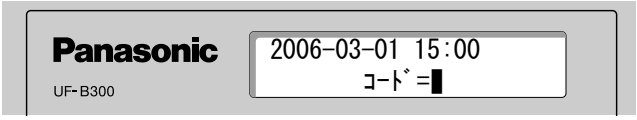
1	**システム登録のメニューを表示する** セット 7 → 4 セット → 3 8 セット を押す ⇨ 38 ｱｸｾｽ ｺｰﾄﾞ ▮▮▮▮ が表示される	
2	**アクセスコードを設定する** アクセスコード（4 桁）をテンキーで入力し、セット を押す ⇨ 38 ｱｸｾｽ ｺｰﾄﾞ 1:ｽﾍﾟﾃ 1234 が表示される	● すでにアクセスコードが登録されている場合 ・ アクセスコード変更するとき クリアー を押し、新しいアクセスコードを入力してセットを押す ・ 消去するとき （アクセスコードの設定を解除するとき） クリアー を押してからセットを押す
3	**機能制限を設定する** 次のどちらかをテンキーで入力し、セット を押す 1: すべて （すべての機能を制限するとき） 2: パラメータ （システム登録と自局登録だけを制限するとき）	● セットを押すと、システム登録のひとつ後の項目が表示されます。
4	**システム登録を終了する** ストップ を押す	

利用者を制限する[アクセスコード]（つづき）

アクセスコードを入力する

■すべての機能を使用制限している場合

すべての機能にアクセスコードが設定されている場合は、待機状態のディスプレイに、アクセスコード入力のメッセージが表示されます。



この場合は、次の手順でアクセスコードを入力してください。

1 アクセスコードを入力する

アクセスコード（4 桁）を入力し、セット を押す

⇨ 2006-03-01 15:00 00% が表示される

- 誤って入力した場合は クリアー © を押します。

■パラメータを使用制限している場合

システム登録と自局登録にアクセスコードが設定されている場合は、これらのメニューを表示すると、ディスプレイにアクセスコード入力のメッセージが表示されます。
この場合は、次の手順でアクセスコードを入力してください。

ここでは、システム登録を操作する場合の例で説明します。

1 システム登録のメニューを表示する

セット 7 4 セット を押す

⇨ ｱｸｾｽ ｺｰﾄﾞ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ ▮▮▮▮ が表示される

2 アクセスコードを入力する

アクセスコード（4 桁）を入力し、セット を押す

⇨ ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ (1-176) NO.=▮ が表示される

- 誤って入力した場合は、クリアー © を押します。

受信文書を転送する[メモリー転送]

メモリー転送とは、すべての受信文書を、他のファクスに転送する機能です。夜間や休日に別の場所(自宅など)でファクス受信をしたい場合に便利です。

- メモリー転送は、システム登録の[54 メモリー転送]が[あり]に設定されている場合に機能します。
  お買い上げ時は、[なし]に設定されています。

お知らせ

- メモリー転送機能を使う場合、転送先はあらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、またはプログラムボタンに登録しておいてください。
  ☞ワンタッチダイヤル(p.99)
  ☞短縮ダイヤル(p.102)
  ☞プログラムボタン(p.105)
  ☞グループダイヤルを登録する(p.106)
  ☞プログラムボタンにワンタッチダイヤルを登録する(p.108)
- 手順3で指定した宛先の登録内容は変更できません。転送先を変更したい場合は、次の手順で操作します。
  1. システム登録の[54 メモリー転送]を[なし]に変更する
  2. ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、プログラムボタンの登録内容を変更する
  3. システム登録の[54 メモリー転送]を[あり]に戻す
  4. 再度、宛先を指定する
- メモリー転送時、転送先が話し中などで転送できないときは、転送は中止されます。受信文書は本機で印刷され、メモリーから削除されます。
  これは、システム登録の[31 未通信ファイル保存]が[あり]に設定されていても同じです。
  このような場合に、メモリーに受信原稿を蓄積したいときは、メモリー受信が便利です。
  ☞メモリーに受信する[メモリー受信](p.81)
- メモリー使用量が98%以上の場合は、受信できません。

メモリー転送を設定するときは、次の手順で操作します。

お知らせ

- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

1 システム登録のメニューを表示する

セット 7 → 4 セット → 5 4 セット を押す

⇨ 54 ﾒﾓﾘｰ ﾃﾝｿｳ
1:ﾅｼ が表示される

2 メモリー転送を設定する

テンキーで 2 を入力し、セット を押す

3 転送先を指定する

ワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルで宛先を入力し、セット を押す

☞ワンタッチダイヤル(p.99)
☞短縮ダイヤル(p.102)

- を押すと、システム登録のひとつ後の項目が表示されます。

4 システム登録を終了する

ストップ を押す

ルーティング機能を使う

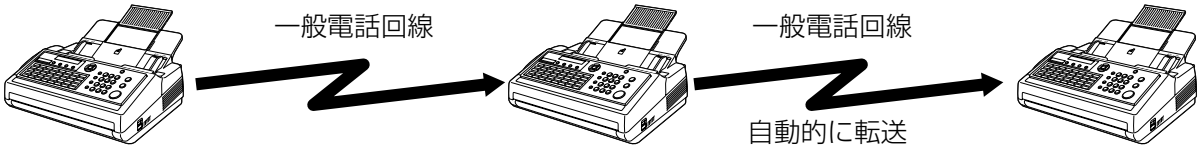
ルーティングとは、特定の相手から受信した文書を、本機のワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録されている宛先に転送する機能です。

ルーティング方法は、送信側のサブアドレス／送信側の数字ID／送信側の発番号／ダイヤルイン番号のいずれかから選択できます。

お知らせ

- ルーティングに対応するファクスについては、サービス実施会社にお問い合わせください。
- サブアドレスを使用できないファクスの場合は、数字ID、送信側の発番号、およびダイヤルイン番号によるルーティング機能が使えます。

（例） ・Fコード(サブアドレス)によるルーティング



G3ファクス(送信側)
F コード(サブアドレス)「1111」を指定し、本機に原稿を送信
☞F コード(サブアドレス)を入力する(p.58)

本機
あらかじめ次のように設定しておく
・ [152 SUBルーティング]を[あり]に設定
・ G3ファクス(受信側)をワンタッチダイヤルなどに登録するときに、Fコード(サブアドレス)「1111」を登録

G3ファクス(受信側)

設定の流れ

ルーティング機能を使う場合は、ルーティングの種類に応じて、システム登録、およびワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの設定が必要です。

システム登録で、必要な項目を[あり]に設定する

・F コード(サブアドレス)を使うとき . . . . . [152 SUB ルーティング]を[あり]
・数字 ID を使うとき . . . . . [153 数字 ID ルーティング]を[あり]
・発信者番号通知(ナンバー・ディスプレイ)サービスを契約しているとき . . . . . [175 発番号 ルーティング]を[あり]
・ダイヤルインサービスを利用しているとき . . . . [176 モデムダイヤルインルーティング]を[あり]

☞ルーティングに必要なシステム登録(p.89)

↓

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに転送先を登録する

☞ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにルーティングを設定する(p.90)

ルーティングに必要なシステム登録

ルーティング機能を使う場合は、ルーティング方法に応じ、システム登録で、次の項目を設定します。

ルーティングのしかた	説明	ファンクション設定
Fコード〔サブアドレス〕を使ったルーティング	F コード通信が利用できる G3 ファクスから、F コード(サブアドレス)を使ってルーティングする場合に設定します。 送信側の G3 ファクスから送られる F コード(サブアドレス)で、本機に登録されている宛先にルーティングできます。	[152 SUB ルーティング]を[あり]に設定
送信側ファクスの数字 ID を使ったルーティング	数字 ID を利用してルーティングする場合に設定します。 送信側のファクスから送られてくる数字 ID で、本機に登録されている宛先にルーティングできます。	[153 数字 ID ルーティング]を[あり]に設定
送信側G3ファクスから送られる発信者番号を使ったルーティング	送信側のG3ファクスから送られる発信者番号(※)を使ってルーティングする場合に設定します。 送信側のG3ファクスから送られる発信者番号(※)で、本機に登録されている宛先にルーティングできます。	[175 発番号ルーティング]を[あり]に設定
送信側G3ファクスから送られるダイヤルイン番号を使ったルーティング	送信側のG3ファクスから送られるダイヤルイン番号(※)を使ってルーティングする場合に設定します。 送信側のG3ファクスから送られるダイヤルイン番号(※)で、本機に登録されている宛先にルーティングできます。	[176 モデムダイヤルインルーティング]を[あり]に設定し、ダイヤルイン番号(※)を登録
受信した原稿の印刷を設定したいとき	受信文書をすべて本機で印刷するか、ルーティング操作が機能しなかった場合だけ印刷するかを選択します。 ・未通信 .....送信できなかった場合だけ受信文書が印刷されます。 ・全て .....送信できた場合、送信できなかった場合、どちらの場合も受信文書が印刷されます。	[155 ルーティング時プリント]を設定

お知らせ

- システム登録の操作について
  ☞システム登録一覧(p.115)
- (※)発信者番号通知・ダイヤルインサービスはあらかじめNTTとの契約が必要です。本サービスの詳細については、NTTにお問い合わせください。
- NCC回線(NTT以外の電話回線)をご利用の場合は、NCC各社でサービス内容が異なります。発信者番号通知、ダイヤルインサービスの詳細については、ご契約のNCCにお問い合わせください。

ルーティング機能を使う(つづき)

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにルーティングを設定する

ルーティング機能を使う場合は、次の手順で、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに、転送先を登録しておきます。ここでは、ワンタッチダイヤルを登録する手順を例に説明します。

お知らせ

- 数字 ID によるルーティングを設定する場合は、送信側のファクスに登録されている数字 ID と同じ数字を登録してください。
- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

1 ワンタッチダイヤル登録のメニューを表示する

セット 7 → 2 セット → 1 を押す

2 登録したいワンタッチボタンを押す

(例) ワンタッチ 01 の場合 01 A を押す

⇨ 〈01〉 デﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ が表示される

3 電話番号を入力する

テンキーで電話番号を入力し、セット を押す

⇨ 〈01〉 ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ 〈ｶﾅ
12345678 が表示される

- 誤って入力した場合は、クリアー を押します。
- 36桁まで入力できます。
- ポーズ、トーン、スペース、サブアドレスも登録できます。
  ☞直接ダイヤル(p.33)

4 宛先名を入力する

宛先名を入力し、セット を押す

(例) SUB ルーティングの場合

⇨ ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ :SUBｱﾄﾞﾚｽ が表示される

- 15文字まで入力できます。
- 文字入力について
  ☞文字入力のしかた(p.111)

5	**ルーティング機能を設定する** **ルーティングの設定により、次のいずれかを入力し、** **を押す** **・送信側のＦコード（サブアドレス）** **・送信側の数字 ID** **・送信側の発信者番号** **・送信側のダイヤルイン番号** ⇨ チュウケイ ソウシン トウロク? 1:ハイ 2:イイエ が表示される	● 表示されるルーティング機能は、システム登録の設定により、異なります。 ☞ ルーティングに必要なシステム登録（p.89） ● F コード、数字 ID、発信者番号の場合は、F コードなどを入力して を押します。 ● ダイヤルイン番号の場合は、 でダイヤルイン番号を選択して を押します。
6	**中継送信登録を設定する** **テンキーで 2 を入力する** ⇨ ワンタッチ< > ワンタッチ ヲ オシテクダ サイ が表示される	● 続けて別のワンタッチダイヤルを登録する場合は、手順２～６を繰り返します。 ● ワンタッチダイヤルの登録を終了する場合は、ストップ を押します。

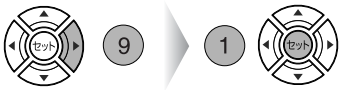
通信予約ファイルを確認する

タイマー送信を指示したり、通信中に次の通信を指示すると、読み込んだ原稿と通信の指示はメモリーに蓄積されます。蓄積されている原稿と通信の指示を合わせて、「通信予約ファイル」と呼び、50通信まで蓄積できます。

通信予約ファイルは、予約レポートとして印刷したり、ディスプレイ上で確認できます。

予約レポートの印刷

1 予約レポートを印刷する

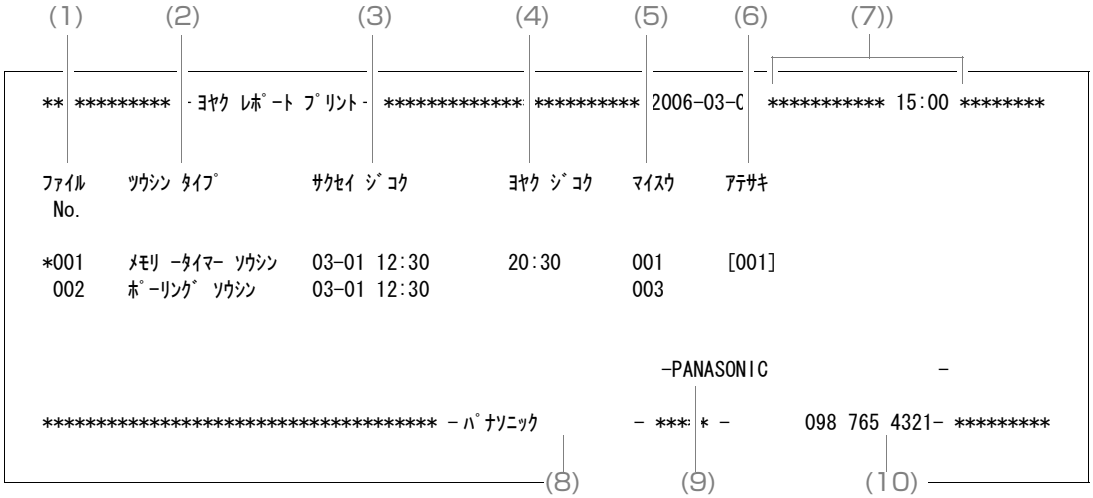


● 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

予約レポートの見かた

予約レポートには次の項目が記載されます。

【レポート例】



No.	項目名	説明
(1)	ファイルNo.	通信予約ファイルの番号です。通信中の場合は、＊が表示されます。
(2)	通信タイプ	通信の種類です。次のいずれかが記載されます。 ･メモリー　タイマー　ソウシン　:タイマー送信 ･ポーリング　ソウシン　:ポーリング送信 ･タイマー　ソウシン　:タイマーダイレクト送信 ･メモリー　ソウシン　:メモリー送信 ･ポーリング　:ポーリング受信 ･ジュンジ　ポーリング　:複数宛先ポーリング受信 ･タイマー　ポーリング　:タイマーポーリング受信 ･メモリー　チュウケイ　ソウシン　:中継送信 ･メモリー　シンテン　ソウシン　:メモリー親展送信 ･テンソウ　:メモリー転送 ･シンテン　ポーリング　:親展ポーリング受信 ･シンテン　ファイル　:親展ポーリング送信 ･メモリー　ジュシン　:メモリー受信
(3)	作成時刻	通信を予約した時刻です。
(4)	予約時刻	タイマー送信の予約時刻です。
(5)	枚数	メモリーに読み込んだ枚数です。
(6)	宛先	次のいずれかが記載されます。 ･<2桁の番号>　：ワンタッチダイヤル番号です。 ･[3桁の番号]　：短縮ダイヤル番号です。 ･電話番号　：ダイヤルした電話番号です。

No.	項目名	説明
(7)	日付、時刻	レポートを印刷した日付と時刻です。
(8)	文字ID	文字IDとして登録した会社名や自分の名前です(16文字まで)。
(9)	発信元	発信元として登録した会社名や自分の名前です(25文字まで)。
(10)	数字ID	数字IDとして登録したファクスの電話番号です(20桁まで)。

ディスプレイ上で通信予約ファイルを確認する

通信予約ファイルの宛先や通信予約時刻などを、ディスプレイ上で確認できます。

1 ディスプレイ確認のメニューを表示する

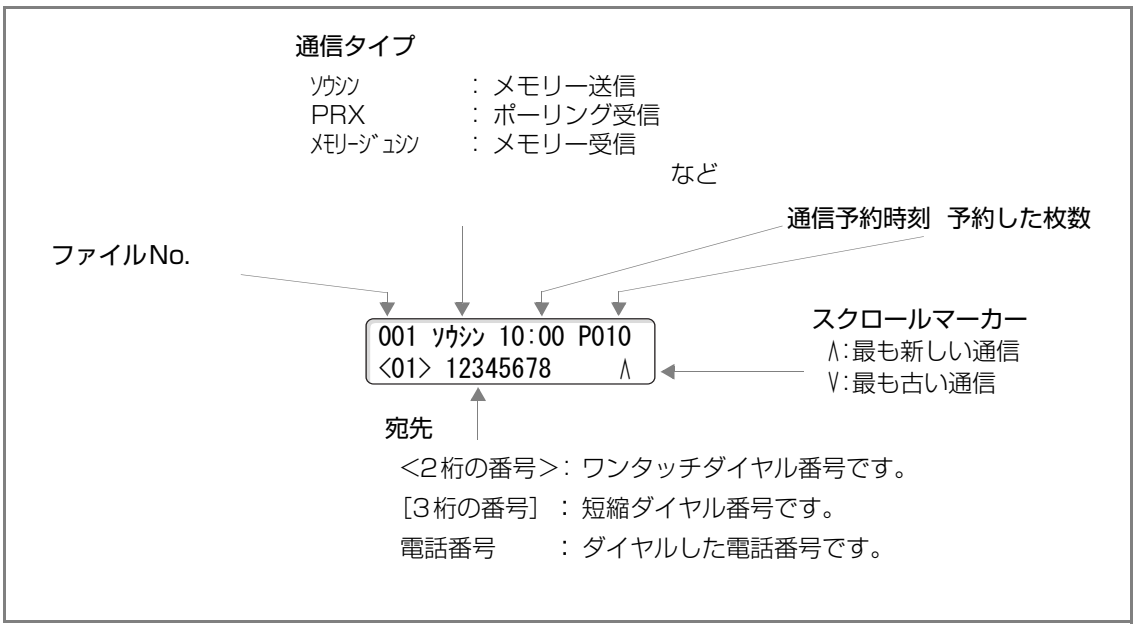
セット 9 → 1 セット → 2 を押す

2 確認したい通信を表示する

セット で確認したい通信予約ファイルを表示する

⇨ 001 ｿｳｼﾝ 10:00 P010
<01> 12345678 ∧ が表示される

● 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。



通信予約ファイルを変更する

タイマー予約した通信予約ファイルの、通信予約時刻と宛先を変更できます。

1	**ファイル No. を確認する** 変更したい通信予約ファイルのファイル No. を確認しておく	☞通信予約ファイルを確認する（p.92）
2	**通信予約ファイル編集のメニューを表示する** セット 9 ▶ 2 セット を押す	
3	**変更したい通信予約ファイルを選択する** セット で変更したい通信予約ファイルを表示し、セット を押す ⇨ `ﾀｲﾏｰ ｿｳｼﾝ` `ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ 22:30` が表示される	● テンキーでファイル No. を入力することもできます。
4	**通信予約時刻を変更する** テンキーで時刻を入力し、セット を押す 例）ワンタッチ <01> で予約した場合 ⇨ `<01> ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ` `12345678` が表示される	● 誤って入力した場合は、クリアー C を押します。 ● 時刻は 24 時制（4 桁）で入力します。 （例） 午後 10:30 に設定したいとき 2 2 3 0 と入力
5	**宛先を変更する** ・宛先を消去する セット で消去したい宛先を表示し、クリアー C を押す ・宛先を追加する 宛先を追加し、セット を押す ⇨ `2 ｱﾃｻｷ ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｽ` `ｱﾃｻｷ ﾂｲｶ ﾏﾀﾊ ｽﾀｰﾄ` が表示される	● 変更しない場合は、そのまま セット を押します。
6	スタート を押す	

お知らせ

- 送信中、再ダイヤル待機中の通信予約ファイルは変更できません。
- タイマー予約されていない通信予約ファイル（未通信ファイル）の場合は、ディスプレイに次のように表示されます。1 を入力すると、タイマー予約できます。

```
ﾀｲﾏｰ ﾂｳｼﾝ ｾｯﾄ ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

未通信ファイルとして保存された通信予約ファイルをタイマー送信しない場合は、上の画面で 2 を入力してから スタート を押すと、ディスプレイに次のように表示されます。1 を入力すると、再送信できます。

```
ﾐﾀﾂｱﾃｻｷ ｻｲﾂｳｼﾝ ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

通信予約ファイルを消去する

メモリー内に蓄積されている通信予約ファイルを消去する場合は、以下の手順で消去します。

お知らせ

- 送信中の通信予約ファイルは消去できません。

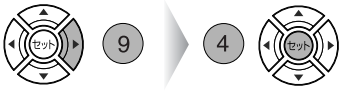
1	**ファイル No. を確認する** 消去したい通信予約ファイルのファイル No. を確認しておく	☞通信予約ファイルを確認する（p.92）
2	**通信予約ファイル削除のメニューを表示する** セット 9 ▶ 3 セット を押す	
3	**削除したい通信予約ファイルを選択する** セット で削除したい通信予約ファイルを表示し、セット を押す ⇨ ｱﾌｧｲﾙ ｼｮｳｷｮ NO.001? 1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ が表示される	● テンキーでファイル No. を入力することもできます。 ● 「***」と入力すると通信予約ファイルをすべて選択できます。ただし、通信中のファイルがある場合、この操作はできません。
4	**消去する** テンキーで 1 を入力する ⇨ ＊ ｼｮｳｷｮ ｼﾃｲﾏｽ ＊ ﾌｧｲﾙ NO.=001 ⇨ ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧ ﾌｧｲﾙ NO.=■■■ が表示される	● 別の通信予約ファイルを消去するときは、手順３～４を繰り返します。 ● 通信予約ファイルの削除を終了するときは、ストップ を押します。 ● 手順３ですべての通信予約ファイルの消去を指示した場合、消去には数十秒かかります。

通信予約ファイルを印刷する

メモリー内に蓄積されている通信予約ファイルを印刷できます。読み込んだ原稿が印刷されます。

お知らせ

- 送信中の通信予約ファイルは印刷できません。

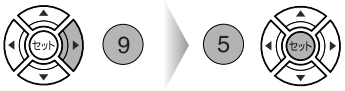
1	**ファイル No. を確認する** 印刷したい通信予約ファイルのファイル No. を確認しておく	☞通信予約ファイルを確認する（p.92）
2	**通信予約ファイル印刷のメニューを表示する**  ⇨ ファｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧ ファｲﾙ NO.=■■■ が表示される	
3	**印刷したい通信予約ファイルを選択する** で印刷したい通信予約ファイルを表示し、 を押す ⇨ ＊ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ ＊ ﾍﾟｰｼﾞ=001/003 が表示される	● テンキーでファイル No. を入力することもできます。 ● 印刷後も、通信予約ファイルはメモリーに蓄積されています。

通信予約ファイルに原稿を追加する

メモリー内の通信予約ファイルに、ページ単位で原稿を追加できます。

お知らせ

- 送信中、再ダイヤル待機中の通信予約ファイルに原稿を追加することはできません。

1	**ファイル No. を確認する** 原稿を追加したい通信予約ファイルのファイルNo.を確認しておく	☞通信予約ファイルを確認する（p.92）
2	**追加したい原稿をセットする** ● 送信する面を下に向け、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる	☞原稿をセットする（p.27）
3	**原稿追加のメニューを表示する**  を押す ⇨ ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧ ﾌｧｲﾙ NO.=■■■ が表示される	
4	**原稿を追加したい通信予約ファイルを選択する** で原稿を追加したい通信予約ファイルを表示し、 を押す ⇨ *ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ* NO.001 ﾏｲｽｳ=004 10% が表示される	● テンキーでファイルNo.を入力することもできます。

未通信ファイルを再送信する

通信エラー(相手の話し中や無応答で通信できなかった場合)の原稿を、通信エラーファイルとしてメモリーに蓄積できます。この機能は システム登録の[31 未通信ファイル保存]が[あり]に設定されている場合に使えます。

ここでは、蓄積された通信エラーファイルを、再送信する操作について説明します。

お知らせ

- お買い上げ時、システム登録の[31 未通信ファイル保存]は[なし]に設定されています。この場合は、再ダイヤル終了後に、メモリーから通信予約ファイルが削除されます。
  設定を変更する場合
  ☞システム登録一覧の[31 未通信ファイル 保存](p.117)
- [31 未通信ファイル保存]を[あり]に設定すると、通信エラーが発生するたびに送信文書が通信エラーファイルとしてメモリーに蓄積されます。メモリーオーバーを避けるため、メモリー内の通信エラーファイルを定期的にチェックしてください。
- 通信エラーファイルとしてメモリーに蓄積されたファイルは、通信予約ファイルと同様に扱われます。
  通信エラーファイルを削除したり、印刷して確認する操作については、次を参照してください。
  ☞通信予約ファイルを消去する(p.95)
  ☞通信予約ファイルを印刷する(p.96)
  ☞通信予約ファイルに原稿を追加する(p.97)

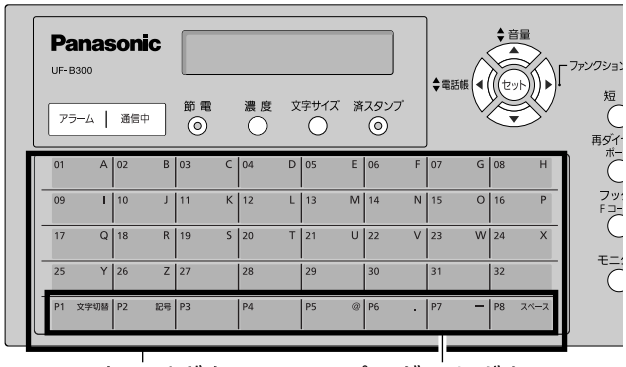
1	**ファイル No. を確認する** 再送信したい通信予約ファイルのファイルNo.を確認しておく	☞ 通信予約ファイルを確認する(p.92)
2	**未達宛先再通信のメニューを表示する** セット 9 → 6 セット を押す ⇨ ファイル NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧ ファイル NO. =■■■ が表示される	
3	**再送信したい通信予約ファイルを選択する** セット で再送信したい通信予約ファイルを表示し、 セット を押す ⇨ 再送信が開始される	● テンキーでファイル No. を入力することもできます。 ● 宛先を変更したい場合は ☞通信予約ファイルを変更する(p.94)

ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルに電話番号を登録しておくと、操作パネルのワンタッチボタンを押すだけでダイヤルできます。

お知らせ

- ワンタッチダイヤルは、最大 32 宛先まで登録できます。
- プログラムボタン(P1 ～ P8)にワンタッチダイヤルを登録することもできます。(最大8宛先まで)
  ☞ プログラムボタンにワンタッチダイヤルを登録する(p.108)



ワンタッチダイヤルには、次の項目を設定できます。

- ·電話番号 : 最大36桁
  (ポーズ、トーン、スペース、サブアドレスを含む)
- ·宛先名 : 最大15文字
- ·中継情報 : 中継情報は、システム登録の[104 中継情報]が[あり]に設定されている場合に表示されます。
  お買い上げ時は、[あり]に設定されています。
  中継情報の登録について
  ☞中継局や中継送信先の登録(p.63)
- ·ルーティング : ルーティングは、システム登録でルーティングの項目が[あり]に設定されている場合に表示されます。お買い上げ時は、[なし]に設定されています。
  ルーティングについて
  ☞ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにルーティングを設定する(p.90)
- ·IP番号 : システム登録の[123 リルート機能]が[あり]に設定されている場合、ワンタッチダイヤル登録時に、一般の電話番号、IP電話の両方の登録画面が表示されます。
  お買い上げ時は、[なし]に設定されています。
  ☞ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録 (リルート機能が設定されている場合)(p.156)

登録する

新規にワンタッチダイヤルを登録する場合は、次の手順で操作します。

1 ワンタッチダイヤル登録のメニューを表示する

セット 7 → 2 セット → 1 を押す

2 登録したいワンタッチボタンを押す

(例) ワンタッチ 01 の場合 [01 A] を押す

⇨ <01>
ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ が表示される

- ここでの手順ではプログラムボタンにワンタッチダイヤルの登録はできません。
  ☞ プログラムボタンにワンタッチダイヤルを登録する(p.108)

ワンタッチダイヤル(つづき)

3	**電話番号を入力する** テンキーで電話番号を入力し、(セット) を押す ⇨ 〈01〉 ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ 〈ｶﾅ 12345678 が表示される	● 誤って入力した場合は (クリアー C) を押します。 ● 36桁まで入力できます。 ● ポーズ、トーン、スペース、サブアドレスも登録できます。 ☞直接ダイヤル(p.33)
4	**宛先名を入力する** 宛先名を入力し、(セット) を押す ⇨ ﾁｭｳｹｲ ｿｳｼﾝ ﾄｳﾛｸ? 1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ が表示される	● 15文字まで入力できます。 ● 文字入力について ☞文字入力のしかた(p.111)
5	**中継送信登録を設定する** 中継情報を登録する場合： テンキーで (1) を入力する 以降の操作は ☞ 中継局や中継送信先の登録（p.63 手順 6） 中継情報を登録しない場合： テンキーで (2) を入力する ⇨ ﾜﾝﾀｯﾁ< > ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ が表示される	● 続けて別のワンタッチダイヤルを登録する場合は、手順2～5を繰り返します。 ● ワンタッチダイヤルの登録を終了する場合は、(ストップ) を押します。

変更する

登録済みのワンタッチダイヤルを変更する場合は、次の手順で操作します。

1	**ワンタッチダイヤル登録のメニューを表示する** (セット) 7 ▶ 2 (セット) ▶ 1 を押す	
2	**変更したいワンタッチボタンを押す** (例) ワンタッチ 01 の場合 [01 A] を押す	
3	**新しい電話番号を入力する** ① (クリアー C) を押し、古い電話番号を消去する ②テンキーで新しい電話番号を入力し、(セット) を押す	● 36桁まで入力できます。 ● ポーズ、トーン、スペース、サブアドレスも登録できます。 ☞直接ダイヤル(p.33)

4	**宛先名を入力する** ①(クリアー C)を押し、古い宛先名を消去する ②新しい宛先名を入力し、(セット)を押す	● 15文字まで入力できます。 ● 文字入力について ☞文字入力のしかた(p.111)
5	**中継送信登録を設定する** 中継情報を登録する場合： テンキーで(1)を入力する 以降の操作は ☞ 中継局や中継送信先の登録（p.63 手順 6） 中継情報を登録しない場合： テンキーで(2)を入力する ⇨ ﾜﾝﾀｯﾁ< > ﾜﾝﾀｯﾁ ﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ が表示される	● 続けて別のワンタッチダイヤルを変更する場合は、手順2～5を繰り返します。 ● ワンタッチダイヤルの変更を終了する場合は、(ストップ)を押します。

削除する

登録済みのワンタッチダイヤルを削除する場合は、次の手順で操作します。

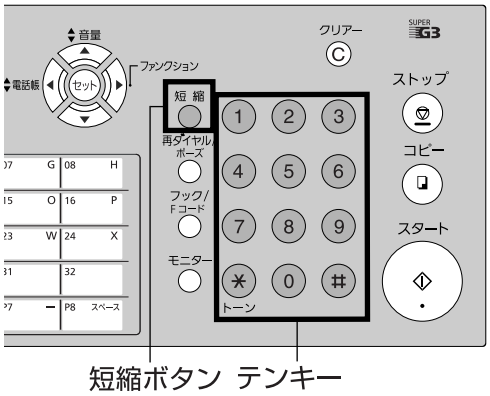
1	**ワンタッチダイヤル登録のメニューを表示する** (セット) 7 ▶ 2 (セット) ▶ 1 を押す	
2	**削除したいワンタッチボタンを押す** (例) ワンタッチ 01 の場合 [01 A]を押す	
3	**電話番号を消去する** (クリアー C)を押して電話番号を消去し、(セット)を押す	● 続けて別のワンタッチダイヤルを消去する場合は、手順2～3を繰り返します。 ● ワンタッチダイヤルの消去を終了する場合は、(ストップ)を押します。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤルに電話番号を登録しておくと操作パネルの短縮ボタンを使って、簡単な操作でダイヤルできます。

お知らせ

- 短縮ダイヤルは、最大310宛先まで登録できます。



短縮ダイヤルには次の項目を設定できます。

・電話番号　：最大36桁
（ポーズ、トーン、スペース、サブアドレスを含む）

・宛先名　：最大15文字

・中継情報　：中継情報は、システム登録の[104 中継情報]が[あり]に設定されている場合に表示されます。
お買い上げ時は、[あり]に設定されています。
中継情報の登録について
☞中継局や中継送信先の登録(p.63)

・ルーティング　：ルーティングは、システム登録でルーティングの項目が[あり]に設定されている場合に表示されます。お買い上げ時は、[なし]に設定されています。
ルーティングについて
☞ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにルーティングを設定する(p.90)

・IP番号　：システム登録の[123 リルート機能]が[あり]に設定されている場合、ワンタッチダイヤル登録時に、一般の電話番号、IP電話の両方の登録画面が表示されます。
お買い上げ時は、[なし]に設定されています。
☞ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録（リルート機能が設定されている場合)(p.156)

登録する

新規に短縮ダイヤルを登録する場合は、次の手順で操作します。

1 短縮ダイヤル登録のメニューを表示する

セット 7 → 2 セット → 2 を押す

2 短縮番号を入力する

テンキーで短縮番号を入力する

（例）短縮001の場合　0 0 1 と入力する

⇨ [001]
ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ が表示される

- 短縮番号は、001 ～ 310 を使用できます。

3 電話番号を入力する

テンキーで電話番号を入力し、セット を押す

⇨ [001]ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ ｸｶﾅ
12345678 が表示される

- 誤って入力した場合はクリアー(C)を押します。
- 36桁まで入力できます。
- ポーズ、トーン、スペース、サブアドレスも登録できます。
☞直接ダイヤル(p.33)

4	**宛先名を入力する** 宛先名を入力し、 を押す ⇨ チュウケイ ソウシン トウロク? 1:ハイ 2:イイエ が表示される	● 15文字まで入力できます。 ● 文字入力について ☞文字入力のしかた(p.111)
5	**中継送信登録を設定する** 中継情報を登録する場合： テンキーで (1) を入力する 以降の操作は ☞ 中継局や中継送信先の登録（p.63 手順 6） 中継情報を登録しない場合： テンキーで (2) を入力する ⇨ ﾀﾝｼｭｸ[ ] ﾀﾝｼｭｸNO. ヲ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ が表示される	● 続けて別の短縮ダイヤルを登録する場合は、手順2～5を繰り返します。 ● 短縮ダイヤルの登録を終了する場合は、ストップ (◎) を押します。

変更する

登録済みの短縮ダイヤルを変更する場合は、次の手順で操作します。

1	**短縮ダイヤル登録のメニューを表示する** (7) (2) (2) を押す	
2	**変更したい短縮番号を入力する** テンキーで短縮番号を入力する （例）短縮 001 の場合 (0) (0) (1) と入力する	
3	**新しい電話番号を入力する** ①クリアー (C) を押し、古い電話番号を消去する ②テンキーで新しい電話番号を入力し、 を押す	● 36桁まで入力できます。 ● ポーズ、トーン、スペース、サブアドレスも登録できます。 ☞直接ダイヤル(p.33)
4	**宛先名を入力する** ①クリアー (C) を押し、古い宛先名を消去する ②新しい宛先名を入力し、 を押す	● 15文字まで入力できます。 ● 文字入力について ☞文字入力のしかた(p.111)

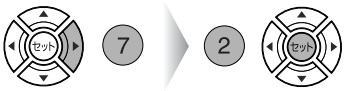
次ページへ続く▶▶▶ 103

短縮ダイヤル(つづき)

5	**中継送信登録を設定する** **中継情報を登録する場合：** **テンキーで (1) を入力する** **以降の操作は** **☞ 中継局や中継送信先の登録（p.63 手順 6）** **中継情報を登録しない場合：** **テンキーで (2) を入力する**	● 続けて別の短縮ダイヤルを変更する場合は、手順2～5を繰り返します。 ● 短縮ダイヤルの変更を終了する場合は、ストップ (■) を押します。

削除する

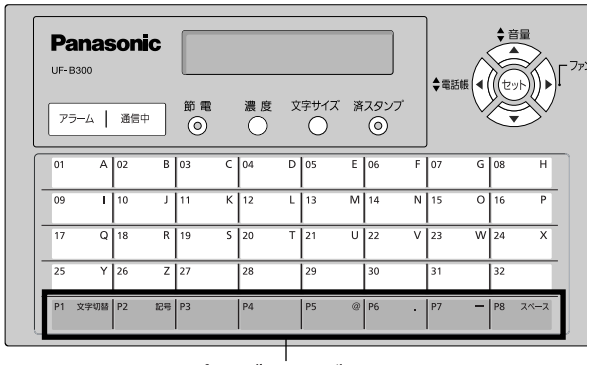
登録済みの短縮ダイヤルを削除する場合は、次の手順で操作します。

1	**短縮ダイヤル登録のメニューを表示する**  **(7) (2) (2) を押す**	
2	**変更したい短縮番号を入力する** テンキーで短縮番号を入力する （例）短縮 001 の場合　(0) (0) (1) と入力する	
3	**電話番号を消去する** クリアー (C) **を押して電話番号を消去し、** **を押す**	● 続けて別の短縮ダイヤルを消去する場合は、手順2～3を繰り返します。 ● 短縮ダイヤルの消去を終了する場合は、ストップ (■) を押します。

プログラムボタン

プログラムボタン(P1 ～ P8) に、グループダイヤル、プログラムダイヤル、ワンタッチダイヤルのいずれかを登録できます。

登録できる内容は次のとおりです。



プログラムボタン

● **グループダイヤル**

グループダイヤルとは、ひとつのプログラムボタンに、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの宛先を複数登録できる機能です。349件まで登録できます。

・宛先　：ワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤル
・宛先名　：最大15文字

● **プログラムダイヤル**

プログラムダイヤルとは、タイマー送信やポーリングの一連の操作を登録できる機能です。

・通信内容　：タイマー送信、ポーリング受信、タイマーポーリング受信
・プログラム名　：最大15文字
・宛先　：ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルで指定

● **ワンタッチダイヤル**

ワンタッチダイヤルとは、操作パネルのワンタッチボタンに電話番号を登録しておく機能です。

・電話番号　：最大36桁
（ポーズ、トーン、スペース、サブアドレスを含む）
・宛先名　：最大15文字
・中継情報　：☞中継局や中継送信先の登録(p.63)
・ルーティング　：☞ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにルーティングを設定する(p.90)
・IP番号　：☞ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録（リルート機能が設定されている場合)(p.156)

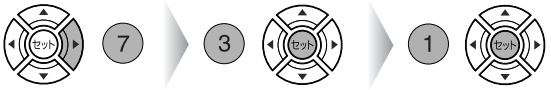
お知らせ

● プログラムダイヤルの登録内容は、プログラムリストを印刷して確認できます。
☞プログラムリスト(p.125)

プログラムボタン(つづき)

グループダイヤルを登録する

1 グループダイヤル登録のメニューを表示する



を押す

2 登録したいプログラムボタンを押す

(例) P1 の場合 P1 文字切替 を押す

- すでにプログラムダイヤルやワンタッチダイヤルが登録されている場合は、次の画面が表示されます。
  上書きして登録する場合は(1)を、登録を中止する場合は(2)をテンキーで入力します。

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ﾄｳﾛｸ ｽﾞﾐ
ﾄﾘｹｼ? 1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

```
ﾜﾝﾀｯﾁ ﾄｳﾛｸ ｽﾞﾐ
ﾄﾘｹｼ? 1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

3 宛先(グループ名)を入力する

宛先(グループ名)を入力し、セット を押す

⇨
```
ｱﾃｻｷ ヲ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```
が表示される

- 15文字まで入力できます。
- 文字入力について
  ☞文字入力のしかた(p.111)

4 宛先を入力する

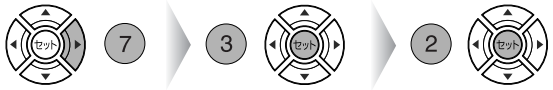
ワンタッチボタン、または短縮ボタンで宛先を入力し、スタート を押す

⇨
```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ヲ ｵｽ
```
が表示される

- 誤って入力した場合は クリアー を押します。
- ワンタッチボタンや短縮ダイヤルを続けて押すと、ひとつのプログラムボタンに複数の宛先を登録できます。
- セット を押すと、入力済みの宛先を確認できます。
- 続けて別のグループダイヤルを登録する場合は、手順2～4を繰り返します。
- グループダイヤル登録を終了する場合は、ストップ を押します。

プログラムダイヤルを登録する

1 プログラムダイヤル登録のメニューを表示する



2 登録したいプログラムボタンを押す

（例）P1 の場合 P1 文字切替 を押す

- すでにグループダイヤルやワンタッチダイヤルが登録されている場合は、次の画面が表示されます。
  上書きして登録する場合は(1)を、登録を中止する場合は(2)を、テンキーで入力します。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾄｳﾛｸ ｽﾞﾐ
ﾄﾘｹｼ? 1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

```
ﾜﾝﾀｯﾁ ﾄｳﾛｸ ｽﾞﾐ
ﾄﾘｹｼ? 1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

3 ボタン名（プログラム名）を入力する

ボタン名（プログラム名）を入力し、セット を押す

⇨
```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P1]
ﾌｧﾝｸｼｮﾝﾎﾞﾀﾝﾖ ｵｽ
```
が表示される

- 15文字まで入力できます。
- 文字入力について
  ☞文字入力のしかた(p.111)

4 登録する機能を選択する

セット を押し、次のいずれかをテンキーで入力する

⇨
```
1:ﾀｲﾏｰﾂｳｼﾝ?
3:ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ?
```
が表示される

・1 ： タイマー通信
（タイマー送信 / タイマーポーリング受信）
・3 ： ポーリング受信

- (1)を選択した場合は、タイマー送信とタイマーポーリング受信を選択する画面が表示されます。
- タイマー通信、ポーリング受信を設定する操作は、通常のタイマー通信、ポーリング受信と手順が同じです。
  タイマー送信、タイマーポーリング受信、ポーリング受信について
  ☞時刻を指定して通信する(p.59)
  ☞ポーリング受信をする(p.72)

5 各機能の項目を設定する

手順４で選択した機能に応じ、通信予約時刻、パスワードなどを入力し、セット を押す

⇨
```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```
が表示される

6 宛先を入力する

ワンタッチボタン、短縮ボタン、グループダイヤルで宛先を入力し、スタート を押す

⇨
```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ﾖ ｵｽ
```
が表示される

- 誤って入力した場合は クリアー を押します。
- 続けて別のプログラムダイヤルを登録する場合は、手順2～6を繰り返します。
- プログラムダイヤル登録を終了する場合は、ストップ を押します。
  ☞ プログラムダイヤルを呼び出す(p.56)

プログラムボタン(つづき)

プログラムボタンにワンタッチダイヤルを登録する

プログラムボタン(P1～P8)をワンタッチダイヤルとして使うことができます。

・電話番号　：最大36桁
（ポーズ、トーン、スペース、サブアドレスを含む）

・宛先名　：最大15文字

・中継情報　：中継情報は、システム登録の[104 中継情報]が[あり]に設定されている場合に表示されます。
お買い上げ時は、[あり]に設定されています。
中継情報の登録について
☞中継局や中継送信先の登録(p.63)

・ルーティング　：ルーティングは、システム登録でルーティングの項目が[あり]に設定されている場合に表示されます。お買い上げ時は、[なし]に設定されています。
ルーティングについて
☞ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにルーティングを設定する(p.90)

・IP番号　：システム登録の[123 リルート機能]が[あり]に設定されている場合、ワンタッチダイヤル登録時に、一般の電話番号、IP電話の両方の登録画面が表示されます。
お買い上げ時は、[なし]に設定されています。
☞ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録（リルート機能が設定されている場合)(p.156)

1 ワンタッチ登録のメニューを表示する

を押す

2 登録したいプログラムボタンを押す

（例）P1 の場合　P1 文字切替 を押す

- すでにグループダイヤルやプログラムダイヤルが登録されている場合は、次の画面が表示されます。
  上書きして登録する場合は(1)を、登録を中止する場合は(2)を、テンキーで入力します。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾄｳﾛｸ ｽﾞﾐ
ﾄﾘｹｼ? 1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ﾄｳﾛｸ ｽﾞﾐ
ﾄﾘｹｼ? 1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

3 宛先名を入力する

宛先名を入力し、セット を押す

⇨
```
[P1] ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ
ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ
```
が表示される

- 15文字まで入力できます。
- 文字入力について
☞文字入力のしかた(p.111)

4 電話番号を入力する

テンキーで電話番号を入力し、セット を押す

⇨
```
ﾁｭｳｹｲ ｿｳｼﾝ ﾄｳﾛｸ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```
が表示される

- 誤って入力した場合は クリアー © を押します。
- 36桁まで入力できます。
- ポーズ、トーン、スペース、サブアドレスも登録できます。
☞直接ダイヤル(p.33)

5 **中継送信登録を設定する**

中継情報を登録する場合：

テンキーで (1) を入力する

以降の操作は

☞ 中継局や中継送信先の登録（p.63 手順 6）

中継情報を登録しない場合：

テンキーで (2) を入力する

⇨ `ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P ]` / `ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ヲ ｵｽ` が表示される

- 続けて別のワンタッチダイヤルを登録する場合は、手順２～５を繰り返します。
- ワンタッチダイヤル登録を終了する場合は、ストップ を押します。

変更する

P1 ～ P8 に登録済みのグループダイヤル / プログラムダイヤル / ワンタッチダイヤルは、次の項目を変更できます。

- ●グループダイヤル　：　グループに登録した宛先
- ●プログラムダイヤル　：　各通信機能の通信予約時刻、宛先、パスワード
- ●ワンタッチダイヤル　：　電話番号と宛先名

変更する場合は、「グループダイヤルを登録する」(p.106)～「プログラムボタンにワンタッチダイヤルを登録する」(p.108)を参照し、画面に表示される古い内容を消去して、新しい内容を入力してください。

消去する

P1 ～ P8 に登録済みのグループダイヤル / プログラムダイヤル / ワンタッチダイヤルを消去する場合は、次の手順で操作します。

1 **プログラム消去のメニューを表示する**

セット (7) ▶ (3) セット ▶ (4) セット **を押す**

2 **消去したいプログラムボタンを押す**

(例) P1 の場合 `P1 文字切替` を押す

3 **1 を入力する**

テンキーで (1) を入力する

- 操作を中止する場合は、テンキーで (2) を入力します。
- 続けて別のプログラムダイヤルを消去する場合は、手順２～３を繰り返します。
- プログラムダイヤル消去を終了する場合は、ストップ を押します。

中継情報

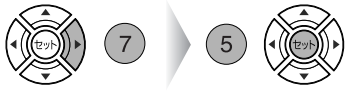
中継同報送信をするには、あらかじめ中継同報に必要な情報を本機(中継指示局)に登録しておく必要があります。登録する中継情報には、次の項目があります。

- ·自局電話番号 : 自局の電話番号を設定します。この項目は、必ず設定します。
- ·レポート返送先 : 中継同報の受付レポート、結果レポートの返送先を設定します。中継局の設定によりレポート返送されない場合もあります。
- ·ネットワークパスワード : 中継同報時のネットワークで共通して使用する暗証番号です。この項目は、必ず設定します。
- ·中継識別番号 : 自局の中継識別番号です。この項目は、必ず設定します。

お知らせ

- 中継同報指示について
  ☞中継局を利用する[中継同報指示](p.61)

1 中継情報登録のメニューを表示する



を押す

2 自局の電話番号を入力する

テンキーで自局の電話番号を入力し、

を押す

⇨ レポ゛ート ヘンソウサキ(チョクダ゛) が表示される

- 誤って入力した場合は クリアー を押します。

3 レポート返送先を入力する

レポート返送先を入力し、

を押す

⇨ ネットワーク パスワード ■■■■ が表示される

- 誤って入力した場合は クリアー を押します。
- 次の方法で入力できます。

直接ダイヤル	テンキーで電話番号を入力する
短縮ダイヤル	短縮ボタンを押して「レポートヘンソウサキ(タンダ)」を表示し、短縮番号を入力する
内線	短縮ボタンを2回押して「レポートヘンソウサキ(ナイセン)」を表示し、内線番号を入力する

4 ネットワークパスワードを入力する

テンキーでネットワークパスワード（4 桁）を入力し、

を押す

⇨ チュウケイ シキベツ バンゴウ ■■ が表示される

- 誤って入力した場合は クリアー を押します。

5 自局の中継識別番号を入力する

テンキーで中継識別番号（2 桁）を入力し、

を押す

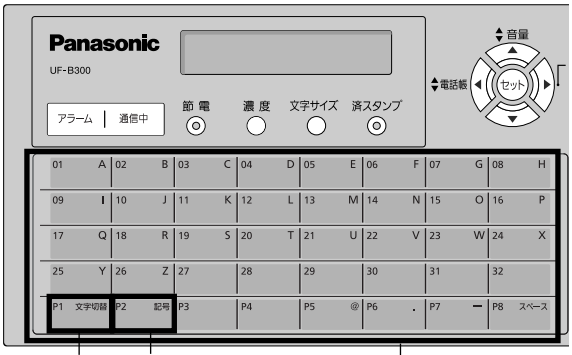
⇨ ジキョク デンワ バンゴウ 12345678 が表示される

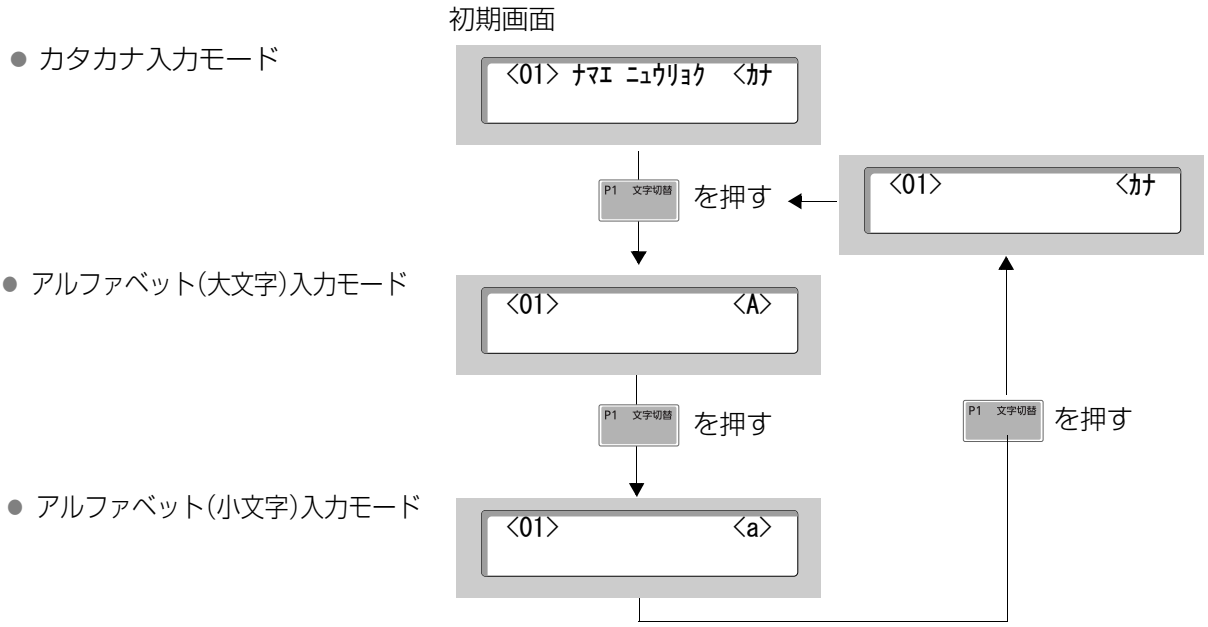
- 誤って入力した場合は クリアー を押します。
- 中継情報の登録を終了する場合は、ストップ を押します。

文字入力のしかた

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、自局情報などの登録時には、文字入力の画面が表示されます。

- 文字入力の画面では、ワンタッチボタンを使って、カタカナ、アルファベット(大文字と小文字)、記号を入力できます。
- テンキーを使うと、数字を入力できます。
- 濁音(ガギグゲゴなど)や半濁音(パピプペポなど)は2文字分になります。
- 文字入力の画面は、カタカナ入力、またはアルファベット入力の状態で表示されます。
  P1 文字切替 を押すたびに、アルファベット(大文字)、アルファベット(小文字)、カタカナが切り替わります。





カタカナの入力

1 (アルファベット入力モードが表示されている場合)

P1 文字切替 を押して、カタカナ入力モードにする

(例) ワンタッチダイヤル入力のとき

⇨ 〈01〉ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ 〈ｶﾅ
12345678 が表示される

2 **ワンタッチボタンを使い、ローマ字変換で文字を入力する**

(例) マツシタを入力する場合

13 M 01 A 20 T 21 U 19 S 09 I 20 T 01 A

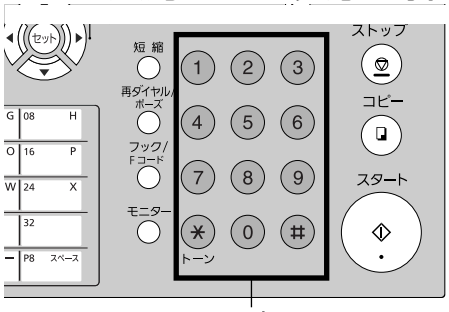
- ローマ字入力の方法について
  ☞ローマ字一覧(p.113)

文字入力のしかた(つづき)

アルファベットの入力

1	(カタカナ入力モードが表示されている場合) P1 文字切替 を押して、アルファベット(大文字または小文字)入力モードにする (例)ワンタッチダイヤル入力のとき ⇨ 〈01〉 〈A〉 12345678 → 〈01〉 〈a〉 12345678 が表示される	
2	ワンタッチボタンで、アルファベットを入力する	

数字の入力

1	テンキーで入力したい数字を押す  テンキー	

記号の入力

1	P2 記号 を押す	● プログラムボタンのP5～P8を押すと、次の記号を入力できます。 P5:@ P6:.(ピリオド) P7:−(ハイフン) P8: (スペース)
2	セット を押し、入力したい記号を表示する	● 以下の記号が表示されます。 ＿ , ' & ( ) : + ／ % ＝

誤って入力したとき

1	セット を押し、誤字の右側の文字にカーソルを移動し、クリアー C を押す ⇨ カーソルの左側の文字が1文字消去される	● カーソルを左端に移動してクリアー Ⓒ を押すと、全ての文字を一度に消去できます。

ローマ字一覧

ア	A	イ	I	ウ	U	エ	E	オ	O
カ	KA	キ	KI	ク	KU	ケ	KE	コ	KO
サ	SA	シ	SI/SHI	ス	SU	セ	SE	ソ	SO
タ	TA	チ	TI/CHI	ツ	TU/TSU	テ	TE	ト	TO
ナ	NA	ニ	NI	ヌ	NU	ネ	NE	ノ	NO
ハ	HA	ヒ	HI	フ	HU/FU	ヘ	HE	ホ	HO
マ	MA	ミ	MI	ム	MU	メ	ME	モ	MO
ヤ	YA			ユ	YU			ヨ	YO
ラ	RA	リ	RI	ル	RU	レ	RE	ロ	RO
ワ	WA	ヲ	WO	ン	NN				
ガ	GA	ギ	GI	グ	GU	ゲ	GE	ゴ	GO
ザ	ZA	ジ	ZI/JI	ズ	ZU	ゼ	ZE	ゾ	ZO
ダ	DA	ヂ	DI	ヅ	DU	デ	DE	ド	DO
バ	BA	ビ	BI	ブ	BU	ベ	BE	ボ	BO
パ	PA	ピ	PI	プ	PU	ペ	PE	ポ	PO
ァ	XA/LA	ィ	XI/LI	ゥ	XU/LU	ェ	XE/LE	ォ	XO/LO
				ッ	XTU/LTU				
ャ	XYA/LYA			ュ	XYU/LYU			ョ	XYO/LYO
キャ	KYA	キィ	KYI	キュ	KYU	キェ	KYE	キョ	KYO
ギャ	GYA	ギィ	GYI	ギュ	GYU	ギェ	GYE	ギョ	GYO
シャ	SYA/SHA	シィ	SYI	シュ	SYU/SHU	シェ	SYE/SHE	ショ	SYO/SHO
ジャ	JYA/JA	ジィ	JYI	ジュ	JYU/JU	ジェ	JYE/JE	ジョ	JYO/JO
チャ	TYA/CHA	チィ	TYI/CYI	チュ	TYU/CHU	チェ	TYE/CHE	チョ	TYO/CHO
ヂャ	DYA	ヂィ	DYI	ヂュ	DYU	ヂェ	DYE	ヂョ	DYO
テャ	THA	ティ	THI	テュ	THU	テェ	THE	テョ	THO
デャ	DHA	ディ	DHI	デュ	DHU	デェ	DHE	デョ	DHO
ニャ	NYA	ニィ	NYI	ニュ	NYU	ニェ	NYE	ニョ	NYO
ヒャ	HYA	ヒィ	HYI	ヒュ	HYU	ヒェ	HYE	ヒョ	HYO
ビャ	BYA	ビィ	BYI	ビュ	BYU	ビェ	BYE	ビョ	BYO
ミャ	MYA	ミィ	MYI	ミュ	MYU	ミェ	MYE	ミョ	MYO
ピャ	PYA	ピィ	PYI	ピュ	PYU	ピェ	PYE	ピョ	PYO
ファ	FA	フィ	FI			フェ	FE	フォ	FO
フャ	FYA	フィ	FYI	フュ	FYU	フェ	FYE	フョ	FYO
リャ	RYA	リィ	RYI	リュ	RYU	リェ	RYE	リョ	RYO

システム登録

システム登録は、機能の設定状態や、有効/無効を設定するためのメニューです。
ご使用の形態に合わせ、本機をより便利に操作できるように設定を変更できます。

システム登録の基本的な操作手順は、次のとおりです。

お知らせ

- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

1 システム登録のメニューを表示する

セット 7 4 セット を押す

2 システム登録番号を入力する

テンキーでシステム登録番号を入力し、セット を押す

（例）濃度切替の場合　1 を入力して セット を押す

⇨ 01 ﾉｳﾄﾞ ｷﾘｶｴ / 1:ﾌﾂｳ が表示される

- システム登録番号について ☞システム登録一覧（p.115）
- セット を押して、システム登録の項目をスクロール表示することもできます。

3 設定したい選択肢の番号を入力する

テンキーで選択したい項目の番号を入力し、セット を押す

（例）ウスクに変更する場合　2 を入力して セット を押す

⇨ 02 ﾓｼﾞ ｻｲｽﾞ / 1:ﾌﾂｳ が表示される

- システム登録番号が 1 桁、2 桁の場合も先頭に 0 をつける必要はありません。
- システム登録の項目によっては、選択肢の設定のあとに、関連項目を設定するための画面が表示されるものがあります。
- セット を押すと、システム登録のひとつ後の項目が表示されます。
- 続けて別のシステム登録を設定する場合は、クリアー を押した後、手順2～3を繰り返します。

お知らせ

- システム登録リストを印刷すると、現在の設定状態をリストで確認できます。
  ☞システム登録リスト（p.126）

システム登録一覧

システム登録の設定項目は次表のとおりです。

お知らせ

- 標準設定＝お買い上げ時の設定のことです。

No.	設定項目	選択肢		標準設定	説明
01	濃度切替 (ﾉｳﾄﾞ ｷﾘｶｴ)	1	普通	普通	濃度 を押したときに、最初に表示される濃度を設定します。いつも送信する原稿の濃さに合わせます。 送信時に濃度を設定しないと、ここで設定した濃度で送信されます。 ☞読み取り濃度(p.39)
		2	薄く		
		3	濃く		
02	文字サイズ (ﾓｼﾞ ｻｲｽﾞ)	1	普通	普通	文字サイズ を押したときに、最初に表示される文字サイズを設定します。いつも送信する原稿の文字の大きさに合わせます。 送信時に文字サイズを設定しないと、ここで設定した文字サイズで送信されます。 ☞文字サイズ(p.39)
		2	小さい		
		3	細密		
		4	ハーフトーン(小さい)		
		5	ハーフトーン(細密)		
04	済スタンプ (ｽﾐｽﾀﾝﾌﾟ)	1	オフ	オフ	済スタンプの設定状態を設定します。 ・オフ.....メモリー送信時/ダイレクト送信時、どちらの場合も済スタンプは押されません。 ・オン.....メモリー送信時は[28 メモリー済スタンプ]の設定に従います。ダイレクト送信時は済スタンプが押されます。 ● メモリー送信時に済スタンプを押したくない場合は、[28 メモリー済スタンプ]を[なし]に設定してください。
		2	オン		
05	メモリー優先(送信/コピー) (ﾒﾓﾘｰﾕｳｾﾝ)	1	オフ	オン	[F8 セレクトモード]の[9 メモリー優先]の初期設定の値を設定します。 ・オフ.....メモリーに蓄積せず、読み込みながら送信/コピーされます。(送信の場合はダイレクト送信) ・オン.....読み込んだ原稿はメモリーに蓄積してから送信/コピーされます。(送信の場合はメモリー送信)。 ☞コピーする(p.32) ☞メモリーに蓄積して送信する[メモリー優先](p.80)
		2	オン		
06	ダイヤル切替 (ﾀﾞｲﾔﾙ ｷﾘｶｴ)	1	10PPS	プッシュ(PB)	お使いの電話回線に合わせ、ダイヤル種別を設定します。 ☞回線種別(p.16)
		2	20PPS		
		3	プッシュ(PB)		
07	発信元印字 (ﾊｯｼﾝﾓﾄ ｲﾝｼﾞ)	1	画面内	画面内	受信側の用紙に印字される発信元の印字位置を設定します。 ・画面内....原稿の内側に印字されます。原稿内容が欠けることがあります。 ・画面外....原稿の外側に印字されます。 ・なし.....発信元は記載されません。 ● 発信元は、[F7 登録モード]の[1 自局登録]の[発信元]で登録します。 ● 印刷する発信元のフォーマットは、[08 発信元印字フォーマット]で設定します。
		2	画面外		
		3	なし		

システム登録一覧(つづき)

No.	設定項目	選択肢		標準設定	説明
08	発信元印字フォーマット (ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾌｫｰﾏｯﾄ)	1	発信元ID	FROM TO	受信側の用紙に印刷する発信元のフォーマットを設定します。 ・発信元ID .... 日付、発信元、数字ID、ページ数の形式で印刷されます。 ・FROM TO . 日付、FROM発信元、TO宛先、ページ数の形式で印刷されます。
		2	FROM TO		
09	受信時刻プリント (ｼﾞｭｼﾝｼﾞｺｸ ﾌﾟﾘﾝﾄ)	1	なし	なし	受信時刻を印刷する機能の有効/無効を設定します。[あり]に設定すると、受信した時刻が記録紙の下端に印刷されます。
		2	あり		
10	ブザー音量 (ﾌﾞｻﾞｰ ｵﾝﾘｮｳ)	1	オフ	小さい	アラーム音/ボタン押下音(操作パネルのボタンを押したときの音)の、音量を調節できます。[オフ]に設定すると、音は鳴りません。
		2	小さい		
		3	大きい		
12	通信結果レポート (ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ)	1	オフ	未通信	通信結果レポートを印刷するときの条件を設定します。 ・オフ ..... 通信結果レポートは印刷されません。 ・全て ..... 通信ごとに通信結果レポートが印刷されます。 ・未通信 .... 通信できなかったときだけ、通信結果レポートが印刷されます。
		2	全て		
		3	未通信		
13	通信管理レポート (ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ)	1	なし	あり	通信管理レポートの自動印刷の有効/無効を設定します。 ・なし ..... 自動印刷されません。通信管理レポートを見たいときは、ディスプレイ上で確認するか、手動で印刷します。 ・あり ..... 40通信ごとに自動印刷されます。
		2	あり		
17	受信モード (ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ)	1	手動	FAX専用	ファクス受信のしかたを設定します。 ・手動 ..... 手動受信をする場合に選択します。 ・FAX専用 ..... 自動受信をする場合に選択します。 ・FAX/TEL切り替え ..... 電話とファクスを自動で切り替えて使う場合に選択します。 ・留守録接続 .... 外部電話機として留守番電話を接続する場合に選択します。 ● システム登録の[176 モデムダイヤルインルーティング]が[あり]に設定されている場合は、自動的に[FAX専用]に設定されます。 ☞ファクスの受けかたを選ぶ(p.46) ☞FAX/TEL切り替えに設定しているとき(p.49)
		2	FAX専用		
		3	FAX/TEL切り替え		
		4	留守録接続		
18	F/Tベル回数 (F/T ﾍﾞﾙ ｶｲｽｳ)	1	3回	9回	[17 受信モード]を[FAX/TEL切り替え]に設定している場合に、最初の音声応答の後に鳴らすベル回数を設定できます。 ☞着信時の動作(p.49)
		2	6回		
		3	9回		
		4	12回		
19	応答メッセージ時間 (ｵｳﾄｳ ﾒｯｾｰｼﾞ ｼﾞｶﾝ)	1～60	1～60秒	20秒	外部電話機として接続している留守番電話の応答メッセージの長さ(秒数)を設定します。

No.	設定項目	選択肢		標準設定	説明
20	無音検知 (ﾑｵﾝ ｹﾝﾁ)	1	なし	なし	接続している留守番電話で用件を録音中に、約５秒の無音状態を検知すると、自動的にファクス受信を開始するように設定できます。 ・なし.....無音状態の検知を行いません。 ・あり.....無音状態(約５秒間)を検知すると、自動的にファクス受信が開始されます。
		2	あり		
21	着信ベル回数 (ﾁｬｸｼﾝ ﾍﾞﾙ ｶｲｽｳ)	0～9	0～9回	1回	[17 受信モード]を[FAX専用]、[FAX/TEL切り替え]に設定している場合に、着信したときに鳴らすベル回数を設定できます。 ☞着信時の動作(p.49) ● 「0」回に設定している場合は、節電 を押しても節電モードへ移行できません。また、システム登録の[34 節電モード]も表示されません。
22	代行受信 (ﾀﾞｲｺｳ ｼﾞｭｼﾝ)	1	なし	あり	代行受信の有効/無効を設定します。 [あり]に設定すると、記録紙がなくなったり、つまったりして印刷できない場合に、受信文書をメモリーに蓄積できます。 ☞記録できないとき[代行受信](p.54)
		2	あり		
23	用紙サイズ (ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ)	1	A4	B4	セットした記録紙のサイズを設定します。
		2	B4		
26	ポーリング パスワード (ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ)	(---)	(---)	(---)	ポーリング通信をするときに使う４桁のパスワードを設定します。
27	ポーリング ファイル保存 (ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ﾌｧｲﾙ ﾎｿﾞﾝ)	1	なし	なし	ポーリング送信したあと、原稿をメモリーに保存するかどうかを設定します。 ・なし.....ポーリング送信したあと、原稿はメモリーから消去されます。 ・あり.....ポーリング送信したあとも、原稿はメモリーに蓄積されています。
		2	あり		
28	メモリー 済スタンプ (ﾒﾓﾘｰ ｽﾐｽﾀﾝﾌﾟ)	1	なし	あり	メモリー送信時に、原稿をメモリーに蓄積した時点で済スタンプを押すかどうかを設定します。 ・なし.....メモリー送信時はスタンプが押されません。 ・あり.....メモリー送信時もスタンプが押されます。 ● [04 済スタンプ]が[オフ]に設定されている場合、スタンプは押されません。
		2	あり		
31	未通信ファイル 保存 (ﾐﾂｳｼﾝ ﾌｧｲﾙ ﾎｿﾞﾝ)	1	なし	なし	エラーなどで、未通信になったファイルをメモリーに保存し、再通信するかどうかを設定します。 ・なし.....未通信になったファイルは保存されません。 ・あり.....未通信になったファイルがメモリーに保存され、必要に応じて、再送信できます。
		2	あり		

システム登録一覧(つづき)

No.	設定項目	選択肢		標準設定	説明
34	節電モード (ｾﾂﾃﾞﾝ ﾓｰﾄﾞ)	1	オフ	オン	節電モードの有効／無効を設定します。 節電モードとは、本機を一定時間使用しない場合に、使用する電力を下げる機能です。 ☞節電モードについて(p.26) [オン]に設定した場合は、[節電タイマー]に、節電モードに移行するまでの時間を設定します(1～120分)。 ● 次のような場合、この設定は表示されません。 ・[21 着信ベル回数]が「0」回に設定されている ・[96 NTT ファクシミリ通信網]が[2:SDT]または[3:Timer]に設定されている ・[175 発番号ルーティング]が[あり]に設定されている ・[176 モデムダイヤルインルーティング]が[あり]に設定されている
		2	オン	60分	
37	メモリー受信 (ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ)	(----)	(----)	(----)	[F8 セレクトモード]の[5 メモリー受信]を設定している場合に、受信した原稿を印刷するときのパスワードを設定します。 ● [F8 セレクトモード]の[5 メモリー受信]を設定すると、この設定は画面上に表示されません。
38	アクセスコード (ｱｸｾｽ ｺｰﾄﾞ)	(----)	アクセスコード(パスワード)登録後に、[1:全て]、[2:パラメータ]の選択肢が表示されます。	(----)	本機を操作するためのアクセスコード(パスワード)を設定し、第三者の使用を制限できます。 [あり]に設定した場合は、次の項目を設定します。 ・制限する機能レベル 1:全て.....送信やコピーなど、すべての機能にパスワードが必要です。 2:パラメータ.... システム登録と自局登録をする場合にだけパスワードが必要です。 ・パスワード(4桁) ☞利用者を制限する[アクセスコード](p.85)
42	親展ファイル保存 (ｼﾝﾃﾝ ﾌｧｲﾙ ﾎｿﾞﾝ)	1	なし	なし	親展文書がポーリングされたあと、原稿を親展ボックスに保存するかどうかを設定します。 ・なし.....ポーリングされたあと、原稿は親展ボックスから消去されます。 ・あり .....ポーリングされたあとも、原稿は親展ボックスに蓄積されています。
		2	あり		

No.	設定項目	選択肢		標準設定	説明
43	パスワード送信 (ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ)	(----)	パスワード登録後に、[1:オフ]、[2:オン]の選択肢が表示されます。	(----)	送信パスワードを使って、相手とパスワード通信する場合に、4 桁のパスワードを登録し、[オン]または[オフ]を設定します。 パスワード送信とは、送信時に受信側との間でパスワード照合し、一致した場合だけ送信をする機能です。 ・オフ.....送信時にパスワードはチェックされません。 パスワード送信の必要がある場合は、[F8 セレクトモード]の[4 パスワード送信]を設定すると、一時的にパスワード送信できます。 ・オン.....送信時にパスワードがチェックされます。常時パスワード送信をしたいときに選択します。 ☞パスワード送信の設定(p.77)
44	パスワード受信 (ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｼﾞｭｼﾝ)	(----)	パスワード登録後に、[1:オフ]、[2:オン]の選択肢が表示されます。	(----)	受信パスワードを使って、相手とパスワード通信する場合に、4 桁のパスワードを登録し[オン]または[オフ]を設定します。 パスワード受信とは、受信時に送信側との間でパスワード照合し、一致した場合だけ通信をする機能です。 ・オフ.....受信時にパスワードはチェックされません。 ・オン.....受信時にパスワードがチェックされます。 ☞パスワード受信の設定(p.78)
46	セレクト受信 (ｾﾚｸﾄ ｼﾞｭｼﾝ)	1	なし	なし	セレクト受信の有効/無効を設定します。 セレクト受信とは、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに電話番号が登録されている相手からだけ受信する機能です。 ダイレクトメールなどの迷惑ファクスを防止できます。 ☞迷惑ファクスを防止する[セレクト受信](p.84)
		2	あり		
47	リモート受信 (ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ)	1	なし	あり	リモート受信の有効/無効を設定します。 リモート受信とは、外部電話機から受信を指示する機能です。 ☞外部電話機から受信に切り替える[リモート受信](p.83)
		2	あり		
51	遠隔診断 (ｴﾝｶｸ ｼﾝﾀﾞﾝ)	1	なし	なし	遠隔診断の有効/無効を設定します。 遠隔診断とは、遠隔地からの操作などで各種の診断を行う機能です。 ● 詳しくはサービス実施会社にご連絡ください。
		2	あり		
53	サブアドレス パスワード (ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ)	(----)	(----)	(----)	サブアドレス通信をするときのパスワードを設定します(最大20桁)。
54	メモリー転送 (ﾒﾓﾘｰ ﾃﾝｿｳ)	1	なし	なし	メモリー転送の有効/無効を設定します。 メモリー転送とは、受信した原稿を、すべて指定した宛先へ転送する機能です。 [あり]に設定した場合は、メモリー転送する宛先を設定します。 ☞受信文書を転送する[メモリー転送](p.87)
		2	あり		

システム登録一覧(つづき)

No.	設定項目	選択肢		標準設定	説明
56	カバーシート (ｶﾊﾞｰ ｼｰﾄ)	1	オフ	オフ	[F8 セレクトモード]の[3 カバーシート]のオン/オフを設定します。 [オン]に設定にすると、カバーシートを設定しなくても、通常の操作でカバーシート付きで送信されます。 ☞表紙をつけて送信する[カバーシート](p.73)
		2	オン		
65	正順プリント (ｾｲｼﾞｭﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ)	1	なし	あり	正順プリント機能の有効/無効を設定します。 ☞受信文書の排出順について[正順プリント](p.55)
		2	あり		
68	ダイヤルトーン検知 (ﾀﾞｲﾔﾙﾄｰﾝ ｹﾝﾁ)	1	なし	あり	ダイヤルトーン検知機能の有効/無効を設定します。詳しくは、サービス実施会社にお問い合わせください。
		2	あり		
72	音声応答 (ｵﾝｾｲ ｵｳﾄｳ)	1	なし	なし	[17 受信モード]を[FAX/TEL切り替え]に設定している場合に、音声応答メッセージを流すかどうかを設定します。 ・なし.....相手には、呼び出し音だけが聞こえます。 ・あり.....相手には、音声応答メッセージが聞こえます。 ☞着信時の動作(p.49)
		2	あり		
82	クイックメモリー送信 (ｸｲｯｸ ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ)	1	なし	あり	クイックメモリー送信の有効/無効を設定します。 ・なし.....原稿をすべて読み取ってから送信が開始されます。 ・あり.....1ページ目の原稿をメモリーに読み取った時点で送信が開始されます。ただし、複数宛先の場合は、クイックメモリー送信となりません。 ☞読み込み中の動作(p.43)
		2	あり		
96	NTTファクシミリ通信網 (NTT ﾌｧｸｼﾐﾘ ﾂｳｼﾝﾓｳ)	1	なし	なし	NTTが提供するファクシミリ通信網を使用する場合に設定します。 ・なし.....送信/受信共にファクシミリ通信網は利用できません。 ・SDT.....第二ダイヤルトーン(「ツツー･･･」という音)を検知してから送信が開始されます。 ・Timer ....第二ダイヤルトーンの検出を行わず、一定の時間が経過すると送信が開始されます。 ☞ファクシミリ通信網を利用する場合(p.10) ● [2:STD]、[3:Timer]に設定している場合は、節電 を押しても節電モードへ移行できません。 また、システム登録の[34 節電モード]も表示されません。
		2	SDT		
		3	Timer		
99	メモリーサイズ (ﾒﾓﾘｰ ｻｲｽﾞ)	-	-	-	メモリー容量を確認できます。 (設定はありません。)

No.	設定項目	選択肢		標準設定	説明
104	中継情報 (ﾁｭｳｹｲ ｼﾞｮｳﾎｳ)	1	なし	あり	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル登録時の、中継情報の有効/無効を設定します。 ・なし.....ダイヤル登録時に、中継情報の登録画面は表示されません。 ・あり.....ダイヤル登録時に、中継情報の登録画面が表示されます。
		2	あり		
121	オートクリアータイム (ｵｰﾄｸﾘｱｰ･ﾀｲﾑ)	1	オフ	1分	オートクリアータイムの時間を設定します。 オートクリアータイムとは、最後に操作してから、一定の時間が経過すると、設定が自動的に初期状態に戻るまでの時間のことです。 ● 操作後のパネル設定内容は、指定した時間を経過するとクリアー(消去)されてしまいます。
		2	30秒		
		3	1分		
		4	2分		
		5	3分		
		6	4分		
123	リルート機能 (ﾘﾙｰﾄ ｷﾉｳ)	1	なし	なし	IP電話を使う場合に、リルート機能の有効/無効を設定します。 ☞リルート機能(p.154)
		2	あり		
124	プレフィクス機能 (ﾌﾟﾚﾌｨｸｽ ｷﾉｳ)	1	なし	なし	電話番号に付与するプレフィクス番号(最大20桁)を登録し、[なし]または[あり]を設定します。 プレフィクス機能とは、ダイヤルした番号の頭にプレフィクス番号を自動的に付与することにより、IP電話回線ではなく一般電話回線で通信する機能です。 ・なし.....ダイヤル時に、登録した番号は付与されません。 ・あり.....登録した番号を付与してダイヤルされます。 ☞プレフィクス機能(p.154) ● プレフィクス機能を[あり]に設定すると、[123 リルート機能]の設定にかかわらず、常にプレフィクス番号をつけて発信されます。
		2	あり		
125	宛先確認 (ｱﾃｻｷ ｶｸﾆﾝ)	1	なし	なし	宛先確認の有効/無効を設定します。 送信を開始する前に、常に宛先確認画面を表示するときは[あり]に設定します。 ☞宛先を確認する(p.38)
		2	あり		
134	宛先名敬称付加 (ｱﾃｻｷﾒｲ ｹｲｼｮｳﾌｶ)	1	なし	あり	宛先名に敬称をつけるかどうかを設定します。 [あり]に設定すると、受信側で印刷される文書の発信元の宛先に、敬称(○○サマ)が付きます。 ● [08 発信元フォーマット]が[発信元ID]に設定されている場合は、適用されません。 ● カバーシートを設定している場合は、カバーシートの宛先に、敬称(○○サマ)が付きます。
		2	あり		
152	SUBルーティング (SUB ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ)	1	なし	なし	サブアドレスによるルーティングの有効/無効を設定します。 ルーティングを行うときに[あり]にします。
		2	あり		
153	数字ID ルーティング (ｽｳｼﾞ ID ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ)	1	なし	なし	数字IDによるルーティングの有効/無効を設定します。 ルーティングを行うときに[あり]にします。
		2	あり		

システム登録一覧(つづき)

No.	設定項目	選択肢		標準設定	説明
155	ルーティング時プリント (ﾙｰﾃｨﾝｸﾞｼﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ)	1	未通信	未通信	ルーティング時に、受信した原稿を自局で印刷するときの条件を設定します。 ・未通信....ルーティングして送信できなかった場合にだけ、原稿が印刷されます。 ・全て.....ルーティングして送信できた場合、送信できなかった場合、どちらの場合も原稿が印刷されます。
		2	全て		
156	メモリー転送時プリント (ﾒﾓﾘｰﾃﾝｿｳｼﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ)	1	未通信	未通信	メモリー転送した文書を、自局で印刷するときの条件を設定します。 ・未通信....転送できなかった場合にだけ、原稿が印刷されます。 ・全て.....転送できた場合、できなかった場合、どちらの場合も原稿が印刷されます。
		2	全て		
163	ルーティングヘッダー (ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ﾍｯﾀﾞｰ)	1	なし	なし	ルーティング時、ルート局のヘッダー情報を付けるかどうかを設定します。 ルート局のヘッダー情報を付けるときは、[あり]に設定します。 ● [07 発信元印字]が[なし]に設定されている場合、ヘッダー情報は付加されません。
		2	あり		
175	発番号ルーティング (ﾊﾂﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ)	1	なし	なし	発信者番号によるルーティングの有効/無効を設定します。 ルーティングを行うときに[あり]にします。 ● [あり]に設定している場合は、節電を押しても節電モードへ移行できません。また、システム登録の[34 節電モード]も表示されません。
		2	あり		
176	モデムダイヤルインルーティング (ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ)	1	なし	なし	モデムダイヤルイン番号によるルーティングの有効/無効を設定します。 ルーティングを行うときに[あり]に設定し、ダイヤルイン番号を登録します。 ● ダイヤルイン番号は、最大20桁、50件まで登録できます。 ● 登録するときは、01～50のいずれかを選択し、ダイヤルイン番号を入力して を押します。 ダイヤルイン番号の設定が終了したらストップを押します。 ● モデムダイヤルインサービスを契約している場合に[あり]にします。 ● 登録したモデムダイヤルイン番号は、システム登録リストを印刷して確認できます。 ☞システム登録リスト(p.126) ● [あり]に設定した場合は、節電を押しても節電モードへ移行できません。また、システム登録の[34 節電モード]も表示されません。 ● [あり]に設定した場合は、システム登録の[17 受信モード]が、自動的に[FAX専用]に設定されます。
		2	あり		

ダイヤルリスト

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの登録内容を記載したリストを印刷できます。
また、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録した内容を、宛先名で並べ替えた電話帳リストを印刷することもできます。

ダイヤルリストの印刷

お知らせ

- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

1 ダイヤルリストのメニューを表示する

セット 6 → 2 セット を押す

2 印刷したいリストを選択する

次のどちらかをテンキーで入力する
1：ワンタッチ・短縮リスト
2：電話帳リスト

ワンタッチ・短縮リストの場合

⇨ ＊ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ ＊
ﾜﾝﾀｯﾁ･ﾀﾝｼｭｸ ﾘｽﾄ

電話帳リストの場合

⇨ ＊ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ ＊
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾘｽﾄ

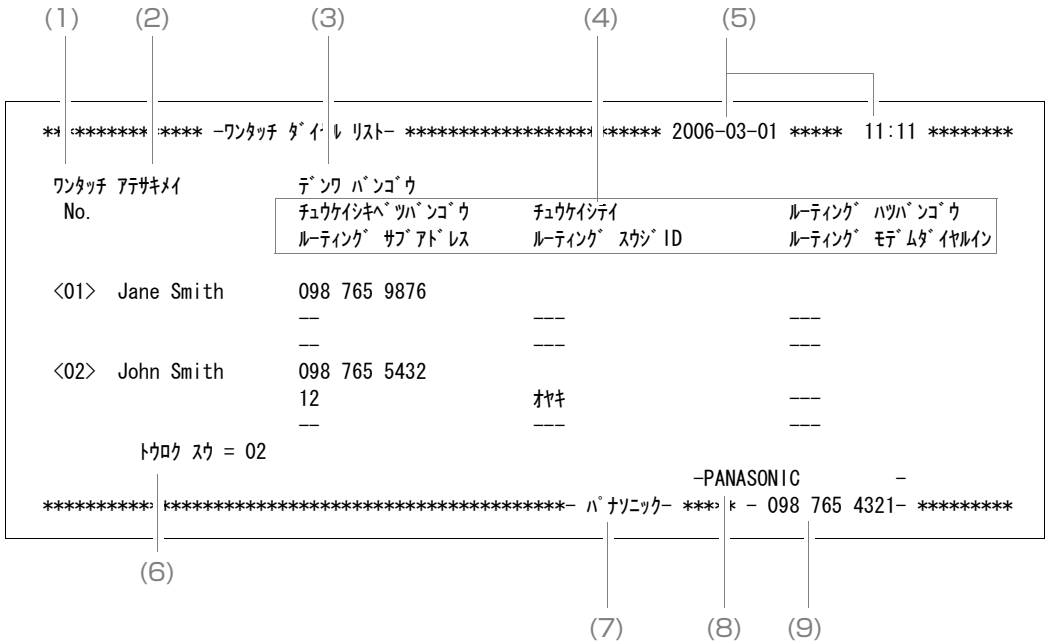
が表示され、リストが印刷される

ダイヤルリストの見かた

ワンタッチダイヤルリスト、短縮ダイヤルリスト、電話帳リストには、次の項目が表示されます。

■ワンタッチダイヤルリスト

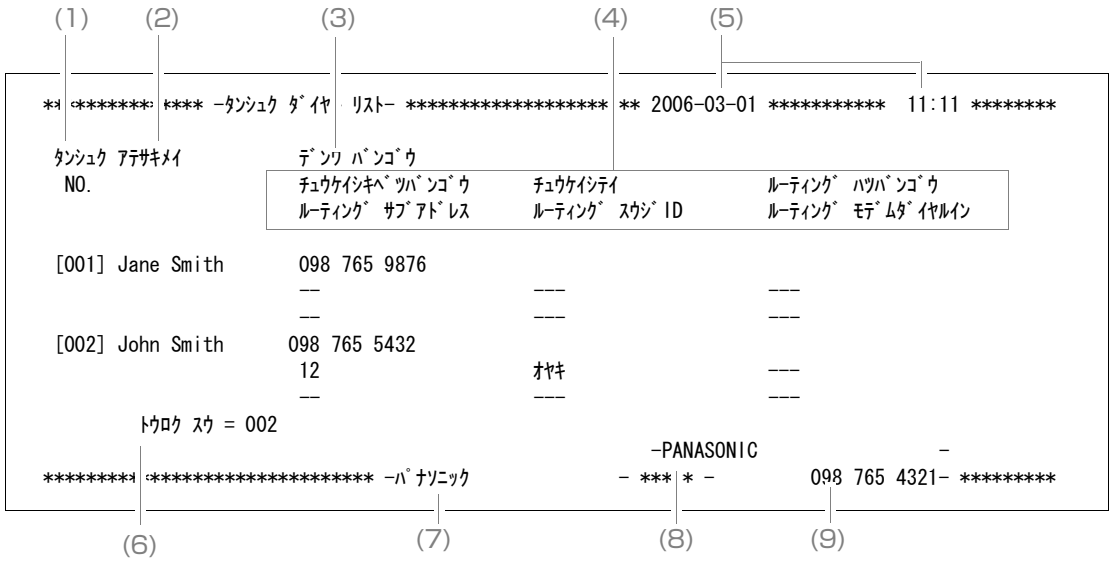
【リスト例】



ダイヤルリスト(つづき)

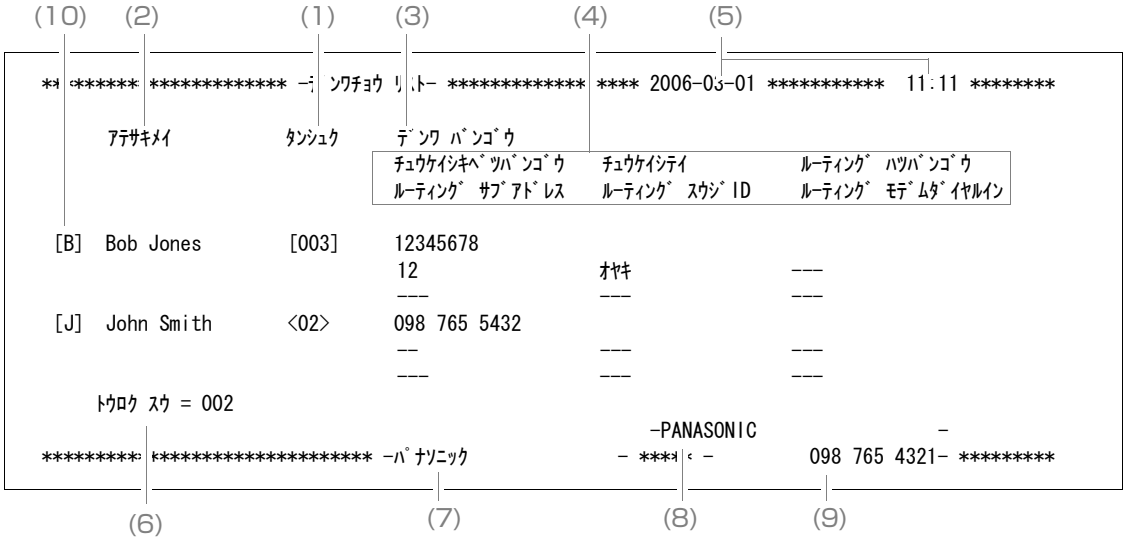
■短縮ダイヤルリスト

【リスト例】



■電話帳リスト

【リスト例】



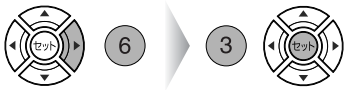
No.	項目名	説明
(1)	ワンタッチNo. 短縮No.	<2桁の番号>: ワンタッチダイヤル番号です。 [3桁の番号] : 短縮ダイヤル番号です。
(2)	宛先名	宛先名です(15文字まで)。
(3)	電話番号	電話番号です(36桁まで)。
(4)	中継識別番号 ～ ルーティングモデムダイヤルイン	中継情報、ルーティング情報です。
(5)	日付、時刻、ページ番号	レポートを印刷した日付と時刻です。 レポートが複数枚ある場合は、右側にページ番号が記載されます。
(6)	登録数	登録済みの宛先数です。
(7)	文字ID	文字IDとして登録した会社名や自分の名前です(16文字まで)。
(8)	発信元	発信元として登録した会社名や自分の名前です(25文字まで)。
(9)	数字ID	数字IDとして登録したファクスの電話番号です(20桁まで)。
(10)	見出し文字	宛先名の見出し文字です。アルファベット、カタカナの順に記載されます。

プログラムリスト

プログラムダイヤルの登録内容を記載したリストを印刷できます。

プログラムリストの印刷

1 プログラムリストを印刷する



を押す

⇨ ＊ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ ＊
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ﾘｽﾄ

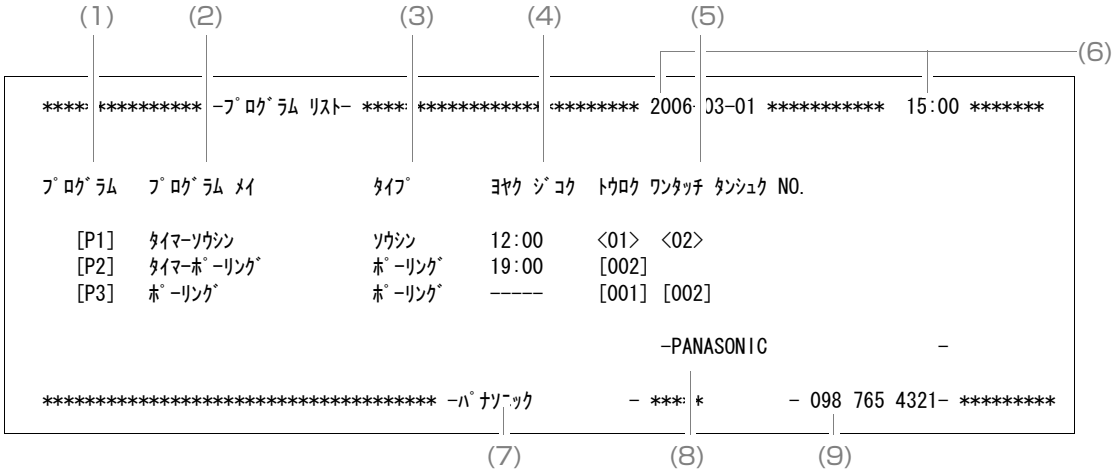
が表示され、プログラムリストが印刷される

- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

プログラムリストの見かた

プログラムリストには、次の項目が表示されます。

【リスト例】



No.	項目名	説明
(1)	プログラム	プログラムボタンの番号です。
(2)	プログラム名	プログラム名です（15文字まで）。
(3)	タイプ	プログラムの登録内容です。 ・ソウシン : 送信 ・ポーリング : ポーリング ・グループ : プログラムボタンをグループダイヤルとして登録した場合 ・ワンタッチ : プログラムボタンをワンタッチダイヤルとして登録した場合
(4)	予約時刻	通信の予約時刻です。
(5)	登録ワンタッチ 短縮No.	通信の宛先です。 ＜2桁の番号＞ : ワンタッチダイヤル番号です。 ［3桁の番号］ : 短縮ダイヤル番号です。
(6)	日付、時刻	レポートを印刷した日付と時刻です。 レポートが複数枚ある場合は、右側にページ番号が記載されます。
(7)	文字ID	文字IDとして登録した会社名や自分の名前です（16文字まで）。
(8)	発信元	発信元として登録した会社名や自分の名前です（25文字まで）。
(9)	数字ID	数字IDとして登録したファクスの電話番号です（20桁まで）。

システム登録リスト

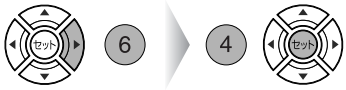
システム登録の登録内容を記載したリストを印刷できます。

システム登録リストの印刷

お知らせ

- アクセスコードが設定されている場合は、パスワードの入力が必要です。
- システム登録の[176　モデムダイヤルインルーティング]が[あり]に設定されている場合は、2 ページとして、ルーティングモデムダイヤルインリストが印刷されます。

1　システム登録リストのメニューを表示する



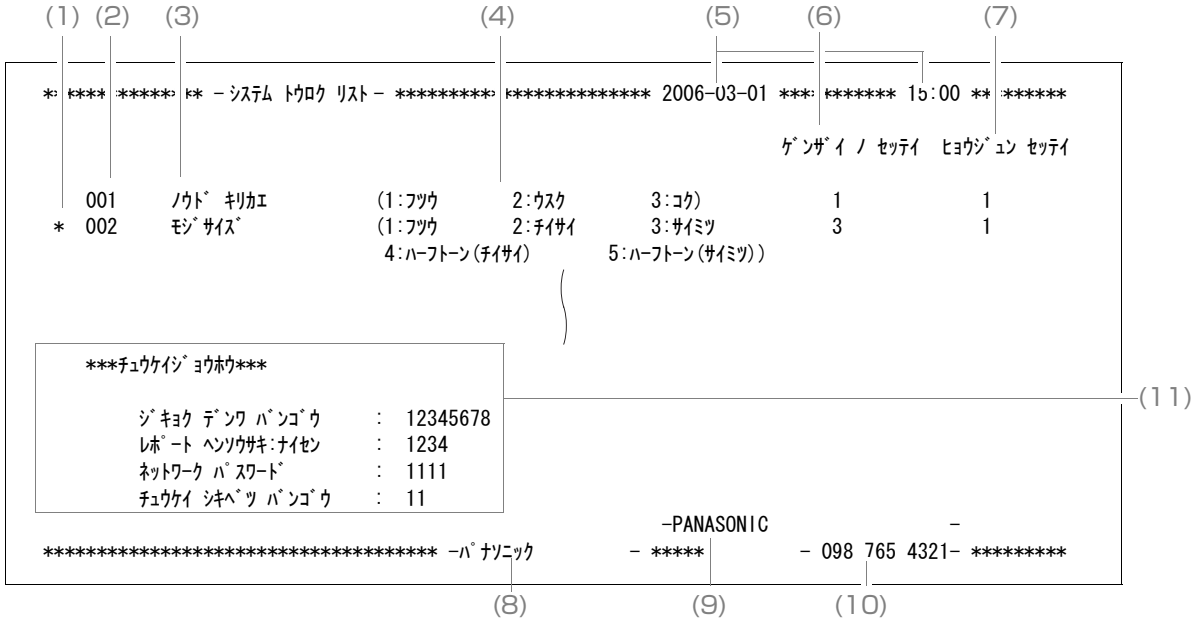
⇨ ＊ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ ＊
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ ﾘｽﾄ
が表示され、システム登録リストが印刷される

- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

システム登録リストの見かた

システム登録リストには、次の項目が記載されます。

【リスト例】



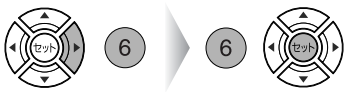
No.	項目名	説明
(1)	設定の変更	標準設定が変更されている項目に＊が付きます。
(2)	項目番号	システム登録の番号です。
(3)	設定項目	システム登録の項目名です。
(4)	選択肢	各項目の選択肢です。
(5)	日付、時刻	レポートを印刷した日付と時刻です。
(6)	現在の設定	現在の設定値です。[----]は、パスワードが設定されていないことを表します。 パスワードが設定されている場合は、パスワードが記載されます。
(7)	標準設定	お買い上げ時の標準設定です。
(8)	文字ID	文字IDとして登録した会社名や自分の名前です(16文字まで)。
(9)	発信元	発信元として登録した会社名や自分の名前です(25文字まで)。
(10)	数字ID	数字IDとして登録したファクスの電話番号です(20桁まで)。
(11)	中継情報	中継情報が記載されます。

送信レポート

最新の送信の結果を記載したレポートを印刷できます。

送信レポートの印刷

1 送信レポートを印刷する



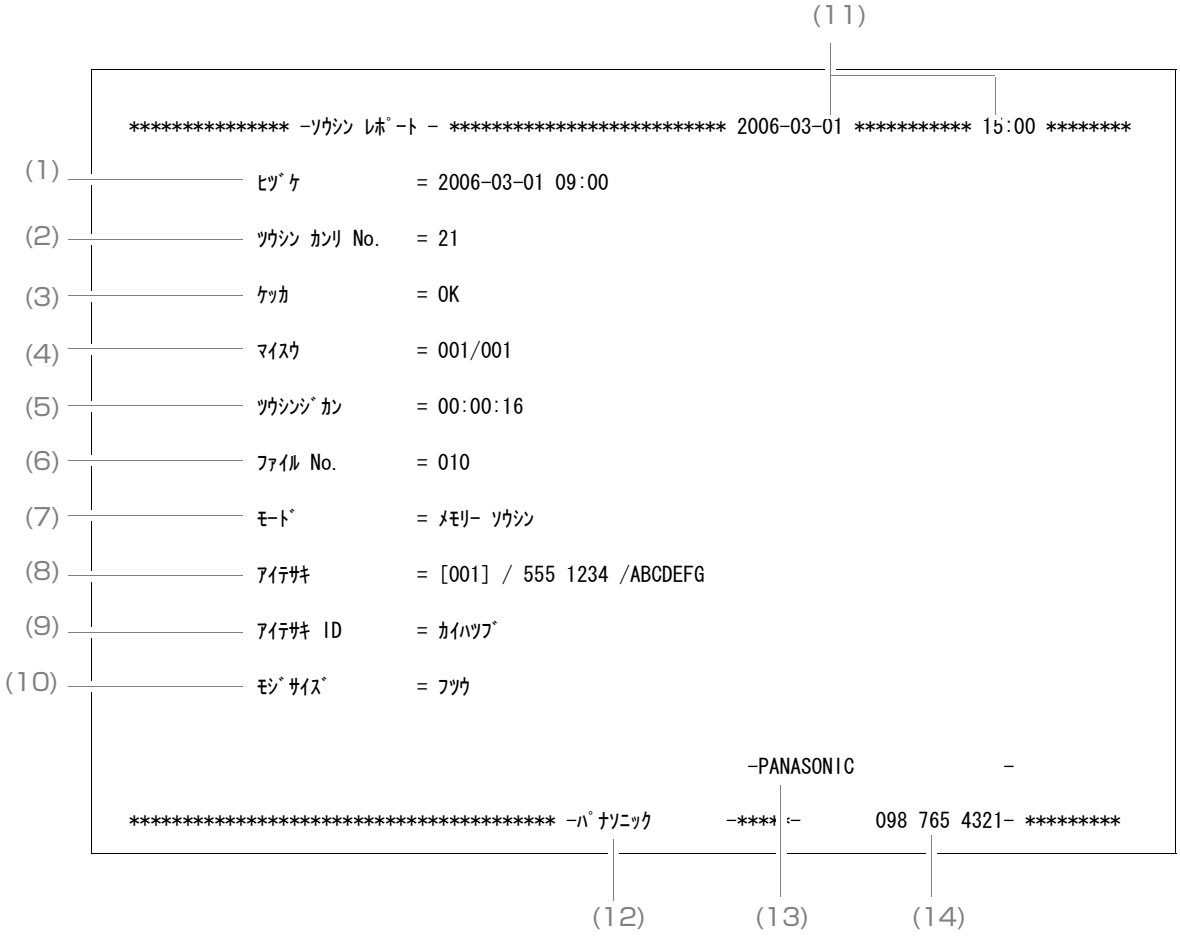
⇨ ＊ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ ＊
ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ
が表示され、送信レポートが印刷される

- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

送信レポートの見かた

送信レポートには次の項目が記載されます。

【レポート例】



送信レポート(つづき)

No.	項目名	説明
(1)	日付	通信をした日付です。
(2)	通信管理NO.	レポート上の番号です。
(3)	結果	送信の結果です。次のいずれかが記載されます。 ·OK : 通信が正常に終了しました。 ·OK1 : IP回線を使って正常に終了しました。 ·OK2 : IP-PSTN(一般電話回線)を使って正常に終了しました。 ·OK3 : PSTN-PSTNを使って正常に終了しました。 ·ビジー : 回線が使用中 でした。 ·テイシ : 通信中に ストップ が押されました。 ·B－OK : 複数の通信予約ファイルが、同じ宛先に一括送信されました。 ·P－OK : 原稿を読み込み中にメモリーがオーバーフローしたか、または原稿がつまりました。読み込み済み原稿の送信は終了しています。 ·R－OK : 親展通信が終了しました。 ·4桁エラーコード : 通信エラーが発生しました。 ☞エラーコードが表示されたら(p.140)
(4)	枚数	送信をした枚数です。 ·3桁の数字 ダイレクト送信、クイックメモリー送信で送信できたページ、および受信できたページ数です。 ·3桁の数字/3桁の数字 メモリー送信の場合に、送信できたページ数/メモリーに蓄積したページ数の形式で記載されます。 ＊が記載されている場合は、相手機が異常のときです。
(5)	通信時間	送信にかかった時間です。
(6)	ファイルNo.	通信を受け付けたときに自動的に付く番号です(001～999)。
(7)	モード	次のいずれかが記載されます。 ·ソウシン : ダイレクト送信 ·メモリーソウシン : メモリー送信、またはクイックメモリー送信 ·アテサキイッカツソウシン : 宛先別一括送信 ·シンテンソウシン : 親展送信 ·メモリーシンテンソウシン : メモリー親展送信 ·シンテンファイル : 親展ポーリング送信 ·メモリー ポーリング ソウシン : メモリーポーリング送信 ·メモリーテンソウ : メモリー転送 ·ルーティング : ルーティング(数字ID、サブアドレス、発番号、モデムダイヤルイン) ·チュウケイ ソウシン : 中継送信 ·タイマー　ソウシン : ダイレクトタイマー送信 ·メモリー　タイマー　ソウシン : メモリータイマー送信
(8)	相手先	宛先名と電話番号が記載されます。 ·宛先名 : ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの宛先名です。 ·電話番号 : ダイヤルした電話番号です。
(9)	相手先ID	相手の文字ID、または数字IDです。
(10)	文字サイズ	設定した文字サイズです。
(11)	日付、時刻	レポートを印刷した日付と時刻です。
(12)	文字ID	文字IDとして登録した会社名や自分の名前です(16文字まで)。
(13)	発信元	発信元として登録した会社名や自分の名前です(25文字まで)。
(14)	数字ID	数字IDとして登録したファクスの電話番号です(20桁まで)。

通信管理レポート

通信管理レポートは、最新の40通信分の通信結果(送信・受信)が記録されたレポートで、40通信ごとに、自動的に印刷されます。また、必要に応じて、手動で通信管理レポートを印刷したり、ディスプレイ上で通信結果を確認することもできます。

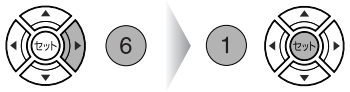
ここでは、通信管理レポートを手動で印刷する操作、ディスプレイで通信結果を確認する操作、および通信管理レポートの見かたを説明します。

お知らせ

- システム登録の[13 通信管理レポート]が[あり]に設定されている場合は、自動的に印刷されます。
  お買い上げ時、[13 通信管理レポート]は、[あり]に設定されています。
  設定を変更する場合
  ☞システム登録一覧の[13 通信管理レポート](p.116)

通信管理レポートの手動印刷

1 通信管理レポート印刷のメニューを表示する



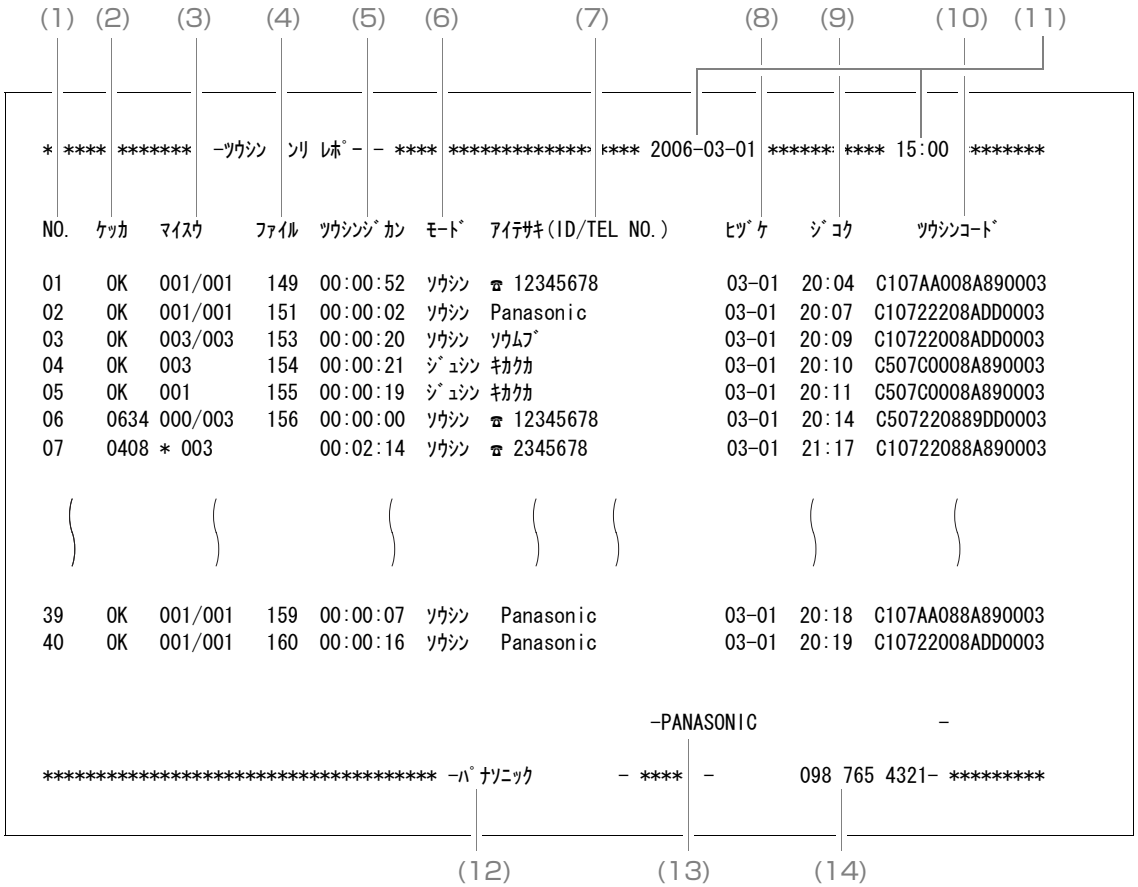
⇨ ＊ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ ＊
ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ
が表示され、通信管理レポートが印刷される

- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

通信管理レポートの見かた

通信管理レポートには、次の項目が表示されます。

【レポート例】



通信管理レポート(つづき)

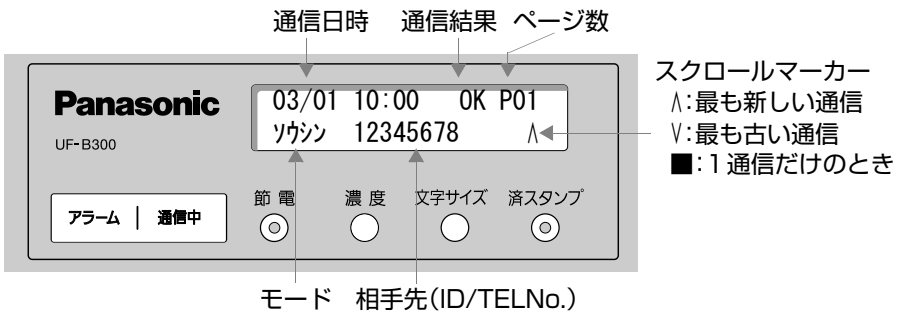
No.	項目名	説明
(1)	NO.	レポート上の番号です。
(2)	結果	送信や受信の結果です。次のいずれかが記載されます。 ·OK : 通信が正常に終了しました。 ·OK1 : IP回線を使って正常に終了しました。 ·OK2 : IP-PSTN(一般電話回線)を使って正常に終了しました。 ·OK3 : PSTN-PSTNを使って正常に終了しました。 ·ビジー : 回線が使用中 でした。 ·テイシ : 通信中に ストップ が押されました 。 ·B－OK : 複数の通信予約ファイルが、同じ宛先に一括送信されました。 ·M－OK : メモリー受信が終了しました。 ·P－OK : 原稿を読み込み中にメモリーがオーバーフローしたか、または原稿がつまりました。読み込み済み原稿の送信は終了しています。 ·R－OK : 親展通信が終了しました。 ·4桁エラーコード : 通信エラーが発生しました。 ☞エラーコードが表示されたら(p.140)。
(3)	枚数	送信や受信をした枚数です。 ·3桁の数字 ダイレクト送信、クイックメモリー送信で送信できたページ、および受信できたページ数です。 ·3桁の数字/3桁の数字 メモリー送信の場合に、送信できたページ数/メモリーに蓄積したページ数の形式で記載されます。 ＊が記載されている場合は、相手機が異常のときです。
(4)	ファイル	通信を受け付けたときに自動的に付く番号です(001～999)。
(5)	通信時間	送信や受信にかかった時間です。
(6)	モード	次のいずれかが記載されます。 ·ソウシン : 送信 ·ジュシン : 受信 ·PRX : ポーリング受信 ·PTX : ポーリング送信 ·テンソウ : メモリー転送
(7)	相手先 (ID/TEL No.)	次のいずれかが記載されます。 ·宛先名 : ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの宛先名、または相手の文字IDや数字IDです。 ·☎電話番号 : ダイヤルした電話番号です。
(8)	日付	通信をした日付です。
(9)	時刻	通信をした時刻です。
(10)	通信コード	サービスマン用のコードです。
(11)	日付、時刻	レポートを印刷した日付と時刻です。
(12)	文字ID	文字IDとして登録した会社名や自分の名前です(16文字まで)。
(13)	発信元	発信元として登録した会社名や自分の名前です(25文字まで)。
(14)	数字ID	数字IDとして登録したファクスの電話番号です(20桁まで)。

ディスプレイ上で通信結果を確認する

お知らせ

- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。

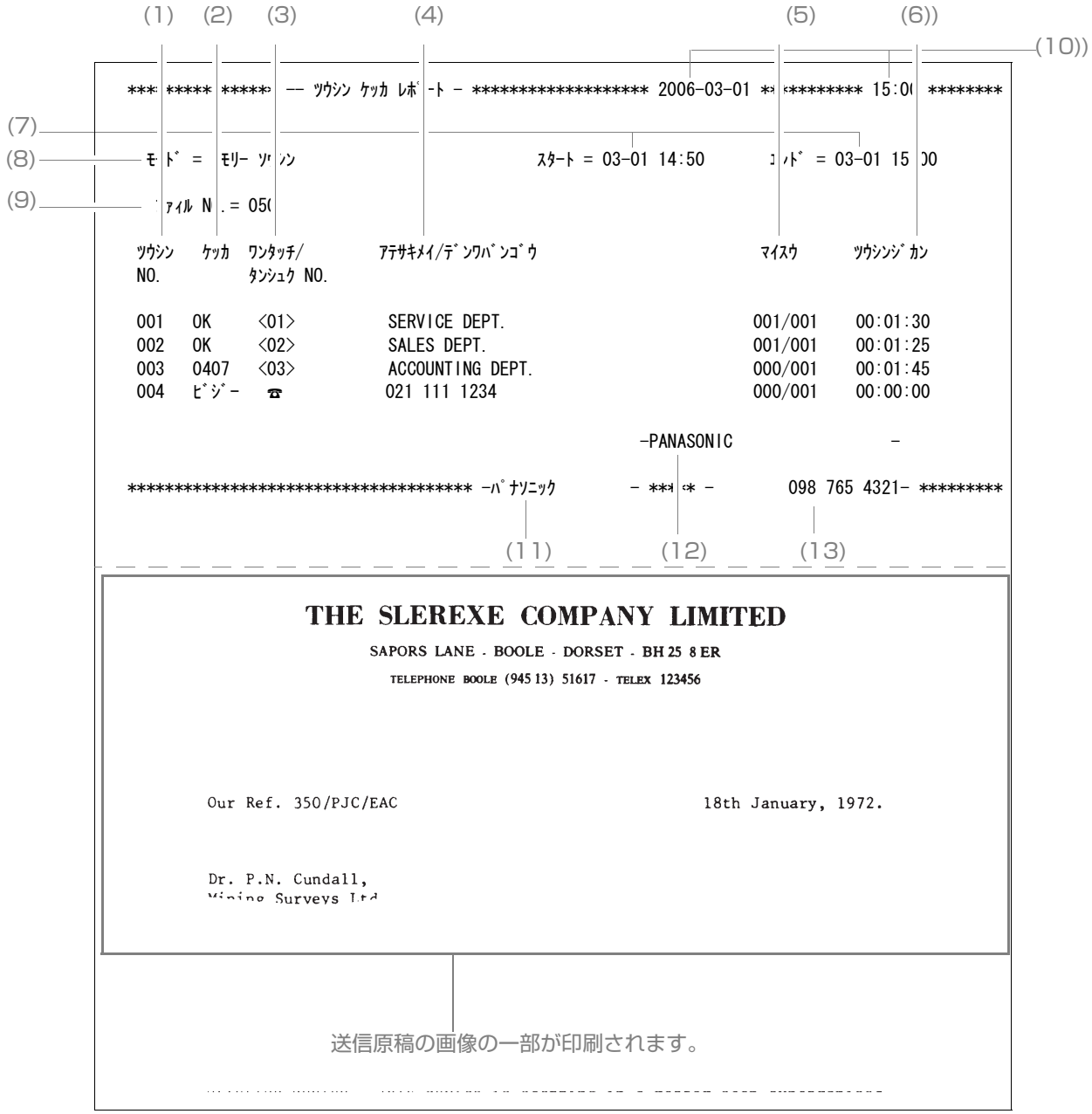
1	**ディスプレイ確認のメニューを表示する** セット 6 → 1 セット → 2 を押す	
2	**確認したい項目を選択する** 次のどちらかをテンキーで入力する 1：送信のみ（送信だけを確認するとき） 2：すべて　（送信と受信の両方を確認するとき）	
3	**確認したい通信を表示する** セット を押す ⇨ 03/01 10:00　OK P01 ｿｳｼﾝ　12345678　∧ が表示される	



通信結果レポート

通信結果レポートは、通信の終了時に印刷される通信結果が記録されたレポートです。
システム登録の[12 通信結果レポート]が、[全て]または[未通信]に設定されている場合に印刷されます。
ここでは、通信結果レポートの見かたを説明します。

【レポート例】



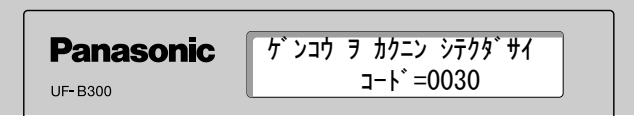
お知らせ

- お買い上げ時、システム登録の[12 通信結果レポート]は[未通信]に設定されています。
  送信できた場合/できなかった場合、どちらの場合にも通信結果レポートを印刷するように変更できます。
  ☞システム登録一覧の[12 通信結果レポート](p.116)
- メモリー送信をした場合、通信エラーなどで未通信になったときは、通信結果レポートに、送信した文書の1ページ目の画像が記載されます。ダイレクト送信の場合は、記載されません。

No.	項目名	説明
(1)	通信NO.	レポート上の番号です。
(2)	結果	送信の結果です。次のいずれかが記載されます。 ·OK : 通信が正常に終了しました。 ·OK1 : IP回線を使って正常に終了しました。 ·OK2 : IP-PSTN(一般電話回線)を使って正常に終了しました。 ·OK3 : PSTN-PSTNを使って正常に終了しました。 ·ビジー : 回線が使用中 でした。 ·テイシ : 通信中に ストップ が押されました 。 ·B－OK : 複数の通信予約ファイルが、同じ宛先に一括送信されました。 ·P－OK : 原稿を読み込み中にメモリーがオーバーフローしたか、または原稿がつまりました。読み込み済み原稿の送信は終了しています。 ·R－OK : 親展通信が終了しました。 ·4桁エラーコード : 通信エラーが発生しました。 エラーコードについて ☞エラーコードが表示されたら(p.140)。
(3)	ワンタッチ/短縮No.	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの番号です。
(4)	宛先名/電話番号	次のいずれかが記載されます。 ·宛先名 : ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの宛先名です。 ·☎電話番号 : ダイヤルした電話番号です。
(5)	枚数	送信や受信をした枚数です。 ·3桁の数字 ダイレクト送信、クイックメモリー送信で送信できたページ、およびポーリング受信できたページ数です。 ·3桁の数字/3桁の数字 メモリー送信の場合に、送信できたページ数/メモリーに蓄積したページ数の形式で記載されます。 ＊が記載されている場合は、相手機が異常のときです。
(6)	通信時間	送信や受信にかかった時間です。 複数の通信予約ファイルが同じ宛先に一括送信された場合、「バッチ」と表示されます。
(7)	スタート エンド	スタート : 通信を開始した時刻です。 エンド : 通信が終了した時刻です。
(8)	モード	次のいずれかが記載されます。 ·ソウシン : ダイレクト送信 ·メモリーソウシン : メモリー送信、クイックメモリー送信 ·アテサキイッカツソウシン : 宛先別一括送信 ·シンテンソウシン : 親展送信 ·メモリーシンテンソウシン : メモリー親展送信 ·ポーリング : ポーリング受信 ·メモリーテンソウ : メモリー転送 ·ルーティング : ルーティング(数字ID、サブアドレス、発番号、モデムダイヤルイン) ·チュウケイ ソウシン : 中継送信 ·タイマー ソウシン : ダイレクトタイマー送信 ·メモリー タイマー ソウシン : メモリータイマー送信 ·タイマー ポーリング ジュシン : タイマーポーリング受信 ·シンテン ポーリング ジュシン : 親展ポーリング受信
(9)	ファイルNo.	通信を受け付けたときに自動的に付く番号です(001～999)。
(10)	日付、時刻	レポートを印刷した日付と時刻です。
(11)	文字ID	文字IDとして登録した会社名や自分の名前です(16文字まで)。
(12)	発信元	発信元として登録した会社名や自分の名前です(25文字まで)。
(13)	数字ID	数字IDとして登録したファクスの電話番号です(20桁まで)。

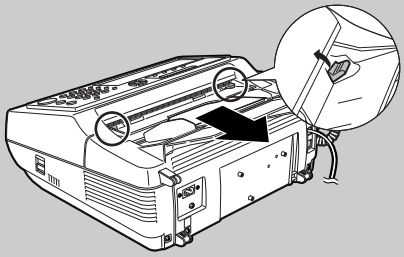
原稿がつまったら

原稿がつまると、ディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

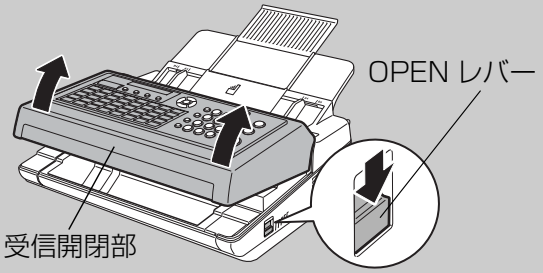
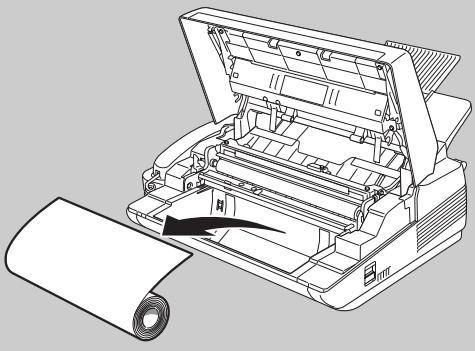


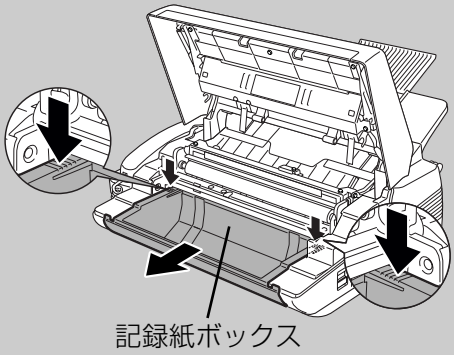
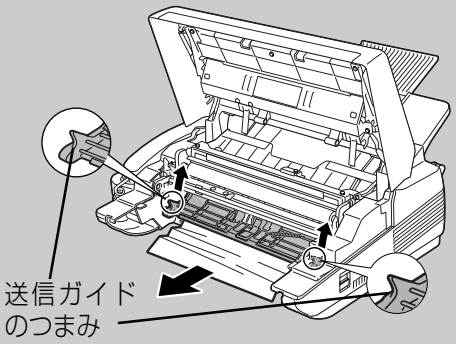
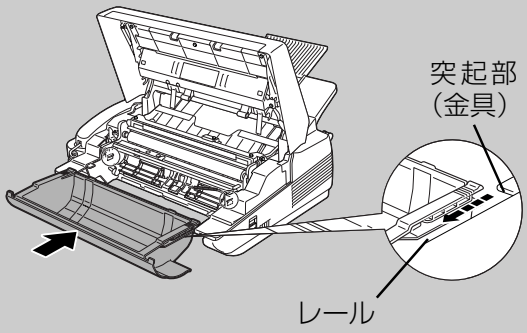
次の手順で、つまった原稿を取り除いてください。

つまった原稿をつかめるとき

1	原稿台の両端にある白いレバーを、「パチン」と音がするまで引き上げる	
2	つまった原稿を取り除く	
3	「パチン」と音がするまで両端の白いレバーを押し下げる	● 白いレバーは、止まるところまでしっかり押し下げてください。 ● 両方のレバーを下げないと、原稿がつまる場合があります。

つまった原稿がつかめないとき

1	OPEN レバーを押し下げ、受信開閉部を開く	
2	記録紙を取り除く	

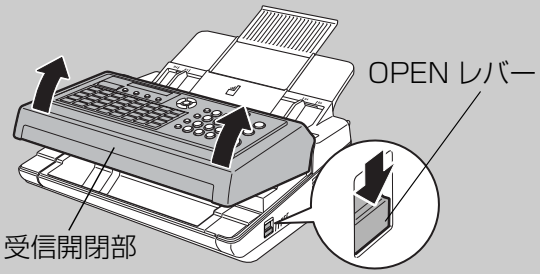
3	**記録紙ボックスを引き出す** **記録紙ボックス両側にある を押しながら、記録紙ボックスを引き出す**	
4	**送信ガイド両端のつまみを引き上げ、つまった原稿を取り除く**	● 原稿台側の白いレバーが上がった状態で、送信ガイドを引き上げることはできません。白いレバーは、確実に押し下げておいてください。 
5	**送信ガイドを押し下げ、元の位置に戻す**	
6	**記録紙ボックスをセットする** **記録紙ボックスの溝（レール）と本体の突起部（金具）を合わせる**	
7	**記録紙をセットし、受信開閉部を閉じる** **受信開閉部の中央に手をあて、「カチッ」と音がするまで閉める** ⇨ 記録紙が自動的にカットされる	☞記録紙をセットする（p.21）

原稿がつまったら(つづき)

自動給紙圧を調整する

原稿がつまったり、正常に読み込まれない場合は、次の手順で自動給紙圧を調整してください。

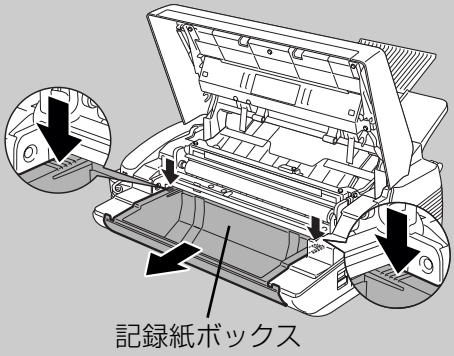
1 **OPEN レバーを押し下げ、受信開閉部を開く**



2 **記録紙を取り除く**

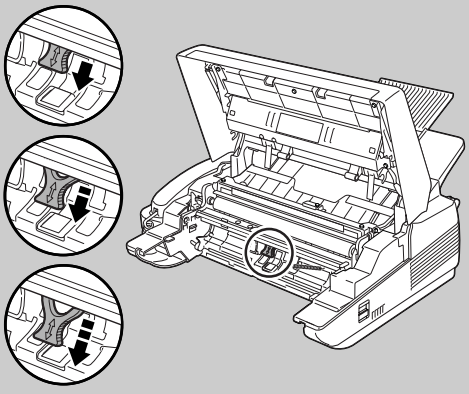
3 **記録紙ボックスを引き出す**

- 記録紙ボックス両側にある☰を押しながら、記録紙ボックスを引き出します。



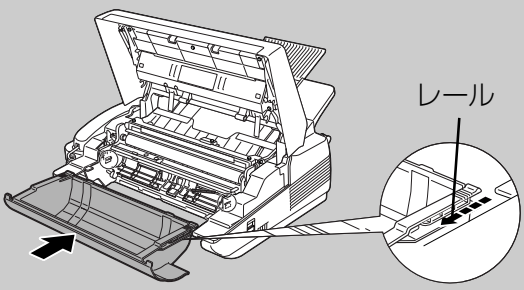
4 **青色のつまみを上下に移動し、圧力を調整する**

・原稿が何枚も一度に読み込まれるとき: 上
・通常の場合: 中
・原稿を読み込めないとき: 下



5 **記録紙ボックスをセットする**

記録紙ボックスのレールと本体の突起部を合わせる



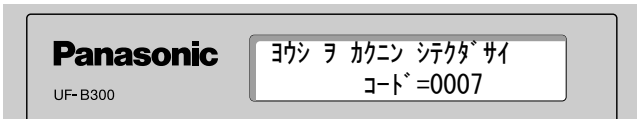
6 **記録紙をセットし、受信開閉部を閉じる**

受信開閉部の中央に手をあて、「カチッ」と音がするまで閉める
⇨ 記録紙が自動的にカットされる

☞記録紙をセットする(p.21)

記録紙がつまったら

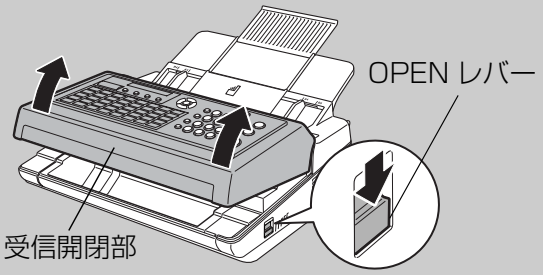
記録紙がつまると、ディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。
次の手順に従って、記録紙を交換してください。



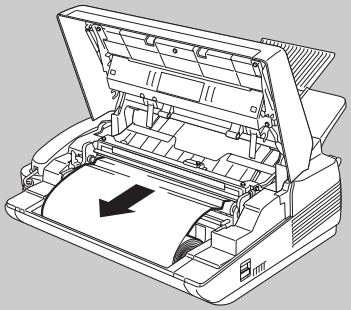
お知らせ

- 排紙枚数が100枚を超えると記録紙がつまる場合があります。
  排紙された紙は適宜取り除いてください。

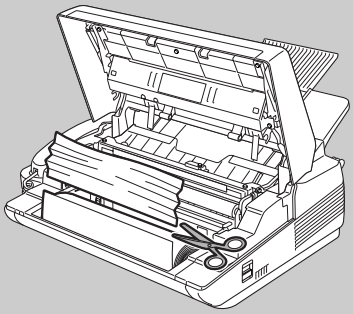
1 OPENレバーを押し下げ、受信開閉部を開く



2 右図の矢印の方向に記録紙を引っ張る



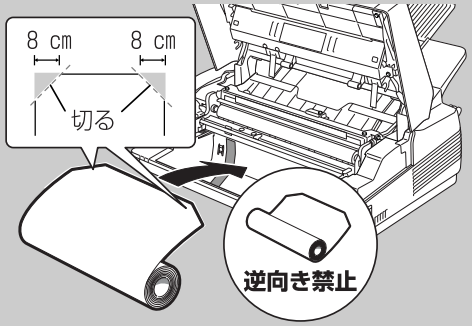
3 記録紙のシワになった部分を、ハサミなどで切り取る



4 記録紙をセットする

- 記録紙がセットしづらいときは、両端を右図のように8 cm以上切ってからセットしてください。

- 記録紙の巻き方向は下図を参照してください。



☞記録紙をセットする(p.21)

5 受信開閉部を閉じる

受信開閉部の中央に手をあて、「カチッ」と音がするまで閉める
⇨ 記録紙が自動的にカットされる

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは、次の項目をチェックしてください。

お知らせ

- 万一、本機が故障した場合には、本機が自動的に当社指定のサービス実施会社に障害状況を連絡する機能（チェック＆コール）があります。
  詳しくはサービス実施会社へご相談ください。

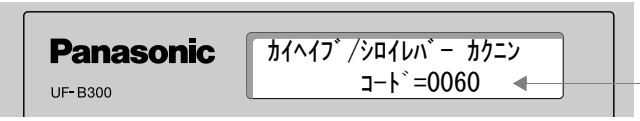
こんなときには	現象	対処方法	参照先
送信中	原稿が読み込まれない 複数枚同時に読み込まれる	1. 原稿にステープルの針やクリップがついていないこと、また汚れや破れのないことを確認してください。 2. 原稿が正しくセットされていることを確認してください。 3. 自動給紙圧を調整してください。 4. 原稿台の両端にある白いレバーが下がっていることを確認してください。	☞原稿をセットする（p.27） ☞自動給紙圧を調整する（p.136） ☞原稿がつまったら（p.134）
	済スタンプが押されない	システム登録の[04 済スタンプ]、および[28 メモリー済スタンプ]の設定を確認してください。	☞システム登録一覧の[04 済スタンプ]（p.115） ☞システム登録一覧の[28 メモリー 済スタンプ]（p.117）
	済スタンプが薄すぎる	済スタンプのインクを補充するか、または済スタンプを交換してください。	☞済スタンプのインクを補充する/交換する（p.149）
	送信した原稿に受信側で縦線が入る	本機でコピーをし、画質を確認してください。コピーに問題がない場合、本機は正常です。異常が発生している受信側に報告をしてください。 コピーに問題がある場合は、サービス実施会社までご連絡ください。	☞コピーする（p.32）
	送信した原稿が、受信側で白紙として出てくる	1. 原稿が正しくセットされていることを確認してください。 2. 本機でコピーをし、画質を確認してください。コピーに問題がない場合、本機は正常です。異常が発生している受信側に報告をしてください。 コピーに問題がある場合は、サービス実施会社までご連絡ください。	☞原稿をセットする（p.27） ☞コピーする（p.32）
	原稿づまり	1. 原稿がつまった場合は、エラーコードがディスプレイに表示されます。つまった原稿を取り除いてください。 2. 1 m を超える原稿の場合は、送信できないことがあります。 原稿の長さを確認してください。	☞原稿がつまったら（p.134） ☞原稿について（p.28）
受信中	記録紙切れ	記録紙がなくなった場合は、エラーメッセージがディスプレイに表示されます。記録紙を補給してください。	☞記録紙をセットする（p.21）
	記録紙づまり	記録紙がつまった場合は、エラーコードがディスプレイに表示されます。つまった記録紙を取り除いてください。	☞記録紙がつまったら（p.137）
	記録紙が送り込まれない	記録紙が正しくセットされていることを確認してください。	☞記録紙をセットする（p.21）
	印刷終了時に記録紙が排出されない	記録紙がつまっていないかを確認してください。	☞記録紙がつまったら（p.137）
	画像の片側が半分だけかすれる	受信開閉部がしっかり閉じられていない場合があります。受信開閉部の中央に手をあて、「カチッ」と音がするまで閉めてください。	
	受信できない	外部電話機のメモリーが一杯になると、本機で受信できないことがあります。 外部電話機の説明書を参照して、メモリーの空き容量を増やしてください。	

こんなときには	現象	対処方法	参照先
通信中	発信音が聞こえない	1. 電話回線の接続を確認してください。 2. 電話回線の設定を確認してください。	☞電話回線を確認する(p.146) ☞設置する/各部の名前とはたらき(p.12)
	自動受信しない	1. 電話回線の接続を確認してください。 2. 受信モードの設定を確認してください。 3. システム登録の[13 通信管理レポート]を[あり]に設定している場合、受信原稿をメモリーから印刷しているときは、通信管理レポートの印刷が終了するまで自動受信は有効になりません。	☞設置する/各部の名前とはたらき(p.12) ☞ファクスの受けかたを選ぶ(p.46) ☞システム登録一覧の[13 通信管理レポート](p.116)
	送受信ができない	ディスプレイにエラーコードが表示されます。エラーコード表を参照して原因を特定してください。	☞エラーコードが表示されたら(p.140)
コピー中	原稿が読み込まれない 複数枚同時に読み込まれる	1. 原稿にステープルの針やクリップがついていないこと、また汚れや破れのないことを確認してください。 2. 原稿が正しくセットされていることを確認してください。 3. 自動給紙圧を調整してください。 4. 原稿台の両端にある白いレバーが下がっていることを確認してください。	☞原稿をセットする(p.27) ☞自動給紙圧を調整する(p.136) ☞原稿がつまったら(p.134)
	コピーできない	記録紙が正しくセットされていることを確認してください。	☞記録紙をセットする(p.21)
	コピーした記録紙が白紙になる	1. 原稿の向きを確認してください。原稿は下向きにセットしてください。 2. 記録紙の向きを確認してください。	☞原稿をセットする(p.27) ☞記録紙をセットする(p.21)
	コピーした記録紙の両端に赤い線が出る	記録紙がなくなりかけています。早めに新しい記録紙をセットしてください。	☞記録紙をセットする(p.21)
	コピーした記録紙に白や黒の線が入る	サービス実施会社までご連絡ください。	――
操作中	操作を受け付けない	本機の電源コードを抜き、数秒後に電源コードを接続してください。	――
	「セットデキマセン」と表示された	メモリーに蓄積されている通信予約ファイル数が50になると、それ以上原稿を蓄積できない状態になります。 不要な通信予約ファイルを消去するか、または空きができてから送信してください。	☞通信予約ファイルを消去する(p.95) ☞こんなメッセージが表示されたら(p.145)
	「ヘッドガ カネツ シテイマス」と表示された	印刷中に、ヘッドの温度が過熱しました。メッセージが消えるまで、このましばらくお待ちください。	☞こんなメッセージが表示されたら(p.145)

エラーコードが表示されたら

本機に異常が発生すると、ディスプレイにエラーコードが表示されます。

本機では、通信エラーが発生すると、再送機能がはたらき、エラーが発生したページが自動的に再送されます。再送後もやはりエラーコードが表示される場合は、次の表に従って対処してください。



エラーコード	エラーメッセージ	原因と処置	参照先
0001	ヨウシ ヲ カクニン シテクダサイ	記録紙を正しくセットしなおしてください。	☞記録紙をセットする(p.21)
0007	ヨウシ ヲ カクニン シテクダサイ	記録紙がつまりました。 つまった記録紙を取り除いてください。	☞記録紙がつまったら(p.137)
0010	ヨウシ ヲ セット シテクダサイ	記録紙がなくなりました。 記録紙をセットしてください。	☞記録紙をセットする(p.21)
0020	ソウチ カクニン	ヘッドの温度に異常があります。 ヘッドが故障している恐れがあります。 サービス実施会社までご連絡ください。	―――
0030	メモリー蓄積時: ゲンコウ ヲ カクニン シテクダサイ ダイレクト送信時: サイツウシン ガ ヒツヨウデス	原稿がつまりました。 1. 原稿を正しくセットし直してください。 2. 原稿づまりを取り除いてください。 3. 自動給紙圧を調整してください。	☞原稿をセットする(p.27) ☞原稿がつまったら(p.134) ☞自動給紙圧を調整する(p.136)
0031	メモリー蓄積時: ゲンコウ ヲ カクニン シテクダサイ ダイレクト送信時: サイツウシン ガ ヒツヨウデス	原稿が長すぎる(1 m を超えている)か、または原稿がつまっています。 1. 原稿を正しくセットし直してください。 2. 原稿づまりを取り除いてください。	☞原稿をセットする(p.27) ☞原稿がつまったら(p.134)
0042	ヨウシ ヲ カクニン シテクダサイ	カッターに異常が発生しました。 次の手順でカッターの位置を調整してください。 1. OPENレバーを押し下げ、受信開閉部を開く 2. 左側にある手動カッターローラーを回し、カッターの位置を調整する 3. 受信開閉部を閉じる ● 受信開閉部の中央に手をあて、「カチッ」と音がするまで閉める ⇨ 記録紙が自動的にカットされる	☞記録紙をセットする(p.21)
0055	ソウチ カクニン	本機の内部に異常があります。 電源コードを抜いて電源を切り、再度差し込んで下さい。 状態が変わらない場合は、サービス実施会社までご連絡ください。	―――

エラーコード	エラーメッセージ	原因と処置	参照先
0060	カイヘイブ/シロイレバー カクニン	受信開閉部が開いています。 受信開閉部を閉じてください。 原稿台の白いレバーが上がっています。 「パチン」と音がするまで、白いレバーを押し下げてください。	――
0212	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	ご使用の回線(IP電話網など)が良好ではないようです。エラーが頻発するようでしたら、サービス実施会社までご連絡ください。	――
0400	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	受信側が応答しなかったか、または通信エラーが発生しました。 1. 相手先に確認してください。 2. 原稿をセットし直し、再送します。	――
0401	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	次のいずれかが原因で、原稿を受信できません。 ・中継局に受信用パスワードが必要です。 ・中継局が送信側機器のID番号(電話番号)を要求しています。 中継局に確認してください。 ・相手機にセレクト受信が設定されてます。 本機の数字ID番号(電話番号)を登録してください。 ・相手機に受信パスワードが設定されています。 受信パスワードを設定してください。	――
0402	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	通信エラーが発生しました。 原稿をセットし直し、再送してください。	――
0403	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	相手先にポーリング機能がありません。 ポーリングを[あり]に設定するように相手先に連絡してください。	――
0404/0405	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	通信エラーが発生しました。 原稿をセットし直し、再送してください。	――
0406	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	次のいずれかが原因で通信できません。 ・ 送信パスワード/受信パスワードが一致しません。 ・ セレクト受信機能がはたらきました。 1. 送信パスワード、受信パスワードを確認してください。 2. ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルに登録されている電話番号を確認してください。 3. 相手先の数字IDを確認してください。	☞パスワードを使って送受信する(p.75) ☞ワンタッチダイヤル(p.99) ☞短縮ダイヤル(p.102) ☞プログラムボタンにワンタッチダイヤルを登録する(p.108)
0407	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	受信側から信号が得られません。 数分後に再送してください。	――
0408/0409	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	遠隔側からの信号が判読できません。 数分後に再送してください。	――
0410	――	送信側で、通信が打ち切られました。 相手先に確認してください。	――
0411	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	ポーリング用パスワードが一致しません。 ポーリング(受信)用パスワードを確認してください。	☞受信側からの指示で原稿を送信させる[ポーリング通信](p.70)

エラーコードが表示されたら(つづき)

エラーコード	エラーメッセージ	原因と処置	参照先
0412	―――	送信側からのデータが得られません。 相手先に確認してください。	―――
0414	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	ポーリング用パスワードが一致しません。 ポーリング(受信)用パスワードを確認してください。	☞受信側からの指示で原稿を送信させる[ポーリング通信](p.70)
0415	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	ポーリング送信エラーが発生しました。 ポーリング(送信)用パスワードを確認してください。	―――
0416/0417	―――	受信データに含まれるエラーが多すぎます。 相手先に確認してください。	―――
0420/0421	―――	送信側からのコマンドを受信できません。 1. 相手先の間違い電話の場合があります。 2. 相手先に確認してください。	☞ナンバー・ディスプレイの設定(p.147)
0422/0427	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	インターフェースに互換性がありません。 相手先に確認してください。	―――
0434	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	送信中に通信エラーが発生しました。 相手先に確認してください。	―――
0436/0490	―――	受信データに含まれるエラーが多すぎます。 相手先に確認してください。	―――
0459	―――	受信中に通信エラーが発生しました。相手先に確認してください。	―――
0494/0495	―――	受信中に回線が切断されました。 相手先に確認してください。	―――
0501/0502 0503	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	内蔵V.34モデムで通信エラーが発生しました。 相手先に確認してください。	―――
0504	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	ポーリング受信で送信側からデータが得られませんでした。 相手先に送信データがあるか確認してください。	―――
0505	―――	ポーリング送信エラーが発生しました。 送信データが蓄積されているか確認してください。	―――
0540/0541/ 0542/0543	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	送信中に通信エラーが発生しました。 1. 原稿をセットし直し、再送してください。 2. 相手先に確認してください。	―――
0550	―――	電話回線が切断されました。 相手先に確認してください。	―――
0554/0555	―――	受信中に通信エラーが発生しました。 相手先に確認してください。	―――
0580	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	サブアドレス機能をもたない相手に対し、サブアドレスを送信しました。 相手先を確認してください。	―――
0581	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	サブアドレス機能をもたない相手に対し、サブアドレスパスワードを送信しました。 相手先を確認してください。	―――
0623	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	原稿がセットされていません。 原稿をセットし直し、再送してください。	―――
0630	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	回線使用中で、再ダイヤルに失敗しました。 原稿をセットし直し、再送してください。	―――

エラーコード	エラーメッセージ	原因と処置	参照先
0634	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	相手先が無応答、電話番号が間違っている、再ダイヤルに失敗かのいずれかです。 ● ビジートーン(「ツーツー」という話し中の音)を検出できない場合、本機では、1回だけ再ダイヤルされます。 相手の電話番号を確認し、再送してください。	――
0638	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	通信中に停電が発生しました。 電源コードと電源プラグを確認してください。	☞設置する/各部の名前とはたらき(p.12)
0800	――	相手機から中継同報依頼をされました。 本機には中継局としての機能はありません。相手先に確認してください。	――
0814/0816/0825	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	中継機能をもたない相手機へ中継同報を指示しました。 相手先に中継機能がありません。相手先を確認してください。	――
0815	サイツウシン ガ ヒツヨウデス	親展ボックスが一杯になりました。 親展ボックスを確認してください。	☞親展ボックスを利用する[親展通信](p.65)
0870	メモリー オーバー	原稿をメモリーに蓄積している途中で、メモリーオーバーフローが発生しました。 [F8 セレクトモード]の[9 メモリー優先]を[オフ]に設定し、ダイレクト送信で送信してください。	☞メモリーに蓄積して送信する[メモリー優先](p.80) ☞こんなメッセージが表示されたら(p.145)

停電したら

停電中は、ファクスのディスプレイは消えています。ファクスを送ったり受けたりすることはできません。

項目			本機の状態
ファクス	·送受信中に停電したとき ·停電中	ファクス送信	ファクス送信は中止されます。停電復旧後、もう一度送信してください。 停電中は送信できません。
		ファクス受信	ファクス受信は中止されます。停電復旧後、相手の方にもう一度送信を依頼してください。 停電中は受信できません。
	停電から復旧したとき	ファクス送信	未通信のデータがある場合は、すぐに再送されます。
		メモリーの内容	メモリーに蓄積されている送信および受信データは保持されています。
		ファクスに登録/設定した内容	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルなどの登録内容、その他各種登録は、停電中も消えることなく保持されています。
本機の受話器	·通話中に停電したとき	相手の方と電話中	そのまま通話できます。
	·停電中	電話をかける 電話を受ける	通話できません。
外部電話接続時	·通話中に停電したとき	相手の方と電話中	お使いの電話機の仕様をご確認ください。
	·停電中	電話をかける 電話を受ける	

お知らせ

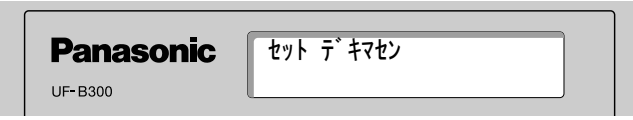
- 原稿を読み取り中に停電した場合は、読み取りは中断されます。停電復旧後、もう一度読み取りをしてください。ファクス送信時、原稿読み取り後のメモリー送信中に停電した場合は、停電復旧後、直ちに再送信されます。
- 上記の内容は一般電話回線(公衆回線)に接続されている場合です。電話交換機(PBX)などに接続されている場合は、お使いの機器の仕様をご確認ください。

こんなメッセージが表示されたら

ディスプレイに次のようなメッセージが表示されることがあります。
このような場合は、下記の説明に従って操作をしてください。

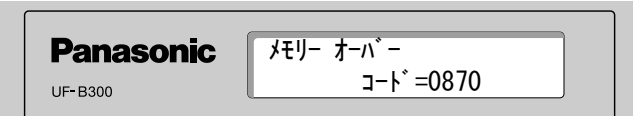
「セットできません」と表示されたら

メモリーに蓄積されている通信予約ファイル数が50になると、次の画面が表示され、それ以上原稿を蓄積できません。
この場合は、不要な通信予約ファイルを消去するか、または空きができてから送信してください。
☞通信予約ファイルを消去する(p.95)

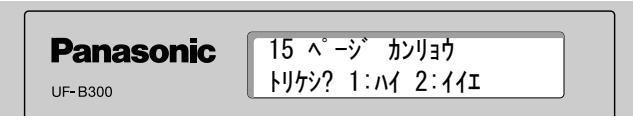


「メモリーオーバー」と表示されたら

複数の宛先を指定している場合、原稿の読み込み中にメモリー容量が一杯になると、ディスプレイにメモリーオーバーのメッセージとエラーコードが表示されます。



このとき、メモリーに蓄積されている原稿を送信するか、または送信をキャンセルするかを問い合わせる画面が表示されます。



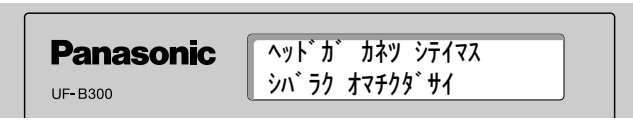
送信する場合は (2) を、キャンセルする場合は (1) をテンキーで入力します。
(上の画面は 15ページの読み込みが完了した場合の例です。)

お知らせ

- 10秒以内に操作をしないと、メモリーに蓄積されている原稿の送信が開始されます。

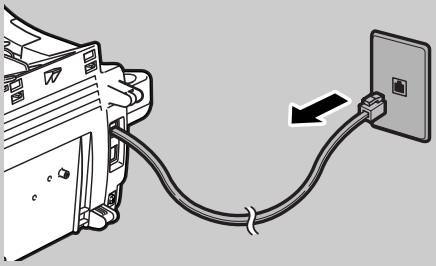
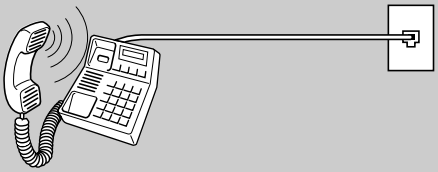
「ヘッドが過熱しています」と表示されたら

印刷中に、ヘッドの温度が上がると、ディスプレイにヘッドが過熱したことを示すメッセージ表示されます。メッセージが消えるまで、このまましばらくお待ちください。



電話回線を確認する

モニター
◯ を押しても「ツー」という電話回線上の音が聞こえない場合や、受信できない場合は、次の手順で電話回線を確認してください。

1	電話コンセントから、本機の回線コードを抜く	
2	一般の電話機の回線コードを、電話コンセントに差し込む	
3	受話器を上げ、「ツー」という回線上の音が聞こえるかどうかを確認する	 ● 回線上の音が聞こえない場合は、最寄りのNTTにお問い合わせいただくか、サービス実施会社にご連絡ください。

接続できないとき

ナンバー・ディスプレイの設定

ナンバー・ディスプレイ(発信者番号通知)を契約している場合は、システム登録の[175 発番号ルーティング]を[あり]に設定する必要があります。
次の手順で設定してください。

お知らせ

- ☞システム登録一覧の[175 発番号 ルーティング](p.122)
- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。
- 本機はナンバーディスプレイ対応はしておりません。相手機の電話番号はディスプレイに表示されません。

1	**システム登録のメニューを表示する** セット 7 → 4 セット を押す	
2	**システム登録番号を入力する** テンキーで 1 7 5 と入力し、セット を押す ⇨ 175 ﾊﾂﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ 1:ﾅｼ が表示される	
3	**設定を変更する** テンキー 2 を入力し、セット を押す	● を押すと、システム登録のひとつ後の項目が表示されます。
4	**システム登録を終了する** ストップ を押す	

接続できないとき(つづき)

ダイヤルイン機能の設定

モデムダイヤルインサービスを契約している場合は、システム登録の[176 モデムダイヤルインルーティング]を[あり]に設定する必要があります。
次の手順で設定してください。

お知らせ

- ☞システム登録一覧の[176 モデムダイヤルインルーティング](p.122)
- 誤って入力した場合は、ストップ を押して始めからやり直してください。
- 本機はダイヤルインによるファクスと電話の使い分けなどの対応はしておりません。

1	**システム登録のメニューを表示する** セット 7 → 4 セット を押す	
2	**システム登録番号を入力する** テンキーで 1 7 6 と入力し、セット を押す ⇨ 176 ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ 1:ﾅｼ が表示される	
3	**設定を変更する** テンキー 2 を入力し、セット を押す ⇨ ﾓﾃﾞﾑ ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ (01-50) ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧ が表示される	
4	**01 から 50 の番号を入力する** テンキーで 01 ～ 50 のいずれかの番号を入力する (例) 0 1 と入力した場合 ⇨ ﾓﾃﾞﾑ ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ 01 ▌ が表示される	● セット を押して番号を選ぶこともできます。
5	**ダイヤルイン番号を入力する** テンキーでダイヤルイン番号を入力し、セット を押す ⇨ ﾓﾃﾞﾑ ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ 02 ▌ が表示される	● 続けて別のダイヤルイン番号を入力することができます。
6	**システム登録を終了する** ストップ を押す	

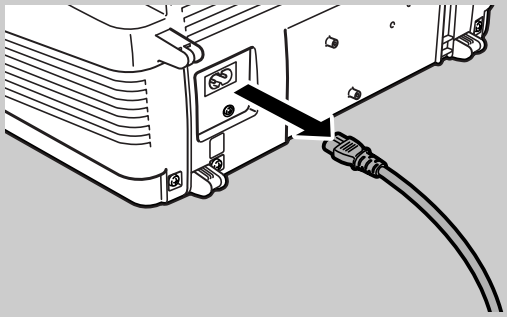
済スタンプのインクを補充する/交換する

済スタンプが薄くなった場合は、インクを補充します。
また、済スタンプがつぶれている場合は、新しい済スタンプに交換します。

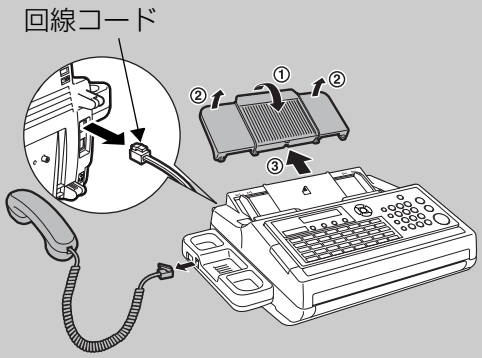
お知らせ

- 当社指定の済スタンプ、および補充インクをお使いください。
  ☞消耗品/仕様(p.158)
- 済スタンプのインクを補充 / 交換するときは、インクがこぼれないようにしてください。インクで手や衣服が汚れた場合はすぐに水で洗い流してください。

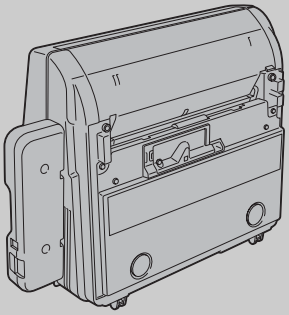
1 電源コードを抜く



2 回線コードと受話器のカールコードを抜き、補助原稿台を取り外す



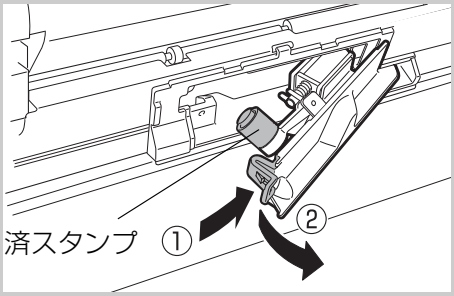
3 背面を下にして、本体をたてる



- 本体が倒れないように注意してください。

4 済スタンプを取り外す

- 右図のように押しながら開ける



押しながら開ける

- 新しい済スタンプに交換する場合は、新しい済スタンプを用意し、手順6に進みます。

次ページへ続く▶▶▶

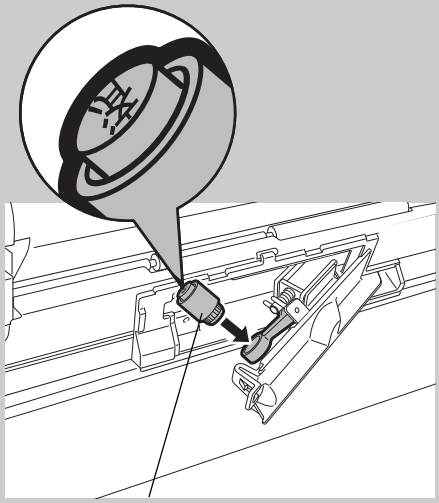
済スタンプのインクを補充する/交換する(つづき)

5 インクを補充する

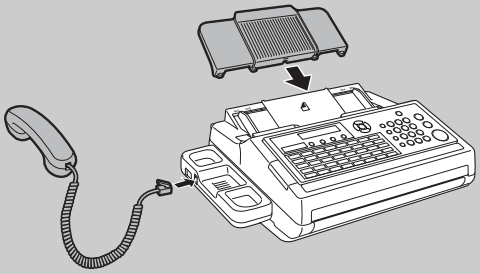
- 済スタンプを逆さまにし、インクを２～３滴補充する

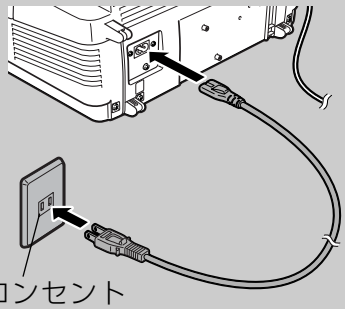
6 済スタンプを取り付ける

- 右図の向きに取り付ける



7 受話器と補助原稿台を取り付け、電源コードを差し込む





日常のお手入れ

本体ボディのお手入れ

定期的に本体ボディのお手入れをお願いします。

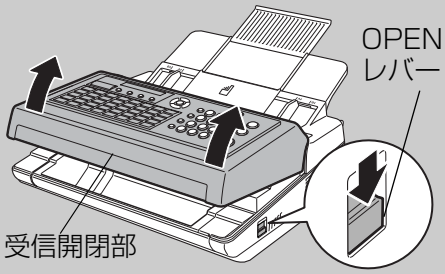
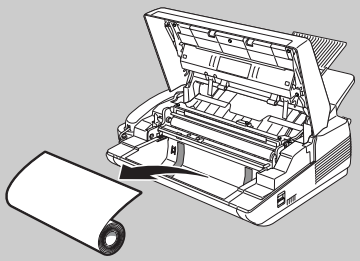
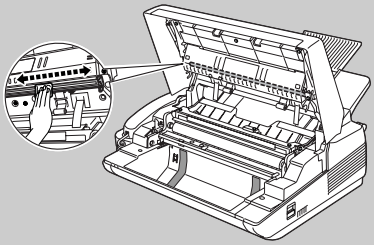
お知らせ

- 水拭きする場合は、布を固く絞ってください。
- 化学ぞうきんを使用する場合は、化学ぞうきんの注意書きに従ってください。
- みがき粉、粉石けん、ベンジン、シンナー、アルコール、ワックス、石油、熱湯などは絶対に使わないでください。変色、変形の恐れがあります。

柔らかい布に、薄めた台所用洗剤(中性)を含ませ、よく絞り、汚れを拭き取る

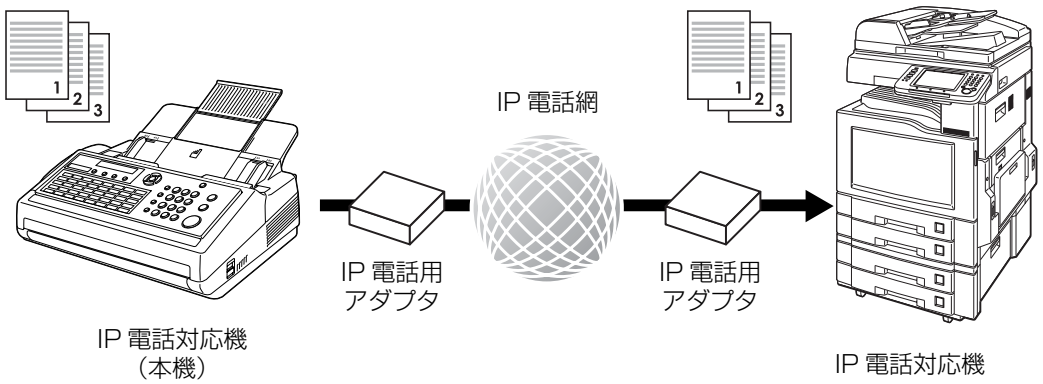
感熱ヘッドのお手入れ

受信／コピーした文書を正しく記録できるように、定期的に感熱ヘッドのお手入れをお願いします。

1	**OPEN レバーを押し下げ、受信開閉部を開く**	
2	**記録紙を取り出す**	
3	**感熱ヘッドを清掃する** ● ガーゼやきれいな布にアルコールを含ませ、感熱ヘッドを拭く	
4	**記録紙をセットし、受信開閉部を閉じる** **受信開閉部の中央に手をあて、「カチッ」と音がするまで閉める** ⇨ 記録紙が自動的にカットされる	☞記録紙をセットする(p.21)

IP電話サービスを利用する

本機では、IP電話サービスを利用してファクス通信できます。



IP電話サービス利用上の注意

- プロバイダが提供するIP電話サービスのご契約が必要です。

  ご利用になるプロバイダが、「IP 電話対応機器」に対応した IP 電話サービスを提供しているかどうか、事前にご確認ください。

- IP電話サービスのサービス内容は、プロバイダごとに異なります。
  - IP電話サービスのサービス内容・料金・提供条件・お申し込み方法などは、プロバイダにより異なります。各プロバイダにご確認ください。
  - IP電話サービスから発信できる番号は、各プロバイダにより異なります。
  - 「IP電話対応機器」をご利用のお客さま間でも、ご契約されたIP電話サービスが異なる場合は、IP電話サービスとして通信できない場合があります。

- 一般電話回線を接続しない場合、110番などにはつながらない場合があります。
  - 110番、118番、119番の電話番号へは、一般電話回線から自動的に発信されます。このため、一般電話回線が正しく接続されていないと、つながらない場合があります。
  - ご契約されたIP電話サービスが携帯電話やフリーダイヤルなどへの電話をサービス対象外としている場合は、一般電話回線から発信してください。

● IP電話サービスからの発信方法は、次表のとおりです。

相手の電話番号		発信に利用するサービス
一般の電話番号	例　03-1234-5678 06-1234-5678	IP電話サービスから発信できます。
050番号(IP電話)	例　050-XXXX-XXXX　＊	IP電話サービスから発信できます。
0X0(050以外)	例　携帯電話(090、080) PHS(070) 国際電話(010)など	ご契約されたIP電話サービスのサービス内容により異なります。 詳しくは各電話サービスのサービス内容をご確認ください。 【ダイヤルした番号がIP電話サービス対象の場合】 IP電話サービスから発信します。 【ダイヤルした番号がIP電話サービス対象外の場合】 一般電話回線から発信してください。
00XY	例　0036などで始まる ダイヤル	
0XY0 (市外局番以外)	例　0120、0570などで始まる ダイヤル	
その他のダイヤル (110、118、119以外)	――――	
110、118、119	110、118、119の緊急電話	一般電話回線から自動的に発信します。

＊「184 ＋電話番号」および「186 ＋電話番号」を含みます。

● IP電話サービスから発信できない／発信したくないとき

・ 一般電話回線から発信してください。

・ ネットワーク障害など何らかのトラブルにより、IP 電話サービスがご利用いただけない場合は、一般電話回線から発信してください。

● 発信者番号通知について

・ IP電話サービス間の電話の場合は、IP電話サービスの電話番号が通知されます。
(「184＋電話番号」をダイヤルすることで非通知にすることもできます。)

・ 加入電話など、IP 電話サービス以外に発信する際の発信者番号通知については、ご契約された各プロバイダにご確認ください。

● IP電話サービスについては、お使いのIP電話対応機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

● 下記のような場合は、IP電話の電話品質が低下したり、ファクス通信が困難な場合があります。

・ ADSL回線の接続状況によって十分な帯域が確保できない場合

・ インターネットで十分な帯域が確保できない場合

・ IP電話対応機器に接続されているコンピューターで、ファイル転送やストリーミングサービスのような、大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合

IP電話サービスを利用する(つづき)

IP電話サービスを使ったファクス送信

「IP電話対応機器」を設置している場合は、特別な操作をすることなくIP電話サービスを使ってファクスを送信したり、電話をかけたりできます。

なお、インターネット網の不調などでIP電話回線が通信不能になった場合は、次に説明するリルート機能とプレフィクス機能によって、自動的に一般電話回線に切り替えて通信できます。

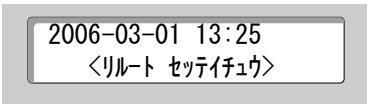
■リルート機能

リルート機能とは、IP電話回線が通信不能の場合に、自動的に一般電話回線に切り替えてダイヤルをし直す機能です。

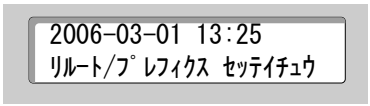
この機能は、システム登録の[123 リルート機能]が[あり]に設定されている場合に利用できます。

- 次ページの図の①～③のいずれかの送信方法で、自動的に通信回線を切り替えてダイヤルをし直し、ファクス送信されます。
- ①の方法で送信を開始し、送信できない場合は、②、③と送信方法が順次切り替わります。
- [123 リルート機能]が[あり]に設定されている場合は、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに一般の電話番号とIP電話の番号を両方登録できます。
- ①～③の動作は、一般電話番号とIP電話番号の両方が登録されていることを前提としています。一般電話番号のみしか登録されていない場合は②の方法で送信し、送信できなかったときは③の方法に切り替えて送信します。
- ③の方法へ切り替えるためには、システム登録の「124 プレフィクス機能」に一般電話回線への切り替え番号(プレフィクス番号)を登録し、[あり][なし]の設定を[なし]にします。
- [123 リルート機能]が[あり]に設定されている場合は、ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

リルートだけを設定している場合



リルート、プレフィクスの両方を設定している場合



お知らせ

- [123 リルート機能]の設定について
☞123 リルート機能(p.121)

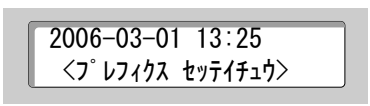
■プレフィクス機能

プレフィクス機能とは、ダイヤルした番号の頭にプレフィクス番号を自動的に付与することにより、IP電話回線ではなく一般電話回線で通信する機能です。

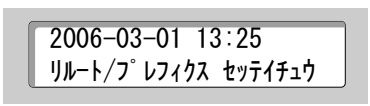
この機能は、システム登録の[124 プレフィクス機能]で、プレフィクス番号が登録され、プレフィクス機能が[あり]に設定されている場合に利用できます。

- プレフィクス番号は、0～9、#、＊、ポーズ記号を組み合わせて、最大20桁まで登録できます。
- [124 プレフィクス機能]が[あり]に設定されている場合、[123　リルート機能]の設定にかかわらず、常にプレフィクス番号をつけて一般電話回線で発信します。(次ページの図③参照)
- [124 プレフィクス機能]が[あり]に設定されている場合は、ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

プレフィクスだけを設定している場合



リルート、プレフィクスの両方を設定している場合



- 受話器を上げて(またはモニターボタンを押して)ダイヤルする場合、プレフィクス機能は無効となります。

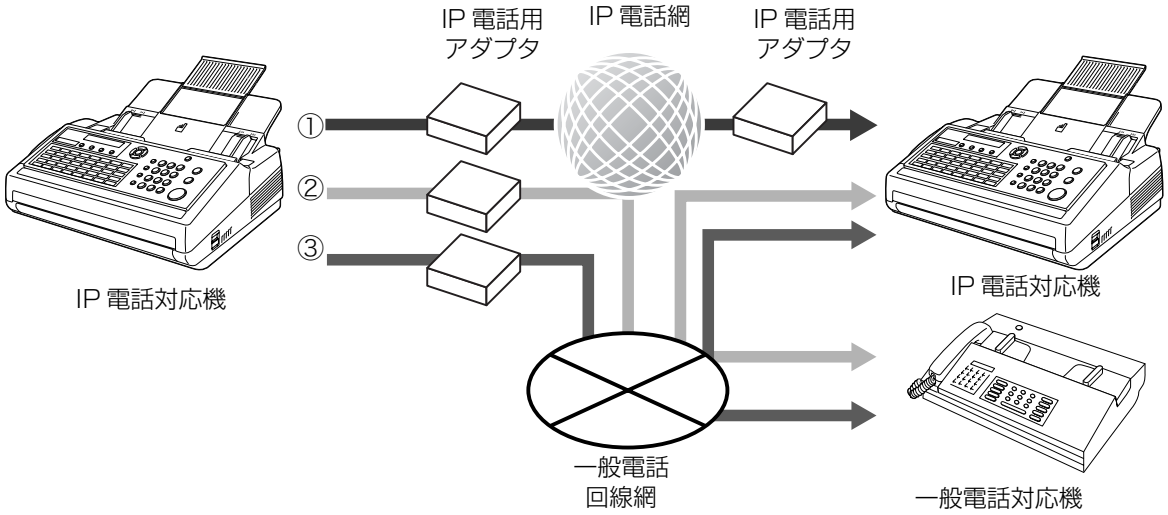
お知らせ

- [124 プレフィクス機能]の設定について
☞124 プレフィクス機能(p.121)

（ＮＴＴの例）

0000　　：「IP 電話対応機器」を使用しているときに、続けてダイヤルすると、相手先の電話番号に一般電話回線から発信します。

「0000」はＮＴＴの例です。一般電話回線への切り替え番号は、ご契約の電話会社へご確認ください。



① IP 電話　→ IP 電話　　相手が IP 電話番号を持っている場合
② IP 電話　→ 一般電話　相手が IP 電話番号を持っていない場合
③一般電話 → 一般電話　一般電話回線を指定する場合

■送信の流れ

1.送信方法①でファクスが送られます。

- ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに一般電話の番号だけが登録されている場合は、利用できません。

2.通信エラーによって送信方法①で送ることができない場合は、自動的に送信方法②でファクス送信されます。

3.通信エラーによって送信方法②でも送ることができない場合は、自動的に送信方法③でファクス送信されます。

- ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにIP電話の番号だけが登録されている場合は、利用できません。

お知らせ

- どの回線を使ってファクス送信されたかを、通信管理レポートや通信結果レポートで確認できます。
☞通信管理レポート(p.129)
☞通信結果レポート(p.132)

■ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録（リルート機能が設定されている場合）

システム登録の[123 リルート機能]が[あり]に設定されている場合は、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、プログラムダイヤル(ワンタッチダイヤル)に、一般の電話番号とIP電話の番号を両方登録できます。

ここでは、ワンタッチダイヤルに、一般の電話番号とIP電話の番号の両方を登録する手順を例に説明します。短縮ダイヤル、プログラムダイヤル(ワンタッチダイヤル)を登録する場合は、説明を読み替えてください。

1	**ワンタッチダイヤル登録のメニューを表示する** セット 7 2 セット 1 を押す	
2	**登録したいワンタッチボタンを押す** (例) ワンタッチ01の場合 01 A を押す ⇨ 〈01〉 ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ が表示される	
3	**一般電話回線の電話番号を入力する** テンキーで一般電話回線電話の電話番号を入力し、セットを押す ⇨ 〈01〉 IPﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ が表示される	● 誤って入力した場合は クリアー © を押します。 ● 36桁まで入力できます。 ● ポーズ、トーン、スペース、サブアドレスも登録できます。 ☞直接ダイヤル(p.33)
4	**IP電話回線の電話番号を入力する** テンキーでIP電話番号を入力し、セットを押す ⇨ 〈01〉ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ 〈ｶﾅ 0501234567890 が表示される	● 誤って入力した場合は クリアー © を押します。 ● 36桁まで入力できます。 ● ポーズ、トーン、スペース、サブアドレスも登録できます。 ☞直接ダイヤル(p.33)
5	**宛先名を入力する** 宛先名を入力し、セットを押す ⇨ ﾁｭｳｹｲ ｿｳｼﾝ ﾄｳﾛｸ? 1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ が表示される	● 15文字まで入力できます。 ● 文字入力について ☞文字入力のしかた(p.111)
6	**中継送信登録を設定する** 中継情報を登録する場合： テンキーで 1 を入力する 以降の操作は ☞ 中継局や中継送信先の登録（p.63 手順 6） 中継情報を登録しない場合： テンキーで 2 を入力する ⇨ ﾜﾝﾀｯﾁ〈 〉 ﾜﾝﾀｯﾁ ヲ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ が表示される	● 続けて別のワンタッチダイヤルを登録する場合は、手順2～6を繰り返します。 ● ワンタッチダイヤルの登録を終了する場合は、ストップ ▽ を押します。

アフターサービスについて

保証とアフターサービス

使いかた・お手入れ・修理などは
まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	（　　）　　－
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは

『取扱説明書』（本書）の「故障かな?と思ったら」（p.138）でご確認のあと、直らないときはまず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	感熱ビジネスファクシミリ
●品　番	UF-B300
●故障の状況	できるだけ具体的に

● 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間 （ただし、消耗品は除く）

● 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。
※修理料金は次の内容で構成されています。

- 技術料 診断・修理・調整・点検などの費用
- 部品代 部品および補助材料代
- 出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 5 年
当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 5 年保有しています。

● アフターサービスについて、おわかりにならないとき
お買い上げの販売会社・販売店・サービス実施会社または保証書表面に記載されています連絡先へお問合わせください。

● 使用誤り、静電気、電波の干渉、使用中に電源が切れたときなど記憶内容が変化・消失する場合があります。
（発生した損害について、当社が責任を負えない場合があります）

● 本製品は日本国内用に設計されています。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

● 本製品は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。本製品を日本国外へ輸出する（技術の提供を含む）場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをおとりください。
Exporting this product and/or its technology from Japan is restricted by the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. When this product and/or its technology are exported or brought out from Japan, you are required to take the necessary procedures, such as obtaining an export license from the Japanese government, in accordance with the Law.

消耗品 / 仕様

本機の消耗品は下表のとおりです。
お買い求めになるときは、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にご相談ください。

品名	品番	品名	品番
感熱記録紙(B4サイズ/100 m)	UG-0001B4	感熱記録紙(A4サイズ/100 m)	UG-0001A4
補充インク	UG-4201	済スタンプ	UG-4102

■仕様

項目	仕様
品番	UF-B300
認証機器名	UF-B300
適合回線	一般電話回線、NTTファクシミリ通信網
通信可能機種	G3（国際規格）
帯域圧縮方式	MH、MR、MMR（ITU-T勧告準拠）
電送時間	約3秒 ● A4サイズ700字程度の原稿を、ECM/メモリー送信時、標準画質(8×3.85本/mm)、スーパーG3モード(ITU-T　V.34準拠　28,800 bps以上)で送ったときの速さです。 これは画像情報のみの電送時間で、通信の制御時間は含まれておりません。 なお、実際の通信時間は原稿の内容・相手機種・回線状況により異なります。
通信速度	2400～33600 bps
原稿サイズ	B4～A6（最大:幅280 × 長さ1000 mm、最小:幅148 × 長さ105 mm）
読取方式	CCDイメージセンサーによる固体電子走査
記録方式	感熱記録による平面走査
有効読取幅	252 mm(B4)　208 mm(A4)
走査線密度	水平方向　垂直方向 ふつう　8 dot/mm　×　3.85 lines/mm 小さい　8 dot/mm　×　7.7 lines/mm 細密　8 dot/mm　×　15.4 lines/mm(補間)
記録紙サイズ	B4(幅257 mm), A4(幅210 mm)　ロール紙
電源	AC 100 V ± 10 V, 50/60 Hz
消費電力	待機時（節電モード:ON）　約1.2 W 待機時（節電モード:OFF）　約6 W 送信時　約15 W 受信時　約40 W コピー時　約45 W 最大　約100 W
外形寸法	約442 mm(幅) ×約352 mm（奥行き）× 約166 mm（高さ）(突起部を除く)
質量	約9 kg(消耗品を除く)
動作環境	温度　：5 ℃～35 ℃ 相対湿度　：45%～85% （ただし35 ℃のときは湿度70%以下、湿度85%のときは30 ℃以下）
直流抵抗値	211 Ω

- 製品改良のため、記載事項が一部変更になることがありますのでご了承ください。
- 一般の電話回線での最高通信速度は28800 bps 程度です。
- 認証番号は、本体底面に記載しています。

用語集

用語	説明
BPS (Bit Per Second)	電話回線を経由して送信されるデータ量の単位のことです。 本機では、常に最大の伝送速度で動作が開始されます。その後、電話回線の状況や受信側ファクスの能力に応じて、自動的に速度が落とされます。
ECM	Error Correction Mode の略。G3 モードでファクス通信をするときに、通信エラーを自動的に訂正する機能のことです。
G3 モード(Group 3)	現在、最も普及している、G3 規格に準拠したアナログ電話回線用のファクシミリ手順のことです。
Fコード	受信文書のルーティング、転送、中継などの機能を使用するためのITU-T 勧告です。 ☞Fコード(サブアドレス)を入力する(p.33)
ITU-T	国際電気通信連合の電気通信標準化部門(旧C.C.I.T.T)の略。 この機構では、現在、ファクシミリ互換性を保証する4グループの業界標準を推進しています。
ITU-T Image No.1	送信速度と機器能力との比較などに使用する標準原稿(A4サイズ・700文字低同の原稿)です。
エラーコード	通信エラー、トラブルなど発生時に表示するコードのことです。 ☞エラーコードが表示されたら(p.140)
サブアドレス	受信文書のルーティング、転送、中継などの機能を使用するためのITU-T 勧告です。 ☞Fコード(サブアドレス)を入力する(p.33)
サブアドレスパスワード	サブアドレスに対応する追加機密保護のためのITU-T 勧告です。
自局	自局機能設定で登録しておく、本機の名前のことです。自局登録をしておくと、通信のときに相手機に自局の情報を表示できます。自局の情報には、発信元名、文字ID、数字ID があります。 ☞発信元(p.18) ☞文字ID(p.19) ☞数字ID(p.20)
自動受信	着信すると、自動的にファクス受信を開始する受信方式のことです。 ☞ファクスの受けかたを選ぶ(p.46)
手動受信	着信すると、呼び出し音が鳴り続け、受信の操作をしてからファクス受信を開始する受信方式のことです。 ☞ファクスの受けかたを選ぶ(p.46)
受信パスワード	パスワード受信を設定している場合に、受信前に照合される4 桁のパスワードのことです。 ☞パスワード受信の設定(p.78)
順次同報送信 (同報送信)	複数の宛先に同じ原稿を送信する機能のことです。 ☞複数の相手に送信する(p.57)
数字ID	本機に登録しておくファクス番号のことです。通信時に、相手のディスプレイやレポートに表示されます。 ☞数字ID(p.20)
済スタンプ	送信が完了した、またはメモリーへ読み取ったことを確認するために押すスタンプのことです。済スタンプの[あり]、[なし] は必要に応じて切り替えできます。 ☞済スタンプをつける(p.40)
節電モード	機械を使用しないときに機械内部の消費電力を抑える機能のことです。 ☞節電モードについて(p.26)
セレクト受信	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されているファクス番号の下4 桁と、送信側の数字IDの下4 桁を照合し、一致した場合にだけ受信する機能のことです。 ☞迷惑ファクスを防止する[セレクト受信](p.84)
送信パスワード	送信時に照合される4 桁のパスワードのことです。 ☞パスワード送信の設定(p.77)

用語集(つづき)

用語	説明
送信予約	本機が別の機能を実行しているときに、次の送信を予約しておくことです。 ☞送信を予約する(p.41)
代行受信	記録紙がなくなったとき、記録紙がつまったときに、受信した原稿をメモリーに蓄積する機能のことです。 ☞記録できないとき[代行受信](p.54)
タイマーポーリング	ポーリングする時刻を指定する機能のことです。 ☞時刻を指定してポーリング受信をする[タイマーポーリング受信](p.60)
タイマー送信	送信する時刻を指定する機能のことです。 ☞時刻を指定して送信する[タイマー送信](p.59)
中継同報指示	中継同報とは、中継ファクスとなるファクスを中心にして、同報を行う機能のことです。中継発信ファクスから中継局に原稿を送信すると、中継局では、最終受信ファクスへ原稿を同報送信します。 本機から中継同報の指示ができます。 ☞中継局を利用する[中継同報指示](p.61)
直接ダイヤル	電話番号をテンキーで入力することです。 ☞直接ダイヤル(p.33)
通信管理レポート	最新の通信結果が記載されたレポートのことです。通信管理レポートは、印刷したり、ディスプレイ上で確認したりできます。 ☞通信管理レポート(p.129)
テンキー	操作パネルの数値キーのことです。 ☞テンキー(p.14)
同報送信 (順次同報送信)	複数の宛先に同じ原稿を送信する機能のことです。 ☞複数の相手に送信する(p.57)
電話帳	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている宛先名を利用して宛先を指定する機能のことです。 ☞宛先名から検索する[電話帳](p.36)
濃度	原稿を読み取るときの感度を明暗の程度で表したものです。コピーやファクス送信する原稿に合わせ、読み取りの濃度を設定できます。 ☞読み取り濃度(p.39)
符号化方式	データを圧縮する方式のことです。 本機では、Modified Huffman (MH)、Modified Read (MR)、Modified Modified Read (MMR) 符号化方式を採用しています。
ポーリング受信	別のファクスにある原稿を、受信側から送信依頼を出して取り出す機能のことです。 ☞ポーリング受信をする(p.72)
ポーリングパスワード	ポーリングが行われている原稿に対し、パスワード(4 桁)で機密保護をする機能のことです。
メモリー送信	原稿をメモリーに読み取ってから送信する機能のことです。
メモリー転送	すべての受信文書を設定しておいた宛先へ転送する機能のことです。 ☞受信文書を転送する[メモリー転送](p.87)
文字ID	機能設定で登録しておく本機の名前(カタカナ)のことです。相手のディスプレイやレポートに表示されます。会社名などの情報を登録します。 ☞文字ID(p.19)
文字サイズ	原稿を読み取るときの解像度(細かさ)です。コピーやファクス送信する原稿に合わせ、文字サイズを設定できます。 ☞文字サイズ(p.39)
モデム	本機から出された信号を電話回線で送れる形の信号に変えたり、送られて来た信号を本機が読み取れる形の信号に戻したりする装置のことです。

索引

記号・英数字

A4 サイズのとき 22
A4 サイズを B4 サイズに変更する 23
B4 サイズのとき 21
B4 サイズを A4 サイズに変更する 22
FAX/TEL 切り替えに設定しているとき 49
F/T ベル回数の設定 51
F コード（サブアドレス）を入力する 58
IP 電話サービスを利用する 152
OPEN レバー 13
TEL 端子 13

あ行

相手を確認してから送信する 42
アクセスコード 85
　アクセスコードの設定 85
　アクセスコードを入力する 86
宛先名から検索する 36
宛先を確認する 38
宛先を指定する 33
アフターサービスについて 157
誤って入力したとき 112
アルファベットの入力 112
安全上のご注意 6
エラーコード 140
同じ相手にもう一度送信する 37
音声応答後の呼び出し音回数を設定する 51
音量を調整する 25

か行

カールコード 11
回線種別 16
回線端子 13
解像度 39
外部電話機から受信に切り替える 83
各部の名前とはたらき 12
カタカナの入力 111
カバーシート 73
感熱記録紙 11
感熱ヘッドのお手入れ 151
記号の入力 112
キャッチホンサービス 10
記録紙がつまったら 137
記録紙仕切板 11
記録紙をセットする 21
クイックメモリー送信 29
グループダイヤル 105, 106
原稿ガイド 12
原稿がつまったら 134
原稿追加 97
原稿の厚さ 28
原稿のサイズ 28
原稿の枚数 28
原稿をセットする 27
現在の時刻 17
故障かな？と思ったら 138
コピーする 32

さ行

再ダイヤル 37
自局 159
時刻を指定して送信する 59
時刻を指定してポーリング受信をする 60
システム登録 114
　システム登録一覧 115
　システム登録リストの印刷 126
　システム登録リストの見かた 126
指定した宛先数を確認する 38
自動給紙圧を調整する 136
自動再ダイヤル 37
縮小受信 54
受信開閉部 13
受信側からの指示で原稿を送信させる 70
受信時の印刷について 54
受信文書を転送する 87
受信モード 46
受信モードを設定する 47
手動再ダイヤル 37
手動受信 48
手動受信に設定しているとき 48
手動送信 42
受話器 11, 12
仕様 158
使用上のお願い 10
消耗品 158
親展通信 65
　親展受付レポート 67
　親展番号 65
　親展文書の印刷 68
　親展文書の消去 69
　親展文書を受信すると 67
　親展文書を送信する 65
　親展文書を蓄積する 68
　親展文書をポーリング受信する 66

親展ボックスを利用する 65
数字 ID 20
数字の入力 112
済スタンプのインクを補充する 149
済スタンプを交換する 149
済スタンプをつける 40
正順プリント 55
接続できないとき 147
設置上のお願い 9
設置する 12
接地（アース線接続）端子 13
節電モードについて 26
節電モードの設定変更 26
セットできない原稿 28
セットできる原稿 28
セレクト受信 84
操作時のお願い 9
操作パネル 12
操作パネルの名前とはたらき 14
送信予約 41
送信予約を解除する 41
送信レポートの印刷 127
送信レポートの見かた 127
送信を予約する 41

た行

代行受信 54
タイマー送信 59
タイマーポーリング受信 60
ダイヤルイン機能の設定 148
ダイヤルインサービス 10
ダイヤルリストの印刷 123
ダイヤルリストの見かた 123
ダイレクト送信 80
短縮ダイヤル 35, 102
　削除する 104
　登録する 102
　変更する 103
短縮ダイヤルリスト 124
着信後の呼び出し音回数を設定する 50
中継局を利用する 61
中継識別番号 110
中継情報 110
中継同報指示 61
　中継局や中継送信先の登録 63
　中継同報指示をする前に 61
　中継同報を指示する 62
直接ダイヤル 33
通信管理レポート 129
通信管理レポートの手動印刷 129
通信管理レポートの見かた 129
通信結果レポート 132
通信ごとにパスワード送信を設定する 79
通信予約ファイルに原稿を追加する 97
通信予約ファイルを印刷する 96
通信予約ファイルを確認する 92
通信予約ファイルを消去する 95
通信予約ファイルを変更する 94
つまった原稿がつかめないとき 134
つまった原稿をつかめるとき 134
ディスプレイ上で通信結果を確認する 131
ディスプレイ上で通信予約ファイルを確認する 93
停電したら 144
電源コード 11
電源端子 13
電話回線を確認する 146
電話帳 36
電話帳リスト 124
電話を受ける 31
電話をかける 30

な行

ナンバー・ディスプレイの設定 147
ネットワークパスワード 110

は行

パスワード受信とは 76
パスワード受信の設定 78
パスワード送信とは 75
パスワード送信の設定 77
パスワードを使って送受信する 75
発信者番号通知 10
発信元 18
発信元印字 45
表紙をつけて送信する 73
ファクシミリ通信網を利用する 10
ファクスの受けかたを選ぶ 46
ファクスを受信する 29
ファクスを送信する 29
複数の相手に送信する 57
複数の宛先を指定する 57
プレフィクス機能 154

プログラムダイヤル 105, 107
プログラムダイヤルを呼び出す 56
プログラムボタン 105
　グループダイヤルを登録する 106
　消去する 109
　プログラムダイヤルを登録する 107
　変更する 109
　ワンタッチダイヤルを登録する 108
プログラムリストの印刷 125
プログラムリストの見かた 125
法律で禁じられていること 10
ポーリング受信をする 72
ポーリング送信 71
ポーリング送信原稿を蓄積する 71
ポーリング用のパスワードを設定する 70
補助原稿台 11, 12
本体 11
本体と付属品の確認 11
本体ボディのお手入れ 151

ま行

未達宛先再通信 98
未通信ファイルを再送信する 98
迷惑ファクスを防止する 84
メモリー受信 81
　パスワードを設定する 81
　メモリー受信の設定 82
　メモリー受信文書の印刷 82
メモリー転送 87
メモリーに受信する 81
メモリーに蓄積して送信する 80
メモリー優先 80
文字 ID 19
文字サイズ 39
文字入力のしかた 111
モニター音量 25

や行

用語集 159
呼び出し音量 25
読み取り濃度 39
予約レポートの印刷 92
予約レポートの見かた 92

ら行

リモート受信 83
利用者を制限する 85
リルート機能 154
ルーティング機能を使う 88
ルーティングに必要なシステム登録 89
留守番電話の接続 52
留守録接続に設定しているとき 52
留守録接続の動作 53
レポート返送先 110
ローマ字一覧 113

わ行

ワンタッチダイヤル 34, 99, 105, 108
　削除する 101
　登録する 99
　変更する 100
ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにルーティングを設定する 90
ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録 （リルート機能が設定されている場合） 156
ワンタッチダイヤルリスト 123

■国際エネルギースタープログラムについて

このロゴは、国際エネルギースタープログラムに基づくロゴです。

国際エネルギースタープログラム制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むべく、エネルギー消費の低減性に優れ、かつ、効果的な使用を可能とする製品の開発及び普及の促進を目的とするものです。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル 0120-878-410（パナハ ヨイワ） 受付：9時～17時30分　（土・日・祝祭日は受付のみ）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

・ パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品番　UF-B300
販売店名		電話（　　）　-
サービス実施会社名		電話（　　）　-

パナソニック システムネットワークス株式会社
〒812-8531　福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2009

L0106-2023(01)
PJQMC0578YD
February 2013
Printed in Japan